

令和3年度

所沢市行政報告書

(決算に係る主要な施策の成果)

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定及び所沢市議会基本条例第15条第2項の規定に基づく求めにより、令和3年度会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として、本資料を提出します。

令和4年8月29日

所沢市長 藤 本 正 人

# 目 次

一般会計		1
秘書室		13
危機管理室		15
・ デジタル移動系防災行政無線整備事業	危機管理室	16
経営企画部		17
・ 東京オリンピック・パラリンピック推進事業	企画総務課	20
・ RPAソフト導入事業	経営企画課	20
・ マイナポイント設定支援事業	経営企画課	21
・ AI-OCR導入事業	デジタル戦略課	21
・ 無線LANアクセスポイント整備事業	デジタル戦略課	22
・ キャッシュレス決済導入事業	デジタル戦略課	22
総務部		23
財務部		25
・ 市庁舎施設整備事業(自動昇降機改修工事)	管財課	27
市民部		29
・ 狭山ヶ丘コミュニティセンター施設整備事業	地域づくり推進課	33
・ 中富南コミュニティセンター施設整備事業	地域づくり推進課	33
・ 椿峰コミュニティ会館別館樹林地整備事業	地域づくり推進課	34
・ 空飛ぶ音楽祭開催事業	文化芸術振興課	34
・ ストリートピアノ設置事業	文化芸術振興課	35
・ 個人番号カード交付事業	市民課	35
・ 住民記録システム等改修事業(転出・転入手続ワンストップ化対応)	市民課	36
・ 所沢市客引き対策事業	防犯交通安全課	36
・ 西所沢駅西口改札口開設事業	防犯交通安全課	37
・ 市営自転車駐車場感染拡大防止対策事業(キャッシュレス決済導入)	防犯交通安全課	37
福祉部		39
・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業	福祉総務課	43
・ 生活困窮者自立促進支援事業	生活福祉課	43
・ 生活困窮者自立支援金支給事業	生活福祉課	44
・ 所沢市立プロペラ空調設備改修事業	障害福祉課	44
・ 所沢市立こあふる空調設備改修事業	障害福祉課	45
・ 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	障害福祉課	45
・ 福祉施設応援給付金支給事業(障害者施設分)	障害福祉課	46
・ ところ荘老人デイサービスセンター空調設備改修事業	高齢者支援課	46
・ 福祉施設応援給付金支給事業(高齢者施設分)	高齢者支援課	47
・ 地域でみまもり支え合い事業(ところんおかえりQR)	高齢者支援課	47
・ 福祉施設応援給付金支給事業(介護施設分)	介護保険課	48
こども未来部		49
・ ところっこ親子ふれあい絵本事業	こども支援課	53
・ 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業	こども支援課	53
・ 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の世帯分)支給事業	こども支援課	54

・ 福祉総合システム改修事業(特例給付の対象者に係る所得上限の設定及び現況届省略対応)	こども支援課	54
・ 子育て世帯等臨時特別給付金支給事業	こども支援課	55
・ 児童クラブ施設整備事業(泉児童クラブ他)	青少年課	55
・ 児童クラブ施設整備事業(北野児童クラブ)	青少年課	56
・ 児童館施設整備事業	青少年課	56
・ 放課後児童健全育成事業(民設民営児童クラブ)	青少年課	57
・ 児童クラブ施設整備事業(宮前児童クラブ他)	青少年課	57
・ 児童福祉施設等における感染拡大防止等対策事業(放課後児童クラブ・児童館)	青少年課	58
・ 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業	青少年課	58
・ 保育園施設整備事業	保育幼稚園課	59
・ 保育園給食調理業務委託事業	保育幼稚園課	59
・ 所沢保育園屋上防水改修事業	保育幼稚園課	60
・ 保育環境改善等事業	保育幼稚園課	60
・ 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	保育幼稚園課	61
<b>健康推進部</b>		<b>63</b>
・ 保健事業と介護予防の一体的実施事業	国民健康保険課	66
・ 保健センター屋上防水及び屋根改修事業	健康管理課	66
・ 精神障害者アウトリーチ支援事業	健康管理課	67
・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業(接種対策等)	健康管理課	67
・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業(3回目接種協力金)	健康管理課	68
・ トコトコ健幸マイレージ事業	健康づくり支援課	68
・ 不妊検査・治療費等助成事業	健康づくり支援課	69
・ 新生児聴覚検査助成事業	健康づくり支援課	69
・ 産後ケア事業を行う施設における感染拡大防止対策事業	健康づくり支援課	70
<b>環境クリーン部</b>		<b>71</b>
・ マチごとエコタウン推進事業	マチごとエコタウン推進課	76
・ 再生可能エネルギー普及推進事業	マチごとエコタウン推進課	76
・ 水田景観保全事業	みどり自然課	77
・ みどりのエコスポット整備事業	みどり自然課	77
・ 里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課	78
・ 狭山湖周辺人道橋整備事業	みどり自然課	78
・ 一般廃棄物減量化方策推進事業	資源循環推進課	79
・ マチごとプラスチックごみ削減事業	資源循環推進課	79
・ 第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課	80
・ 非プラスチック製容器等使用促進支援事業	資源循環推進課	80
・ 北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設整備事業	西部クリーンセンター	81
<b>産業経済部</b>		<b>83</b>
・ ラーク所沢屋根改修事業	産業振興課	86
・ 企業誘致活動推進事業	産業振興課	86
・ 外出自粛等関連事業者支援事業(所沢元気回復プロジェクト)	産業振興課	87
・ 新型コロナウイルスワクチン共同接種支援事業(所沢元気回復プロジェクト)	産業振興課	87
・ 所沢市観光情報・物産館整備事業(COOL JAPAN FOREST 構想事業)	商業観光課	88
<b>街づくり計画部</b>		<b>89</b>
・ 地域公共交通検討事業	都市計画課	91

・都市拠点土地利用デザイン推進事業	都市計画課	91
・交通事業者支援給付事業	都市計画課	92
・市営住宅東所沢和田団地施設整備事業	市街地整備課	92
・土地利用転換推進事業	市街地整備課	93
・日東地区まちづくり事業	市街地整備課	93
・ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課	94
・所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	所沢駅西口区画整理事務所	94
・所沢駅西口地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	95
<b>建設部</b>		<b>97</b>
・市道1-889号線歩行者用階段設置事業	道路建設課	101
・COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	道路建設課	101
・市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業	道路建設課	102
・所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)	道路建設課	102
・北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	103
・所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	計画道路整備課	103
・北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	公園課	104
・所沢カルチャーパーク築造事業	公園課	104
・所沢市洪水ハザードマップ更新事業	河川課	105
<b>出納室</b>		<b>107</b>
<b>教育委員会</b>		<b>109</b>
・小・中学校修学旅行等のキャンセル料等支援事業	教育総務課	115
・小学校施設整備事業	教育施設課	115
・中学校施設整備事業	教育施設課	116
・所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業	教育施設課	116
・公民館施設整備事業	社会教育課	117
・公民館施設整備事業(並木公民館ホール空調設備改修工事)	社会教育課	117
・北中運動場用地貸付事業	スポーツ振興課	118
・富岡地区体育館屋根及び外壁改修事業	スポーツ振興課	118
・歴史的建造物整備活用事業	文化財保護課	119
・スクールカウンセラー学校派遣事業	学校教育課	119
・「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	学校教育課	120
・授業目的公衆送信補償金活用事業	学校教育課	120
・教育用インターネット回線整備事業	教育センター	121
・教育センター新館外壁改修事業	教育センター	121
・教育相談アドバイザー支援事業	教育センター	122
・GIGAスクールサポーター導入事業	教育センター	122
<b>議会事務局</b>		<b>123</b>
<b>選挙管理委員会事務局</b>		<b>125</b>
<b>監査事務局</b>		<b>127</b>
<b>農業委員会事務局</b>		<b>129</b>
・農地情報タブレット端末整備事業	農業委員会事務局	130
<b>特別会計</b>		<b>131</b>
<b>交通災害共済特別会計</b>		<b>133</b>

所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計		135
所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計		137
・ 所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	139
国民健康保険特別会計		141
・ トコトコ健幸マイレージ事業	国民健康保険課	144
・ 特定保健指導業務委託事業	国民健康保険課	144
・ 税系システム改修事業(外部データ取込対応)	国民健康保険課	145
介護保険特別会計		147
後期高齢者医療特別会計		151
(参考)事業会計		153
水道事業会計		155
・ 水道管整備事業	水道建設課	159
・ 浄水場整備事業(耐震補強工事)	給水管理課	159
下水道事業会計		161
・ イメージアップ事業(マンホールサミット開催)	経営課・下水道維持課	166
・ 雨天時浸入水対策事業	窓口サービス課・ 下水道整備課・ 下水道維持課	166
・ 雨水浸透化事業	下水道整備課	167
・ 下水道管渠布設事業	下水道整備課	167
・ 下水道地震対策事業	下水道整備課	168
病院事業会計		169
・ 小児初期救急医療体制推進事業	市民医療センター	173
・ 所沢市市民医療センター再整備基本構想策定事業	市民医療センター	173

※水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計は、地方公営企業法を適用していることから、参考として掲載するものです。

# 一 般 会 計





## 令和3年度所沢市一般会計補正状況一覧表

単位:千円

区 分	議決(承認)年月日	当初予算額及び 補正前の額	補 正 額	計
当 初 予 算 令和3年第1回定例会	令和 3年 3月25日	107,400,000	—	107,400,000
補正予算第1号 令和3年第1回定例会	令和 3年 3月25日	107,400,000	184,269	107,584,269
補正予算第2号 令和3年第2回定例会	令和 3年 6月10日	107,584,269	188,998	107,773,267
補正予算第3号 令和3年第2回定例会	令和 3年 6月10日	107,773,267	338,446	108,111,713
補正予算第4号 令和3年第2回定例会	令和 3年 6月30日	108,111,713	23,082	108,134,795
補正予算第5号 令和3年第2回定例会	令和 3年 6月30日	108,134,795	936,938	109,071,733
補正予算第6号 令和3年第3回定例会	令和 3年 9月 2日	109,071,733	222,275	109,294,008
補正予算第7号 令和3年第3回定例会	令和 3年 9月24日	109,294,008	487,861	109,781,869
補正予算第8号 令和3年第3回定例会	令和 3年 9月24日	109,781,869	241,272	110,023,141
補正予算第9号 令和3年第4回定例会	令和 3年11月30日	110,023,141	△ 195,786	109,827,355
補正予算第10号 令和3年第4回定例会	令和 3年12月21日	109,827,355	6,999,118	116,826,473
補正予算第11号 令和3年第4回定例会	令和 3年12月21日	116,826,473	9,331,612	126,158,085

単位:千円

区 分	議決(承認)年月日	当初予算額及び 補正前の額	補正額	計
補正予算第12号 令和4年第1回定例会	令和4年3月2日	126,158,085	△ 894,141	125,263,944
補正予算第13号 令和4年第1回定例会	令和4年3月25日	125,263,944	791,524	126,055,468
合 計		—	18,655,468	126,055,468

令和3年度所沢市一般会計歳入歳出決算表

(1) 歳入

款別	区分	当初予算額 千円	補正予算額 千円	前年度 繰越額 千円	予算現額 千円	収入済額 千円	予算現額に 対する増減 千円	予算現額に 対する 収入比率 %
1	市税	51,819,887	△ 498,549	0	51,321,338	53,459,944	2,138,606	104.2
2	地方譲与税	597,000	0	0	597,000	613,875	16,875	102.8
3	利子割交付金	31,000	0	0	31,000	35,708	4,708	115.2
4	配当割交付金	257,000	0	0	257,000	349,764	92,764	136.1
5	株式等譲渡所得割交付金	297,000	0	0	297,000	414,904	117,904	139.7
6	法人事業税交付金	354,379	0	0	354,379	464,043	109,664	130.9
7	地方消費税交付金	6,900,000	0	0	6,900,000	7,372,467	472,467	106.8
8	ゴルフ場利用税交付金	17,000	0	0	17,000	21,678	4,678	127.5
9	環境性能割交付金	78,000	0	0	78,000	79,509	1,509	101.9
10	国有提供施設等所在市町村助成交付金等	448,800	0	0	448,800	447,628	△ 1,172	99.7
11	地方特例交付金	365,717	320,023	0	685,740	694,372	8,632	101.3
12	地方交付税	1,718,000	1,931,572	0	3,649,572	3,725,959	76,387	102.1
13	交通安全対策特別交付金	39,000	0	0	39,000	38,452	△ 548	98.6
14	分担金及び負担金	630,700	0	0	630,700	566,738	△ 63,962	89.9
15	使用料及び手数料	1,473,924	△ 6,151	0	1,467,773	1,325,696	△ 142,077	90.3
16	国庫支出金	20,729,339	12,714,234	275,390	33,718,963	30,265,209	△ 3,453,754	89.8
17	県支出金	7,364,539	44,201	671	7,409,411	7,075,761	△ 333,650	95.5
18	財産収入	192,396	0	0	192,396	215,347	22,951	111.9
19	寄附金	10	40,646	0	40,656	42,920	2,264	105.6
20	繰入金	5,489,010	△ 1,844,504	0	3,644,506	3,636,968	△ 7,538	99.8
21	繰越金	1,000,000	4,409,105	655,238	6,064,343	6,064,342	△ 1	100.0
22	諸収入	1,271,699	374,230	672	1,646,601	1,796,412	149,811	109.1
23	市債	6,325,600	1,170,661	580,800	8,077,061	6,883,561	△ 1,193,500	85.2
	歳入合計	107,400,000	18,655,468	1,512,771	127,568,239	125,591,257	△ 1,976,982	98.5

## (2) 歳出

区分 款別	当初予算額	補正予算額	前年度 からの 繰越額	予備費 充用額	予算現額	支出済額	翌年度への 繰越額	不用額	予算現額に 対する 支出比率
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 議会費	572,242	△ 6,819	0	0	565,423	543,473	0	21,950	96.1
2 総務費	9,497,689	5,320,546	3,900	1,308	14,823,443	14,313,485	140,931	369,027	96.6
3 民生費	51,648,331	10,011,471	0	0	61,659,802	56,214,853	1,806,081	3,638,868	91.2
4 衛生費	11,758,489	2,147,904	45,426	9,385	13,961,204	12,886,061	67,404	1,007,739	92.3
5 労働費	129,376	△ 1,194	0	0	128,182	120,285	0	7,897	93.8
6 農林水産業費	216,885	△ 8,361	0	0	208,524	199,408	240	8,876	95.6
7 商工費	1,065,709	274,879	372,693	0	1,713,281	1,544,014	0	169,267	90.1
8 土木費	10,231,018	314,515	171,136	0	10,716,669	9,850,556	434,793	431,320	91.9
9 消防費	4,087,355	△ 2,947	0	0	4,084,408	4,059,936	0	24,472	99.4
10 教育費	10,574,683	643,095	919,616	0	12,137,394	10,420,950	809,324	907,120	85.9
11 災害復旧費	4	0	0	0	4	0	0	4	0.0
12 公債費	7,548,219	△ 37,621	0	0	7,510,598	7,508,679	0	1,919	100.0
13 予備費	70,000	0	0	△ 10,693	59,307	0	0	59,307	0.0
歳出合計	107,400,000	18,655,468	1,512,771	0	127,568,239	117,661,700	3,258,773	6,647,766	92.2

## (3) 性質別決算額

区 分	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源	決 算 額 構 成 比
		国県支出金	地 方 債	そ の 他		
1 人件費	千円 17,844,072	千円 857,948	千円 0	千円 410,370	千円 16,575,754	% 15.2
2 物件費	18,285,958	3,841,714	22,000	1,694,702	12,727,542	15.5
3 維持補修費	1,119,508	833	0	49,532	1,069,143	0.9
4 扶助費	37,078,226	28,571,440	0	433,628	8,073,158	31.5
5 補助費等	14,417,185	1,473,175	0	564,064	12,379,946	12.3
6 普通建設事業費	7,434,837	414,599	3,772,700	1,407,566	1,839,972	6.3
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0.0
8 公債費	7,508,679	0	0	17,655	7,491,024	6.4
9 積立金	6,912,711	0	0	37,410	6,875,301	5.9
10 投資及びひ出資金	0	0	0	0	0	0.0
11 貸付金	0	0	0	0	0	0.0
12 繰出金	7,060,524	1,619,519	0	0	5,441,005	6.0
歳 出 合 計	117,661,700	36,779,228	3,794,700	4,614,927	72,472,845	100.0

所沢市一般会計決算前年度比較

(1) 歳入

款別	区分	令和3年度		令和2年度		比較増減 千円	増減率 %
		決算額 千円	構成比 %	決算額 千円	構成比 %		
1	市税	53,459,944	42.6	53,398,691	35.5	61,253	0.1
2	地方譲与税	613,875	0.5	603,435	0.4	10,440	1.7
3	利子割交付金	35,708	0.0	43,406	0.0	△ 7,698	△ 17.7
4	配当割交付金	349,764	0.3	229,417	0.1	120,347	52.5
5	株式等譲渡所得割交付金	414,904	0.3	274,309	0.2	140,595	51.3
6	法人事業税交付金	464,043	0.4	241,732	0.2	222,311	92.0
7	地方消費税交付金	7,372,467	5.9	6,749,266	4.5	623,201	9.2
8	ゴルフ場利用税交付金	21,678	0.0	16,257	0.0	5,421	33.3
9	環境性能割交付金	79,509	0.1	82,606	0.1	△ 3,097	△ 3.7
10	国有提供施設等所在市町村助成交付金等	447,628	0.4	449,257	0.3	△ 1,629	△ 0.4
11	地方特例交付金	694,372	0.5	393,744	0.3	300,628	76.4
12	地方交付税	3,725,959	3.0	1,298,427	0.9	2,427,532	187.0
13	交通安全対策特別交付金	38,452	0.0	40,465	0.0	△ 2,013	△ 5.0
14	分担金及び負担金	566,738	0.4	523,667	0.3	43,071	8.2
15	使用料及び手数料	1,325,696	1.1	1,340,457	0.9	△ 14,761	△ 1.1
16	国庫支出金	30,265,209	24.1	58,953,184	39.2	△ 28,687,975	△ 48.7
17	県支出金	7,075,761	5.6	7,465,077	5.0	△ 389,316	△ 5.2
18	財産収入	215,347	0.2	215,275	0.1	72	0.0
19	寄附金	42,920	0.0	66,615	0.0	△ 23,695	△ 35.6
20	繰入金	3,636,968	2.9	4,813,105	3.2	△ 1,176,137	△ 24.4
21	繰越金	6,064,342	4.8	5,150,894	3.4	913,448	17.7
22	諸収入	1,796,412	1.4	1,528,291	1.0	268,121	17.5
23	市債	6,883,561	5.5	6,644,253	4.4	239,308	3.6
	歳入合計	125,591,257	100.0	150,521,830	100.0	△ 24,930,573	△ 16.6

## (2) 歳出

款別	区分	令和3年度		令和2年度		比較増減	増減率
		決算額	構成比	決算額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1	議会費	543,473	0.5	558,529	0.4	△ 15,056	△ 2.7
2	総務費	14,313,485	12.2	47,264,282	32.7	△ 32,950,797	△ 69.7
3	民生費	56,214,853	47.8	48,521,749	33.6	7,693,104	15.9
4	衛生費	12,886,061	10.9	12,925,064	9.0	△ 39,003	△ 0.3
5	労働費	120,285	0.1	72,391	0.1	47,894	66.2
6	農林水産業費	199,408	0.2	210,664	0.1	△ 11,256	△ 5.3
7	商工費	1,544,014	1.3	1,647,284	1.1	△ 103,270	△ 6.3
8	土木費	9,850,556	8.4	10,696,966	7.4	△ 846,410	△ 7.9
9	消防費	4,059,936	3.4	4,087,985	2.8	△ 28,049	△ 0.7
10	教育費	10,420,950	8.8	12,014,901	8.3	△ 1,593,951	△ 13.3
11	災害復旧費	0	0.0	2,610	0.0	△ 2,610	△ 100.0
12	公債費	7,508,679	6.4	6,455,064	4.5	1,053,615	16.3
13	予備費	0	0.0	0	0.0	0	-
	歳出合計	117,661,700	100.0	144,457,489	100.0	△ 26,795,789	△ 18.5

## (3) 性質別決算額

区分	令和3年度		令和2年度		比較増減	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 人件費	17,844,072	15.2	17,966,727	12.4	△ 122,655	△ 0.7
2 物件費	18,285,958	15.5	17,421,948	12.1	864,010	5.0
3 維持補修費	1,119,508	0.9	1,177,959	0.8	△ 58,451	△ 5.0
4 扶助費	37,078,226	31.5	29,843,551	20.6	7,234,675	24.2
5 補助費等	14,417,185	12.3	51,189,392	35.4	△ 36,772,207	△ 71.8
6 普通建設事業費	7,434,837	6.3	9,799,396	6.8	△ 2,364,559	△ 24.1
7 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
8 公債費	7,508,679	6.4	6,455,064	4.5	1,053,615	16.3
9 積立金	6,912,711	5.9	3,583,067	2.5	3,329,644	92.9
10 投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	-
11 貸付金	0	0.0	0	0.0	0	-
12 繰出金	7,060,524	6.0	7,020,385	4.9	40,139	0.6
歳出合計	117,661,700	100.0	144,457,489	100.0	△ 26,795,789	△ 18.5



## 一 般 会 計

---

- (1) 令和3年度一般会計当初予算は、1,074億円を計上し、その後の補正において186億5,546万8千円の増額を行い、最終予算額は、1,260億5,546万8千円となった。

補正の主な内容としては、「子育て世帯等臨時特別給付金支給事業」や「住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業」などが挙げられる。

なお、前年度からの繰越額を加えた予算現額については、1,275億6,823万9千円となった。

- (2) 令和3年度一般会計決算は、収入済額が1,255億9,125万7千円となり、前年度比△16.6%、249億3,057万3千円の減となった。

歳入の主なものは、市税534億5,994万4千円（構成比42.6%）、国庫支出金302億6,520万9千円（構成比24.1%）などで、予算現額に対する収入割合は98.5%となった。

このうち国庫支出金は、前年度比△48.7%、286億8,797万5千円の減となった。主な要因としては、前年度にあった特別定額給付金事業費補助金の減が挙げられる。

次に、市税収入は、前年度比0.1%、6,125万3千円の増となった。

一方、支出済額は、1,176億6,170万円、前年度比△18.5%、267億9,578万9千円の減となった。

目的別の歳出の主なものは、民生費562億1,485万3千円（構成比47.8%）、総務費143億1,348万5千円（構成比12.2%）、衛生費128億8,606万1千円（構成比10.9%）等で執行率は92.2%となった。

なお、令和3年度も前年度と同様、民生費が歳出の最も多くを占め、前年度比15.9%、76億9,310万4千円の増となった。これは、子育て世帯への臨時特別給付金事業などによるものである。

総務費では、前年度比△69.7%、329億5,079万7千円の減となった。これは、前年度に実施した特別定額給付金事業などの減によ

るものである。

衛生費では、前年比△0.3%、3,900万3千円の減となった。主な要因としては、東部クリーンセンターの延命化事業の終了に伴う減が挙げられる。

参考として、性質別の歳出は扶助費 370 億 7,822 万 6 千円（構成比 31.5%）、物件費 182 億 8,595 万 8 千円（構成比 15.5%）、人件費 178 億 4,407 万 2 千円（構成比 15.2%）等となった。

この結果、令和 3 年度の純剰余金は、歳入歳出差引額 79 億 2,955 万 7 千円から、翌年度への繰越財源、3 億 4,116 万 2 千円を差し引いた 75 億 8,839 万 5 千円となった。

- (3) 経常収支比率は前年度と比較し、5.0 ポイント減少し 90.0%に、財政力指数は前年度と比較し、0.015 ポイント減少し 0.958 となった。

## 秘 書 室

---

- (1) 市長及び副市長の業務の円滑な遂行のために、通年で秘書業務を行った。
  - ① 交際費の支出について、引き続き適正な執行と支出の節減に努めるとともに、市ホームページに交際費の支出状況を掲載した。
  - ② 市長の行事記録について、市ホームページにフォトページを掲載したり、市長メッセージを随時更新するなど、情報の積極的な公開を図った。
- (2) 栄典事務について、所沢市表彰及び春秋叙勲や紺綬褒章、埼玉県表彰等、国や県の表彰に関する事務を行った。
  - ① 所沢市表彰式は、令和3年11月6日に市役所大会議室で開催し、市勢振興への貢献に対する感謝の意を表すものとして、功績の顕著であった功労表彰者77人、善行表彰者13組の表彰を行った。
  - ② 叙勲候補者の内申や春秋叙勲潜在候補者の調査、埼玉県表彰候補者の推薦等を適切に執行した。
- (3) 「所沢市新春のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、例年より規模を縮小し、飲食を伴わない形式として、令和4年1月12日に市民体育館で開催した(参加者388人)。また、市長あいさつをホームページ(所沢市公式YouTubeチャンネル)に掲載した。



## 危 機 管 理 室

---

- (1) デジタル移動系防災行政無線整備事業として、市本庁舎、各まちづくりセンターほか、合計 20 施設へ整備工事を実施した。
- (2) 防災行政無線整備・管理事業として、災害時に備え、固定系防災行政無線子局を市内に 2 基設置し、既存の防災行政無線の点検を実施した。
- (3) 防災倉庫等整備・管理事業として、中富小学校の防災倉庫を更新した。
- (4) 避難行動要支援者支援事業として、平常時から避難行動要支援者名簿の情報を避難支援関係者に提供することに同意を得た方の名簿を自治会・町内会長及び民生委員に配布した。
- (5) 総合防災訓練事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
- (6) 消防団第 7 分団詰所整備事業として、用地を購入し詰所の設計を行った。

事務事業名 デジタル移動系防災行政無線整備事業	予算現額	79,139,000 円
	決算額	74,805,350 円
所 管 危機管理室	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 9 項 1 目 3 説明 01 災害対策費	不用額	4,333,650 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.151)	前年度決算額	4,440,700 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>災害時の通信手段として危機管理室及び全てのまちづくりセンターに整備している移動系防災行政無線について、現行のアナログ式の使用期限が令和 4 年 11 月末で終了することから、デジタル移動系防災行政無線の設計・整備を行うものである。また、より確実な情報共有体制を整えるため、現地災害対策本部以外の出先機関への整備も併せて行う。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>市本庁舎、各まちづくりセンター、小手指公民館分館、所沢駅サービスコーナー、上下水道局、市民医療センター、保健センター、東部・西部クリーンセンター及び収集管理事務所の 20 施設に工事を実施し、整備を完了した。</p> <p>○所沢市デジタル移動系防災行政無線整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（6 者）</li> <li>・契約先：三峰無線株式会社 北関東支店</li> <li>・工 期：令和 3 年 6 月 8 日～令和 4 年 2 月 28 日</li> <li>・契約金額：74,800,000 円</li> <li>・内 容：本庁舎にデジタル移動系防災行政無線の統制局を、各まちづくりセンター等市内 19 施設に移動局を整備し、既存のアナログ設備の撤去を行う。</li> </ul>		

## 経 営 企 画 部

---

### 1 企画総務課

- (1) 平和推進事業として、平和の語り部を小学校等へ派遣するとともに、市役所及びまちづくりセンターにおいて、平和祈念資料展を開催した。
- (2) 男女共同参画事業として、性的少数者が社会的配慮を受けやすくするための「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を創設した。
- (3) 男女共同参画推進センターふらっとでは、自主企画講座やふらっと祭り、女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンキャンペーン）、女性の生き方に関する相談事業などを実施するとともに、デートDVとLGBT等についての啓発パンフレットと男女共同参画情報誌「SUN」の発行を行った。
- (4) 人権啓発推進事業では、「カラーユニバーサルデザイン」、「性の多様性」、「部落差別」をテーマに、市職員及び企業向け研修会を実施した。
- (5) 国際交流事業では、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、米国・ディケイター市との姉妹都市締結 55 周年を記念した代表訪問団の派遣や隔年事業である同市への高校生の派遣、中国・常州市及び韓国・安養市からの訪問団の受入れが中止となった。
- (6) 基地対策では、東西連絡道路用地に続く新たな返還の実現に向け、所沢市基地対策協議会で今後の返還運動の方針について協議した。
- (7) 東京オリンピック・パラリンピック推進事業として、東京 2020 大会に向けた聖火リレーやイタリア共和国の事前キャンプを実施し、キャンプ期間中は、選手団へ地元食材を使った料理の提供やオンラインによる市民との交流会、キャンプ地早稲田大学において陸上チームの練習見学会を実施した。また、小中学生を対象に行ったゴールボール体験会や市ゆかりの選手の応援などを通して、東京 2020 大会への機運醸成に取り組んだ。

## 2 経営企画課

- (1) マイナポイント設定支援事業については、国が実施するマイナポイント事業への申込みを自身で行うことが困難な市民のため、申込手続に係る各種支援を実施した。
- (2) COOL JAPAN FOREST 構想の周知啓発を一層進めるため、市役所 1 階市民ホールにおいて構想のパネル展示を行った。
- (3) 市民参加の取組として、市長と職員が市民に直接市政を伝える場として、「市の仕事報告会」を令和 3 年 12 月に実施した。
- (4) 行政改革関連事業については、「所沢市行政経営のための職員行動ガイドライン」に基づく推進体制として、次長級職員で構成する事務改善委員会を旗振役とし、全庁的な改革改善活動として「一人一改善」、「職員提案」などの取組を実施した。
- (5) 公共施設マネジメントについては、長寿命化改修の検討や各施設の日常点検、公共施設マネジメントシステムを用いた情報管理等を実施し、「所沢市公共施設長寿命化計画」の推進を図った。

## 3 広報課

- (1) 広報紙発行事業では、引き続き紙面の充実に努めた結果、公益社団法人日本広報協会が毎年行っている全国広報コンクールにおいて、「広報ところざわ」8 月号が「広報写真・組み写真部」で読売新聞社賞を受賞した。
- (2) メール配信システム「ところざわほっとメール」においては、気象特別警報の発令や地震情報といった緊急情報があった際には、適時適切に伝えるよう努めた。また、主に外国人市民を対象に分かりやすい日本語でのメールが配信されるよう、機能の充実、利便性の向上を図った。

## 4 デジタル戦略課

- (1) 全庁ネットワーク及び基幹情報システムの安定的な稼働に努めるとともに、情報セキュリティ監査を実施した。




- (2) 情報政策では、組織横断的にDXを推進するため、これまでのICT推進基本方針に代わる新たな指針として、所沢市DX推進基本方針を策定した。
- (3) 各種申請書の手書き文字等の入力作業を自動化し、事務の効率化を図るため、AI-OCRを導入した。
- (4) 証明書発行の手数料などの決済で現金を取り扱っている窓口のうち、市民課外5か所で、クレジットカード、電子マネー及びQRコードによるキャッシュレス決済を導入した。
- (5) 統合宛名システム及び共通基盤の機器老朽化並びに保守期間の終了に伴い、機器の安定稼働を図るためシステム等を更新した。

事務事業名 東京オリンピック・パラリンピック推進事業	予算現額	143,238,000 円
	決算額	127,490,565 円
所 管 経営企画部企画総務課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 15 説明 04 所沢ブランド推進事業費	不用額	15,747,435 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.50)	前年度決算額	4,194,793 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、本市の活性化等に資する取組を進めていくものである。</p> <p>東京 2020 大会を契機として、様々なスポーツや他国の文化に触れながら、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむまちづくりを進めることにより、障害者への理解を深め、社会的障壁のない共生社会の実現、誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イタリアオリンピックチーム事前合宿の受入れ 令和 3 年 7 月 7 日（水）～8 月 8 日（日） 選手団 233 人 キャンプ期間中、オンライン交流会、地元野菜を使った料理の提供、練習見学会などの交流事業を実施。</li> <li>○聖火リレーの実施 令和 3 年 7 月 6 日（火） 所沢市民体育館から所沢航空記念公園までの約 2.4km を 11 組のランナーが走行。</li> <li>○市ゆかりの選手の応援 東京オリンピック 2 人、東京パラリンピック 6 人、北京パラリンピック 2 人 横断幕の作成、オンライン壮行会、特別顕彰贈呈式等を実施。</li> <li>○ゴールボール体験会の実施 元パラアスリート及び代表コーチを招き、市内小学校 9 校（参加人数：673 人）で実施。 柳瀬小（4 年）、並木小（4 年）、東所沢小（6 年）、伸栄小（5 年）、三ヶ島小（6 年） 中富小（4 年）、和田小（4 年）、荒幡小（4 年）、小手指小（4 年）</li> </ul>		



ゴールボール体験会

事務事業名 R P Aソフト導入事業	予算現額	2,959,000 円								
	決算額	2,652,100 円								
所 管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0 円								
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 02 行政管理費	不用額	306,900 円								
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.51)	前年度決算額	—								
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>人口減少及び高齢化の中で質の高い行政サービスを維持していくため、大量かつ反復する業務を対象に、R P Aソフトを導入するものである。</p> <p>※R P A：従来は人手で行っていたパソコンでの事務作業を事前に作成したアプリケーション操作の手順フローであるシナリオに従ってソフトウェア型のロボットが自動的に行う仕組み</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R P Aによる効果が大きい業務や作業のある担当所属に研修を案内し、R P Aソフト（WinActor）を導入してシナリオ（作業手順）を作成した。 5 所属 8 業務 13 シナリオで、年間 953 時間の業務時間を削減した。</li> </ul>										
<p>○令和 3 年 R P Aソフト導入業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4 者）</li> <li>・契約事業者：株式会社日東テクノブレーン</li> <li>・契約金額：2,366,100 円</li> <li>・導入ソフト：WinActor（NTT アドバンステクノロジー株式会社） フル機能版：4 ライセンス 実行版：3 ライセンス</li> </ul> <p>※別途、WinActor 初級集合研修（講師謝礼 286,000 円、受講者 20 人）を実施した。</p>		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">削減時間</th> </tr> <tr> <th colspan="2">953 時間</th> </tr> <tr> <th>導入前</th> <th>導入後</th> </tr> <tr> <td>2,666 時間</td> <td>1,713 時間</td> </tr> </table>	削減時間		953 時間		導入前	導入後	2,666 時間	1,713 時間
削減時間										
953 時間										
導入前	導入後									
2,666 時間	1,713 時間									

事務事業名 マイナポイント設定支援事業	予算現額	8,382,000 円
	決算額	3,854,527 円
所 管 経営企画部経営企画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 6 説明 02 行政管理費	不用額	4,527,473 円
事業概要 (R3-4 議案第 119 号 P.5)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>マイナポイント事業とは、マイナンバーカード新規取得者等に最大 20,000 円相当のポイントを付与する国の事業である。本事業は、マイナポイント事業への申込みを自身で行うことが困難な市民のため、派遣職員等により申込手続に係る各種支援を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援を行った件数：887 件（令和 4 年 1 月～3 月）</li> <li>（参考）同時期におけるマイナンバーカード交付件数：7,837 件</li> </ul> <p>○所沢市マイナポイント設定支援事務従事者派遣業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（6 者）</li> <li>・委託先：株式会社パソナ パソナ・さいたま</li> <li>・委託期間：令和 4 年 1 月 13 日～3 月 31 日</li> <li>・委託金額：3,309,109 円</li> <li>・内 容：専属の派遣職員による申込手続に係る各種支援</li> </ul>		
 <p>本庁舎低層棟 2 階マイナポイント特設窓口の様子</p>		

事務事業名 AI-OCR導入事業	予算現額	1,958,000 円
	決算額	1,288,100 円
所 管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	669,900 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.52)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>AI-OCR（人工知能を利用した光学式文字読取装置）を導入することにより、各種申請書の手書き文字などをスキャナで読み込みデータ化し、手入力作業を省くことで事務の効率化を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4 所属 4 業務で導入し、年間 517 時間の削減効果が得られた。</li> </ul> <p>&lt;所属及び業務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども支援課（児童手当の現況届）</li> <li>・資源循環推進課（集団資源回収実施報告書）</li> <li>・市民課（マイナンバー交付業務）</li> <li>・農業振興課（体験農場申込書）</li> </ul> <p>○AI-OCR LGWAN-ASPサービス使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契約先：株式会社日立システムズ 関東甲信越支社営業本部第一営業部</li> <li>・利用期間：令和 3 年 6 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・契約金額：990,000 円</li> </ul> <p>○AI-OCR用スキャナの購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品：FUJITSU Image Scanner fi-7480</li> <li>・納入事業者：ミツイワ株式会社 関東営業部</li> <li>・購入金額：298,100 円</li> </ul>		

事務事業名 無線LANアクセスポイント整備事業	予算現額	2,926,000円
	決算額	0円
所管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	2,926,000円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	0円
事業概要 (R3-3 議案第68～71号 P.12)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止・ポストコロナに向けて、多様な働き方の環境を整備することを目的として、会議室など、自席以外でパソコンが使用できる環境を整えるため、庁内に無線LANアクセスポイントを整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無線LANアクセスポイント台数：10台</li> </ul> <p>※本事業については、予算額2,926,000円を令和4年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 キャッシュレス決済導入事業	予算現額	2,517,000円
	決算額	2,515,920円
所管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	1,080円
事業概要 (R3-4 議案第98号～100号 P.10)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー及びQRコード）の導入により、市民の利便性向上、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るものである。市民税課、資産税課、市民相談課、市民課、生活環境課、生涯学習推進センターの計6窓口において、令和4年4月から運用を開始した。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャッシュレス決済端末導入委託（初期設定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：三井住友カード株式会社</li> <li>・委託期間：令和3年12月23日～令和4年3月31日</li> <li>・委託金額：592,020円</li> <li>・内 容：初期設定を行った端末（ハードウェア）を納品する業務</li> </ul> </li> <li>○キャッシュレス決済端末導入委託（アプリ連携） <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：ポスタス株式会社</li> <li>・委託期間：令和3年12月23日～令和4年3月31日</li> <li>・委託金額：1,923,900円</li> <li>・内 容：端末設置、ネットワーク設定（レシートプリンタ等）、管理クラウド構築業務</li> </ul> </li> </ul> <p>※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。</p>		

# 総 務 部

---

## 1 文書行政課

(1) 総務事務として、次の事務を実施した。

- ① 市議会に関する事務として、定例会へ計 132 件の議案提出とこれに伴う議案資料作成等を行った。
- ② 文書管理事務として、ファイリングシステムの維持管理のため、27 所属の巡回点検、令和元年度文書 1,710 箱の引継ぎ等を行った。
- ③ 本庁舎内コピーコーナー等に設置している共用コピー機 14 台の更新を行った。

(2) 法規事務として、次の事業を実施した。

- ① 法務推進室において、条例、規則等の立案支援及び審査等を行い、条例及び規則については、新規制定 5 件、一部改正 79 件、廃止 1 件を公布した。
- ② 顧問弁護士による法律相談を 19 件、任期付職員である法曹有資格職員による法律相談を 283 件実施した。

(3) 統計事務として、次の事業を実施した。

- ① 基幹統計調査事務として、経済センサス活動調査及び学校基本調査を実施した。
- ② 市政統計として、令和 2 年版所沢市統計書を刊行した。

(4) 公平委員会事務局事務として、所沢市公平委員会を 7 回開催した。

## 2 職員課

(1) 前年度に引き続き、宮城県山元町に職員 1 人を 1 年間派遣した。

(2) 職員採用試験として、秋の採用試験のほか、他自治体よりもいち早く有能な職員を確保するために、民間企業と併願している学生の受験を可能とする、より人物重視の試験内容の試験を春にも実施するとともに、必要な職種については冬にも試験を実施し、93 人の職員を新規に採用した。

(3) 人事院勧告に準じ、期末手当の支給月数について、再任用職員以外の正規職員は 0.15 月分、再任用職員は 0.1 月分引き下げ、18 億

857万9,858円を支出した。

- (4) 職員厚生関係では、職員のメンタルヘルス不調の未然防止と職場環境の改善につなげるため、法に基づくストレスチェックを7月に実施し、2,417人の職員が受検した。

### 3 契約課

- (1) 工事契約として、年間87件、35億2,412万7,640円の契約を締結し、契約手続の透明性等を確保する目的で入札監視委員会を2回開催した。

- (2) 物品契約として、指名競争入札78件、指名見積合せ25件、オープンカウンター方式による見積合せ263件、1者特命による見積合せ87件、年間5億3,485万2,594円の入札等事務を行った。

また、令和3・4年度の入札参加資格者（物品）について、163件の追加受付事務と369件の変更事務を行った。

- (3) 工事検査において、市が発注した建設工事及び施設修繕のうち、請負代金額が500万円以上の工事等について、厳正かつ公正を旨として、完成検査及び中間検査等を含め、合計302件の検査を執行した。

# 財 務 部

---

## 1 財政課

新型コロナウイルス感染症に係る状況変化に迅速に対応するとともに、新地方公会計制度に対応した財務諸表の作成や市民に解りやすい財政情報の公表に努め、令和4年度予算の編成に当たっては、前年度に引き続き一件査定方式を採用し、歳出全般に対して精査を行った。

## 2 管財課

- (1) 市庁舎施設整備事業として、令和3年度から令和4年度にかけて庁舎自動昇降機の改修工事を実施した。
- (2) 市有財産活用事業として、東狭山ヶ丘一丁目の市有地を売却し、4,400万円の売払収入があった。

## 3 市民税課

- (1) 各税目について関係法令等の遵守に努め、適正かつ公平に課税した。
- (2) RPAを活用し、日々行っている定型作業を自動化させることで、職員の負担軽減及び作業の効率化を図った。

## 4 資産税課

- (1) 令和3年度は3年に1度の評価替え基準年度に当たることから、土地・家屋の評価替えを行い、新たな評価額で課税した。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響による軽減特例が設けられたことから、土地、家屋、償却資産の税額の軽減を行った。

## 5 収税課

- (1) 滞納整理に係る方針や目標収納率等を定めた所沢市収納率向上計画に基づき、未整理事案の解決を中心とした滞納整理を行い、収入未済額の圧縮に努めた。結果として、市税（国民健康保険税を除

く。) 収納率は、前年度と比較して 0.60 ポイント上昇し、98.71% となった。

- (2) 収納管理事務等の委託化により、滞納整理担当職員を確保し、きめ細やかな滞納整理業務を遂行することで、市税の早期収納、収入額の増加及び収納率の向上に努めた。



事務事業名 市庁舎施設整備事業（自動昇降機改修工事）	予算現額	127,105,000 円
	決算額	0 円
所 管 財務部管財課	翌年度繰越額	127,105,000 円
予算区分 款 2 項 1 目 5 説明 01 財産維持管理費	不用額	0 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.57)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。

<事業の実績・成果>

○所沢市庁舎自動昇降機改修工事(令和3・4年度継続事業)

- ・ 選定方法：一般競争入札(1者)
- ・ 契 約 先：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関越支社
- ・ 工 期：令和3年6月30日～令和5年1月31日
- ・ 契約金額：242,000,000 円
- ・ 内 容：エレベーター改修6基（高層棟4基・低層棟2基）  
中央制御装置改修工事一式  
令和3年度は、高層棟1基、低層棟1基を改修



※本事業については、予算額 127,105,000 円を令和4年度へ逐次繰越し、実施する。



# 市 民 部

---

## 1 地域づくり推進課

- (1) 自治会・町内会の支援として、市政運営への協力に対し報償金を交付するとともに、地域集会施設の修繕、維持管理に係る費用の助成等により、自治会等の活動拠点の整備を行った。
- (2) 市民活動支援の拠点である市民活動支援センターでは、登録団体への支援及び市民活動の普及啓発を目的として、市民活動支援講座や市民活動見本市の開催のほか、市民活動支援システム「トコロん Web」を活用した情報発信に努めた。
- (3) 狭山ヶ丘コミュニティセンターでは、冷温水発生機改修工事を実施し、施設の環境整備に努めた。
- (4) 中富南コミュニティセンターにおいては、屋上防水改修工事を実施し、施設の環境整備に努めた。
- (5) 椿峰コミュニティ会館別館においては、非常用発電設備の改修工事を実施した。また、樹林地においてナラ枯れが発見されたため、債務負担行為を設定し、ナラ枯れ木伐採処理業務委託契約を行った。

## 2 文化芸術振興課

- (1) 音楽のあるまちづくり推進事業の取組の一環として、令和 3 年 9 月からグランエミオ所沢（所沢駅）にストリートピアノ（音まちピアノ）を設置し、令和 4 年 3 月までに延べ約 13,600 人が演奏した。
- (2) 音楽のあるまちづくり推進事業の核となる事業として、令和 3 年 9 月 25 日（土）・26 日（日）に所沢航空記念公園等を会場に「空飛ぶ音楽祭 2021」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。

## 3 まちづくりセンター

- (1) 地域づくり支援事業として、次の各事項に取り組んだ。
  - ① 各地区における自治連合会等の地域団体の事務局として、各種

事業への参画や地域コミュニティ活動の支援を行った。

- ② 地域住民の相談窓口として、関係各課と調整を図りながら、多様な要望・相談等の処理や地域に関する情報共有の促進を行った。
  - ③ 市の基本計画、市政に関する情報及び地域情報を提供した。
  - ④ 地域づくり協議会に交付金を交付し、その活動を支援した。
  - ⑤ 地域づくり協議会の設立に向けた支援を行った。
- (2) 公民館主催事業として、市民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興及び社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育、学術及び文化に関する次の各種事業を実施した。
- ① 公民館全館において、市民を対象に学級・講座、行事等の事業を合計 211 件実施した。
  - ② 各公民館で、「公民館だより」をはじめとする各種印刷物を発行した。
  - ③ 市内の全 11 地区で、成人のつどいを開催した(令和 4 年 1 月 10 日)。
- (3) 公民館施設提供事業として、生涯学習社会・地域社会の構築に資するため、集団による各種学習活動の場として施設を提供することにより、住民の知識・教養の向上を図った。公民館全館において、計 45,913 件、延べ 523,785 人の利用があった。
- (4) 地域に最も近い行政サービスの拠点として、転居等の届出の受付、住民票等の各種証明書の発行をはじめ、市の各部署から依頼のあった窓口事務を行った。まちづくりセンターでの証明発行件数(市民課小手指サービスコーナー取扱分を含む有料交付分)は、合計 111,349 件で、市全体の件数の 40.47%であった。
- (5) 高齢者をはじめとするインターネット端末の操作が困難な方を対象に、新型コロナウイルスワクチン Web 予約の支援を実施した。

#### 4 市民相談課

- (1) 市民の方の日常生活に生じる諸問題や悩みごとに応じる一般相談、弁護士や税理士等による各種の専門相談を実施し、2,750 件の相談が

- あった。
- (2) 広聴業務では、市政への提案制度としての「市長への手紙」を 778 件、各種団体等からの「陳情書」を 18 件受理したほか、陳情書に基づく「市政懇談会」を 5 回実施した。
  - (3) 市民保養業務では、協定施設の宿泊料金の優待サービスなどを実施し、201 件の利用があった。
  - (4) 市政情報センターでは、本市の情報公開制度及び個人情報保護制度の総合窓口として開示請求等に対応した。公文書公開請求は 108 件、個人情報開示請求は 64 件であった。
  - (5) 消費生活センターでは、消費生活上の様々な商品やサービスに関する消費生活相談を実施し、2,043 件の相談があった。また、消費者問題に係る講座及び消費生活展を関係機関と連携して開催するなど、消費生活の啓発を図った。

## 5 市民課

- (1) 個人番号カードについては、マイナポイント制度の拡大や健康保険証利用の申込みなどにより、交付枚数が増加したことから受付用端末を増設するとともに、会計年度任用職員を増員し、交付体制を強化した。また、個人番号カードの更なる交付促進のため、職員がまちづくりセンターへ出向き、タブレット端末を使用して、申請補助を行った。
- (2) 住民基本台帳法等の一部改正に伴い、国外転出者が転出後も個人番号カードを利用できることとされたことから、令和 2 年度に引き続き、関連する住民記録システム、住民基本台帳ネットワークシステム及びコンビニ交付システムを改修した。
- (3) コンビニ交付システムについては、一部機器のメーカーのサポート終了に伴い、セキュリティの低下が予想されることから、機器を更新した。
- (4) 年金システムについては、税制改正に伴う法改正による国民年金及び年金生活者支援給付金事務に対応するために必要な改修を行っ

た。

## 6 防犯交通安全課

- (1) 西所沢駅西口改札口開設事業については、基本協定の締結に向け、鉄道事業者と協議を行うとともに、開設後の交通混雑緩和のための転回広場についての修正設計業務委託を行った。
- (2) 市営自転車駐車場感染拡大防止対策事業（キャッシュレス決済導入）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市営自転車駐車場 29 か所のうち、利用料金徴収等が機械化されていない 19 か所に定期更新機、料金精算機（キャッシュレス決済）等を導入した。
- (3) 交通安全運動推進事業及び交通安全教育推進事業については、交通事故の防止に向けて、市民に対して交通ルールの遵守を促すため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、啓発活動や交通安全教室等を開催した。
- (4) 所沢市客引き対策事業については、「所沢市客引き行為等の禁止に関する条例」に基づき、プロペ通りにおける客引き行為等を行う者に対しての指導を実施した。
  - ① 市職員及び委託事業者警備員等により、通行人その他来街者や客引き等に対して、条例の趣旨を周知広報する活動を行った。
  - ② 市職員及び委託事業者警備員による巡回を行い、公共の場所において客引き行為等を行っている者に対して、口頭による注意及び指導並びに書面による指導などを行った。
- (5) 地域安全活動推進事業については、自主防犯組織の支援として、防犯パトロールに必要な資器材の購入、貸出などを行い、防犯のまちづくりの推進に努めた。
- (6) 空き家対策事業については、管理不全な空き家について、「所沢市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、指導改善を促した。

事務事業名 狭山ヶ丘コミュニティセンター施設整備事業	予算現額	38,924,000円
	決算額	38,124,900円
所管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 04 狭山ヶ丘コミュニティセンター費	不用額	799,100円
事業概要 (R3-1 議案第12号～21号 P.61)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適切な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市狭山ヶ丘コミュニティセンター冷温水発生機改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：平岩設備工業株式会社</li> <li>・工期：令和3年10月6日～令和4年3月15日</li> <li>・契約金額：38,005,000円</li> <li>・内容：空調機器の更新（吸収式冷温水発生機、冷却塔、冷温水ポンプ、膨張水槽、送風機） 屋上機器置場の防水改修 動力設備改修</li> </ul> <p>○狭山ヶ丘コミュニティセンターアスベスト含有調査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約（2者）</li> <li>・委託先：株式会社環境総合研究所</li> <li>・委託期間：令和3年6月17日～9月30日</li> <li>・委託金額：119,900円</li> <li>・内容：1階機械室の煙道及びダクトのアスベスト含有調査</li> </ul>		

事務事業名 中富南コミュニティセンター施設整備事業	予算現額	17,534,000円
	決算額	17,534,000円
所管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 06 中富南コミュニティセンター費	不用額	0円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.62)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適切な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○中富南コミュニティセンター屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3者）</li> <li>・契約先：アポロ工業株式会社</li> <li>・工期：令和3年9月30日～12月28日</li> <li>・契約金額：17,534,000円</li> </ul>		

事務事業名 椿峰コミュニティ会館別館樹林地整備事業	予算現額	—
	決算額	—
所 管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	—
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 03 椿峰コミュニティ会館費	不用額	—
事業概要 (R3-4 議案第 98～100 号 P.11)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌に感染することで樹木が枯れしまう「ナラ枯れ」が、椿峰コミュニティ会館別館の樹林地において確認された。ナラ枯れにより枯死した樹木は倒木の恐れがあることに加え、感染樹木から飛散したカシノナガキクイムシが新たな場所で繁殖し、ナラ枯れ被害が拡大していくことから、早期に伐採処理を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○椿峰コミュニティ会館別館ナラ枯れ木伐採処理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（5者）</li> <li>・委 託 先：株式会社 Midoru さいたま営業所</li> <li>・委託期間：令和4年1月24日～6月20日</li> <li>・委託金額：3,256,000円（債務負担行為）</li> <li>・内 容：椿峰コミュニティ会館別館のナラ菌に感染した樹林地内樹木の伐採</li> </ul>		

事務事業名 空飛ぶ音楽祭開催事業	予算現額	650,000円
	決算額	206,630円
所 管 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 7 説明 01 文化芸術振興費	不用額	443,370円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.64) (R4-1 議案第 1 号～7 号 P.56)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市の推進する「音楽のあるまちづくり」の核となる事業として、所沢航空記念公園の緑豊かなロケーションをバックに、所沢にゆかりのあるミュージシャンのステージから日頃の成果の発表となるアマチュアのライブまでバラエティに富んだプログラムで、音楽のあるまち所沢の魅力をアピールするものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>本事業は、開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となった（令和3年8月30日公表）。</p> <p>【参 考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント名：空飛ぶ音楽祭 2021</li> <li>・日 時：令和3年9月25日（土）・26日（日）</li> <li>・会 場：所沢航空記念公園及び所沢市民文化センター・ミュージズ</li> <li>・主 催：空飛ぶ音楽祭実行委員会（事務局：市民部文化芸術振興課）</li> <li>・共 催：所沢市・所沢市文化振興事業団</li> </ul>		



事務事業名 ストリートピアノ設置事業	予算現額	598,000 円
	決算額	409,026 円
所 管 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 7 説明 01 文化芸術振興費	不用額	188,974 円
事業概要 (R3-2 議案第 49~50 号 P.26) (R3-4 議案第 98~100 号 P.12)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>グランエミオ所沢（所沢駅）にストリートピアノを設置することで、駅を訪れる方々に自由にピアノを弾いてもらい、街を歩くと、ふと音楽が聞こえてくる「音楽のあるまち」として所沢の魅力の発信を図っていくものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会 場：グランエミオ所沢 2F セントラルプラザ</li> <li>・設置ピアノ：河合楽器製アップライトピアノ（市内事業者からの寄附）</li> <li>・設 置 日：令和 3 年 9 月 4 日（土）</li> <li>・稼働日数：182 日</li> <li>・演奏者数：延べ約 13,600 人</li> <li>・そ の 他：設置当初は 9 月 29 日（水）までの期間限定としていたが、多くの方からのご好評により当面の間、継続することとなった。</li> </ul>		

事務事業名 個人番号カード交付事業	予算現額	213,555,000 円
	決算額	181,755,048 円
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 3 目 1 説明 02 戸籍住民基本台帳事務費	不用額	31,799,952 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.69) (R4-1 議案第 1~7 号 P.22)	前年度決算額	178,806,666 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）に基づき、個人番号カードを市民に対して交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度個人番号カード交付枚数 47,056 枚（令和 2 年度：35,311 枚）</li> </ul> <p>マイナポイント事業の拡大や個人番号カードの健康保険証利用の申込みなどにより、カードの交付枚数が増加したことから会計年度任用職員を増員し対応した。</p>		

事務事業名 住民記録システム等改修事業（転出・転入手続ワンストップ化対応）	予算現額	10,900,000円
	決算額	0円
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	10,900,000円
予算区分 款 2 項 3 目 1 説明 02 戸籍住民基本台帳事務費	不用額	0円
事業概要 (R4-1 議案第1～7号 P.21)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>住民基本台帳法の一部改正に伴い、マイナポータルから個人番号カードを用いて、オンライン上で転出の届出及び転入予約の手続を可能にするため、住民記録システム・住民基本台帳ネットワークシステムの改修を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>※本事業については、予算額10,900,000円を令和4年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 所沢市客引き対策事業	予算現額	13,568,000円
	決算額	13,512,055円
所 管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 15 説明 05 防犯対策費	不用額	55,945円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.54)	前年度決算額	5,965,300円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>「所沢市客引き行為等の禁止に関する条例」に基づき、市民等が安心して通行できる快適な環境を確保するとともに、健全な事業活動の発展に寄与することを目的として、公共の場所における客引き行為等を行う者に指導等を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロペ通りにおいて条例の周知啓発活動等を実施したほか、「客引きしない店舗」の協力店にステッカーを交付した。</li> <li>市職員及び委託警備員による巡回指導を行った。（口頭指導：2,559件、書面指導：19件、勧告：1件）</li> <li>巡回指導実施中は、プロペ通り路上において、客引き行為等を行う者が減少している。</li> </ul> <p>○客引きパトロール等警備業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法：指名競争入札（2者）</li> <li>委 託 先：有限会社セキュリティ・ライセンス・KOB</li> <li>委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日</li> <li>委託金額：13,464,000円</li> <li>内 容：客引きパトロール及び口頭指導、条例の周知啓発等</li> </ul>		

事務事業名 西所沢駅西口改札口開設事業	予算現額	4,127,000 円
	決算額	3,575,000 円
所 管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 01 交通対策費	不用額	552,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.70)	前年度決算額	63,637,476 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>西所沢駅の利用者の利便性向上と安全性確保のため、同駅西口開設に向けて取り組んでいるものである。</p> <p>平成 17 年度に地元自治会等から西所沢駅西口改札口に関する請願書が提出され、市議会で採択されたことなどを受け、鉄道事業者等との協議を進めるとともに、平成 27 年度には、西所沢駅西口開設整備計画を策定した。</p> <p>本事業は、西所沢駅西口開設整備計画に基づき、西所沢駅周辺の安全性確保のための整備を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道事業者との協議</li> <li>・ 転回広場修正設計業務委託</li> </ul> <p>○市道 5-351 号線転回広場修正設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選定方法：指名競争入札（5 者）</li> <li>・ 委 託 先：株式会社大雄測量設計</li> <li>・ 委託期間：令和 3 年 6 月 9 日～令和 4 年 3 月 15 日</li> <li>・ 委託金額：3,575,000 円</li> <li>・ 内 容：交通混雑の緩和を図るための転回広場についての修正設計委託</li> </ul>		

事務事業名 市営自転車駐車場感染拡大防止対策事業（キャッシュレス決済導入）	予算現額	144,023,000 円
	決算額	143,506,000 円
所 管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 02 自転車対策費	不用額	517,000 円
事業概要 (R3-3 議案第 67 号 P.5)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市営自転車駐車場 29 か所のうち、利用料金徴収等が機械化されていない 19 か所に定期更新機、料金精算機（キャッシュレス決済）等を導入するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○事業用備品費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 納入機器：定期更新機 11 台、定期管理システム 10 台、一時利用精算機 12 台、一時利用券発券機 11 台、交通系 IC カード専用決済機 10 台、集中精算機 7 台、電磁ロック式サイクルラック 310 台、電磁ロック式バイクラック 42 台、クラウド防犯カメラシステム 9 台、満空表示機 1 台、ルーター 4 台、取扱説明看板 40 台</li> <li>・ 購入金額：142,538,000 円</li> </ul> <p>○自転車駐車場案内看板作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選定方法：指名競争入札（3 者）</li> <li>・ 委 託 先：サンサイクルシステム株式会社</li> <li>・ 委託期間：令和 4 年 1 月 28 日～3 月 25 日</li> <li>・ 委託金額：968,000 円</li> <li>・ 内 容：自転車駐車場案内板 20 枚</li> </ul>		



# 福 祉 部

---

## 1 福祉総務課

- (1) 長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活支援を行うため、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を支給した（27,452世帯、2,745,200,000円）。
- (2) 所沢市戦没者追悼式を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催した（参加者42人）。
- (3) 適正な法人運営と社会福祉事業の健全な経営の確保を図ることを目的に、所沢市が所轄庁となる社会福祉法人のうち8法人に対して指導監査を実施した。
- (4) 介護給付対象等サービスの質の確保と保険給付の適正化を図ることを目的に、所沢市が指定する介護サービス事業者等に対する集団指導（全事業所：書面開催）及び実地指導（28事業所：訪問）を実施した。

## 2 生活福祉課

- (1) 生活保護法に基づき、生活に困窮する方に対し、必要な保護を実施した（3,782世帯、4,825人）。
- (2) 新たな事業として、就労準備支援事業延べ212件、生活困窮者自立支援金支給事業790件を実施した。
- (3) 就労支援事業として、345人に支援を行い、137人が就職した。
- (4) 生活困窮者自立促進支援事業として、自立相談支援15,674件、家計改善支援877件、一時生活支援9世帯16人290日、住居確保給付金362件等の支援を行った。

## 3 障害福祉課

- (1) 福祉施設応援給付金支給事業（障害者施設分）として、利用者や施設職員への適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で事業を継続実施している市内の障害者サービス施設・事業所等に対して、応援給付金を支給した（支給事業所数：142件、支給額：31,600,000円）。

- (2) 「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」に基づき、社会的障壁の除去推進事業補助金を交付した（5件、592,860円）。
- (3) 障害福祉サービス事業として、障害者の日常生活及び社会生活を支援するため障害福祉サービスを提供した（利用者3,303人）。
- (4) 自立支援医療給付事業として、障害者がその障害を除去・軽減するための医療を指定医療機関で受ける場合に、医療費を給付した（支給認定者360人）。
- (5) 地域生活支援事業として、障害者週間記念事業（参加者延べ2,066人）、コミュニケーション支援事業（派遣件数903件）、移動支援事業（実利用者177人）、日中一時支援事業（実利用者61人）を実施した。
- (6) 重度心身障害福祉手当事業として、重度の心身障害者に手当を支給した（対象者6,571人）。
- (7) 外出援助事業として、タクシー券交付及びガソリン費の一部の補助を行った（補助件数：タクシー券50,250件、ガソリン費19,257件）。
- (8) 重度心身障害児等医療費助成事業として、保険診療医療費等の自己負担分を助成した（受給者5,635人）。
- (9) 障害者就労支援事業として、一般就労に向けた支援を行った（ところぞわ就労支援センター登録者1,163人うち就職者714人）。

#### 4 高齢者支援課

- (1) 福祉施設応援給付金支給事業（高齢者施設分）として、利用者や施設職員への適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で、事業を継続実施している市内の高齢者施設に対して、応援給付金を支給した（支給施設数：50施設、支給額：5,000,000円）。
- (2) 地域でみまもり支え合い事業（ところんおかえりQR）として、事業開始に当たり、無償配布用のところんおかえりQR（QRコード付きシール）を購入し、必要な対象者に配布した（1,000枚）。
- (3) 長生クラブ支援事業として、高齢者の知識及び経験を活かし、明るい長寿社会づくりに資することを目的として活動している長生クラブを支援した（長生クラブ60クラブ、会員3,549人）。

- (4) 高齢者交流・研修支援事業として、高齢者団体が高齢者の福祉増進に寄与する活動等において貸切バスを利用した場合における賃借料の一部を補助した（利用団体数 16 団体、利用人数 432 人）。
- (5) 健康の増進や教養の向上等の場としてお互いに学び、仲間づくりを大切にしながら心身ともに健康で明るい日常生活を送ることができる活動拠点として、老人福祉センター等を運営した（利用人数：老人福祉センター4 か所 60,284 人、老人憩の家 65,702 人）。

## 5 介護保険課

- (1) 低所得者に対する介護サービス利用の促進のため、介護保険の利用者負担の一部を助成する利用者負担助成金を支給した（15,044 件、40,769,342 円）。
- (2) 福祉施設応援給付金支給事業（介護施設分）として、利用者や施設職員への適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で、事業を継続実施している市内の介護施設・事業所等に対して、応援給付金を支給した（支給事業所数：438 件、支給額：77,200,000 円）。

## 6 地域福祉センター

- (1) 地域福祉推進事業として、所沢市地域福祉推進委員会を 2 回開催した。
- (2) 罹災援護事業として、火災による被害を受けた 8 世帯に罹災見舞金を支給した。
- (3) 第 45 回所沢市社会福祉大会を実施し、地域福祉の向上に寄与した 32 団体、115 人及び青少年の健全育成に寄与した 2 団体、20 人を表彰した。
- (4) 民生委員推薦会として、市推薦会を 2 回、地区推薦会を 28 回開催した。
- (5) 成年後見制度推進事業として、周知活動や福祉の相談窓口による権利擁護相談 518 件を行った。また、所沢市成年後見制度推進検討

委員会を2回開催した。

- (6) こどもと福祉の未来館管理運営事業として、来館者の利便性や安全性に配慮した施設提供を行った（利用者 105,407 人）。



事務事業名 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業	予算現額	4,593,143,000円
	決算額	2,850,642,482円
所管 福祉部福祉総務課	翌年度繰越額	1,742,500,518円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 16 住民税非課税世帯等臨時特別給付金費	不用額	0円
事業概要 (R3-4 議案第119号 P.6)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」により、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○支給実績 ①基準日（令和3年12月10日）において令和3年度住民税均等割が非課税である世帯（住民税課税者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。） 27,372世帯（支給金額：2,737,200,000円）</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯） 80世帯（支給金額：8,000,000円）</p> <p>○住民税非課税世帯等臨時特別給付金支援業務委託  ・選定方法：随意契約  ・委託先：パーソルワークスデザイン株式会社  ・委託期間：令和3年12月24日～令和4年7月31日  ・委託金額：単価契約（令和3年度支払額94,001,053円）  ・内 容：コールセンター業務、支給決定支援ほか</p> <p>○住民税非課税世帯等臨時特別給付金人材派遣委託  ・選定方法：随意契約  ・委託先：パーソルテンプスタッフ株式会社  ・委託期間：令和3年12月24日～令和4年11月30日  ・委託金額：単価契約（令和3年度支払額7,007,707円）  ・内 容：窓口受付業務</p> <p>※本事業については、予算額1,742,500,518円を令和4年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 生活困窮者自立促進支援事業	予算現額	110,764,000円
	決算額	71,689,550円
所管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 13 生活困窮者自立促進支援事業費	不用額	39,074,450円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.76)	前年度決算額	104,920,248円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づき、地域で孤立する生活困窮者からの相談支援やプラン作成等を行う「自立相談支援事業」、家計に問題を抱える生活困窮者への「家計改善支援事業」、何らかの理由で住居を失った生活困窮者に対し一時的な宿泊場所や飲食を提供する「一時生活支援事業」、生活困窮世帯の子どもに対する「学習支援事業」及び離職等により住宅を喪失又は喪失する恐れのある生活困窮者等に対し家賃相当の「住居確保給付金」の支給を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○自立相談支援事業委託、家計改善支援事業委託及び一時生活支援事業委託  ・選定方法：随意契約  ・委託先：社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会  ・委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日  ・委託金額及び実績：自立相談支援事業委託 48,878,500円（総支援人数15,674人）  家計改善支援事業委託 3,218,600円（相談件数877件）  一時生活支援事業委託 1,689,657円（9世帯16人）</p> <p>○生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業  ・実績：98回開催、延べ363人参加</p> <p>○住居確保給付金  ・実績：支給件数362件</p>		

事務事業名 生活困窮者自立支援金支給事業	予算現額	231,649,000 円
	決算額	73,257,306 円
所 管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 13 生活困窮者自立促進支援事業費	不用額	158,391,694 円
事業概要 (R3-2 議案第 64 号 P.5) (R3-4 議案第 93～95 号 P.7) (R3-4 議案第 119 号 P.7)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を利用できない世帯で一定の要件を満たす世帯に対し、令和 3 年 7 月以降、申請に基づき「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○対象者：総合支援資金の再貸付終了世帯、再貸付不承認世帯で以下の要件を満たす世帯（生活保護世帯を除く。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収入：①と②の合計額以下 <ul style="list-style-type: none"> <li>①市町村民税均等割が非課税となる収入額の 1/12</li> <li>②生活保護の住宅扶助基準額</li> </ul> </li> <li>・資産：預貯金が①の 6 倍以下かつ 100 万円以下</li> <li>・求職等：ハローワークでの相談かつ求人先への応募又は面談等の実施又は生活保護の申請</li> </ul> <p>○支給額：単身世帯：6 万円/月、2 人世帯：8 万円/月、3 人以上世帯：10 万円/月</p> <p>○実績：362 世帯、790 件</p>		

事務事業名 所沢市立プロペラ空調設備改修事業	予算現額	27,995,000 円
	決算額	27,390,000 円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 09 障害福祉施設管理費	不用額	605,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.77)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適切な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立プロペラ空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契約先：経塚工業株式会社 埼玉営業所</li> <li>・工期：令和 3 年 9 月 1 日～12 月 10 日</li> <li>・契約金額：27,390,000 円</li> </ul>		

事務事業名 所沢市立こあふる空調設備改修事業	予算現額	23,892,000 円
	決算額	23,100,000 円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 09 障害福祉施設管理費	不用額	792,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.78)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適切な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立こあふる空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：上野管工株式会社</li> <li>・工 期：令和 3 年 8 月 24 日～令和 4 年 1 月 26 日</li> <li>・契約金額：23,100,000 円</li> </ul>		

事務事業名 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	予算現額	1,789,000 円
	決算額	1,217,561 円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 07 障害福祉総務費	不用額	571,439 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.80)	前年度決算額	205,216 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>平成 30 年 7 月に施行された「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」に基づき、社会的障壁の除去の推進を図るための総合的な取組として、本事業を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○周知啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級職員研修：令和 3 年 10 月 13 日開催</li> <li>・職 員 研 修：令和 3 年 12 月 16 日（午前・午後の 2 回）開催 ：令和 4 年 2 月 8 日～3 月 4 日動画研修として配信 ※新型コロナウイルス感染症対策として、動画配信により実施</li> <li>・周知啓発用チラシの作成：6.36 円×8,500 部×1.1=59,466 円</li> </ul> <p>○社会的障壁の除去推進事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者等による社会的障壁の除去を目的とした物品購入等に対する補助金の交付</li> <li>・件数：5 件 ・補助金額：592,860 円</li> </ul> <p>○筆談ボードの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的障壁除去をより浸透させる手段として需要の多い筆談ボードを市が一括購入し、希望する店舗へ配布</li> <li>・配 布 数：西武所沢 S. C. 及びワルツ所沢の各店舗に計 215 個</li> <li>・購入金額：単価 2,390 円×215 個×1.1=565,235 円</li> </ul>		

事務事業名 福祉施設応援給付金支給事業（障害者施設分）	予算現額	33,195,000 円
	決算額	33,195,000 円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 07 障害福祉総務費	不用額	1,551,347 円
事業概要 (R3-3 議案第 89 号 P.5)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、利用者や施設職員への適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で事業を継続実施している市内の福祉施設に対して、応援給付金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する障害福祉サービスを提供する市内の事業所及び所沢サン・アビリティーズ ※基準日：令和 3 年 9 月 1 日 ※対象数：331 事業</li> <li>支給額：1 事業当たり 100,000 円 ※1 事業所で複数の事業を提供している場合は、その数分を当該事業所へ支給</li> <li>受付期間：令和 3 年 10 月 20 日～11 月 30 日</li> <li>支給実績：316 事業 31,600,000 円</li> </ul>		

事務事業名 ところ荘老人デイサービスセンター空調設備改修事業	予算現額	2,849,000 円
	決算額	2,640,000 円
所 管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 04 老人援護対策費	不用額	209,000 円
事業概要 (R3-2 議案第 47 号 P.9)	前年度決算額	—
<p>ところ荘老人デイサービスセンターは、平成 12 年に築造された施設であり、食堂の空調設備が故障したことから、施設で提供するサービスに支障を来すことがないよう、緊急の改修工事を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○ところ荘老人デイサービスセンター空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法：指名競争入札（4 者）</li> <li>契約先：有限会社伏見設備工業</li> <li>工期：令和 3 年 6 月 30 日～10 月 29 日</li> <li>契約金額：2,640,000 円</li> </ul>		

事務事業名 福祉施設応援給付金支給事業（高齢者施設分）	予算現額	5,020,000 円
	決算額	5,011,976 円
所 管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 04 老人援護対策費	不用額	8,024 円
事業概要 (R3-3 議案第 89 号 P.6)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、利用者や施設職員への適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で事業を継続実施している市内の福祉施設に対して、応援給付金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対 象：市内の高齢者施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 老人福祉法上の養護老人ホーム、ケアハウス、老人福祉センター（直営を除く。）、有料老人ホーム</li> <li>② 高齢者の居住の安定確保に関する法律に規定するサービス付き高齢者向け住宅</li> <li>③ 昭和 40 年 4 月 5 日社老第 88 号厚生省社会局長通知に規定する老人憩の家</li> </ul> </li> <li>※基準日：令和 3 年 9 月 1 日 ※対象数：50 施設</li> <li>・支 給 額：1 施設当たり 100,000 円</li> <li>・受付期間：令和 3 年 10 月 15 日～11 月 30 日</li> <li>・支給実績：50 施設 5,000,000 円</li> </ul>		

事務事業名 地域でみまもり支え合い事業（トコロんおかえり QR）	予算現額	676,000 円
	決算額	675,400 円
所 管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 04 老人援護対策費	不用額	600 円
事業概要 (R3-4 議案第 98～100 号 P.15)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>認知症の高齢者など、道に迷う恐れのある高齢者とその家族を地域で見守り、支え合う体制づくりとして、トコロんおかえり QR（QR コード付きシール）の持ち物への貼付を呼びかけ、道に迷った際に発見者がウェブサイトを通じて、現在の場所や状況を家族に伝えることができる体制を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周知活動：広報ところざわ及び市の刊行物への記事掲載、記者クラブへの資料提供による新聞掲載、市内各地へのポスター掲示、認知症に関する講座や各種会議での事業説明、サンプル品及びチラシの配布等</li> <li>○正規品の配付（令和 4 年 3 月 31 日時点） <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定情報による対象者家族への郵送：359 枚</li> <li>・希望者等への個別配付：35 枚</li> </ul> </li> <li>○販売実績（令和 4 年 3 月 31 日時点）：71 枚（セブン-イレブンでの店頭販売 55 枚、オンラインショップ 16 枚）</li> <li>○ユーザー登録件数：正規品 52 件、サンプル品 15 件</li> </ul>		

事務事業名 福祉施設応援給付金支給事業（介護施設分）	予算現額	82,227,000 円
	決算額	77,335,042 円
所 管 福祉部介護保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 04 老人援護対策費	不用額	4,891,958 円
事業概要 (R3-3 概案第 89 号 P.7)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、利用者や施設職員への適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で事業を継続実施している市内の福祉施設に対して、応援給付金を支給するものである。

<事業の実績・成果>

- ・対象施設：市内の福祉施設（居宅療養管理指導及び介護予防居宅療養管理指導を除く介護サービス施設・事業所等）  
 ※基準日：令和3年9月1日 ※対象数：790 事業
- ・支給額：1 事業当たり 100,000 円  
 ※1 事業所で複数の事業を提供している場合は、その数分を当該事業所へ支給
- ・受付期間：令和3年10月20日～11月30日
- ・支給実績：772 事業 77,200,000 円

## こども未来部

---

### 1 こども政策課

- (1) 子ども・子育て会議を2回開催し、子育て支援に関する各種事業の進捗管理を行うとともに、「子育ての孤立・悩み」に対する意見交換を行うことにより、地域の実情を踏まえた施策の推進に努めた。
- (2) 特定教育・保育施設等の質の確保及び給付費の支給の適正化を図るため、125施設に対する集団指導を実施するとともに、47施設に対し実地指導を行い、156件の指摘事項について改善が図られた。

### 2 こども支援課

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯への支援として、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金を受給者3,827人に対して支給した。また、子育て世帯等臨時特別給付金を受給者26,539人に対して支給した。
- (2) 児童扶養手当支給事業として、ひとり親家庭等の受給者およそ1,800人に対して支給した。
- (3) 児童手当支給事業として、受給者およそ23,000人に対して支給した。
- (4) 子ども医療費助成事業として、受給者およそ39,000人に対して医療費助成を行った。
- (5) ひとり親家庭等の医療費助成事業として、受給者およそ4,300人に対して医療費助成を行った。
- (6) こども相談センターにおいて、家庭児童相談員等による児童や家庭に関する相談を1,441件実施した。
- (7) こども支援センター運営事業（子育て支援）を実施し、4歳未満の乳幼児とその保護者を対象とした交流の場に、延べ41,907人が来場した。
- (8) ところっこ親子ふれあい絵本事業として、1歳6か月児健康診査の受診者に絵本の読み聞かせを行い、絵本の引換えチケットを配付

した。絵本の交換は、図書館や地域子育て支援施設で行い、施設の利用につなげた。

- (9) 一時預かり事業、病児・病後児保育、ファミリー・サポート事業を実施し、一時的な保育が必要な方に預かりの場を提供した。
- (10) ひとり親家庭等自立支援事業として、母子・父子自立支援員によるひとり親家庭に関する相談を 586 件実施した。

### 3 こども福祉課

- (1) 重症心身障害児や医療的ケアを必要とする在宅障害児への支援を充実させるため、就学児が利用する放課後等デイサービス 2 事業所の体制整備を進めた。
- (2) 障害児通所支援事業として、障害児が通所施設で日常生活における基本的な動作の指導や訓練等を受け、地域での自立した生活を支援するため、児童発達支援、放課後等デイサービスなどを延べ 18,300 人に提供した。
- (3) こども支援センター（発達支援）では、発達障害やその心配のある子どもとその保護者に対し、早期からの相談や子どもの特性に応じた発達支援等を行った。
- (4) 松原学園では 51 人、かしの木学園では 57 人の受入れを行い、子どもが日常生活や社会生活を円滑に営めるような発達・成長のための支援に努めた。

また、かしの木学園においては、未就学児の重症心身障害児や医療的ケアを必要とする在宅障害児を支援する体制整備を行った。

### 4 青少年課

- (1) 継続して事業を実施したもの
  - ① 11 児童館を 6 指定管理者が運営した。
  - ② 31 か所の公設児童クラブを 8 事業者が運営した。
  - ③ 一部の放課後児童クラブで大規模化や狭隘化が発生していることへの対策として、民設民営児童クラブを導入し、令和 3 年度に



新たに開所した 2 か所を含め、10 か所の民設民営児童クラブを運営した。

④ 放課後児童クラブを利用している多子世帯や低所得世帯への支援として保育料の免除や減額を行った。

(2) 新たに事業を実施したもの

① 北野児童クラブは、借地を返還する必要が生じたため、北野小学校施設内に専用施設を整備し、令和 3 年 9 月に移転した。

② 泉・若松・牛沼・宮前・安松児童クラブの狭隘化及び大規模化の解消のため、小学校の教室を放課後一時的に児童クラブとして利用できるように修繕を実施し、利用できる児童数を増やした。

③ まつば児童館の屋根及び外壁の改修工事を実施し、施設の延命化を図った。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策として事業を実施したもの

① 感染防止に必要な消毒液・マスク等の消耗品等を放課後児童クラブ・児童館の運営事業者が購入するための経費や職員のかかり増し経費等を支援した。

② 感染症対策として国や県の主催するオンライン研修等に職員が参加できるように、I C T 機器の導入に係る経費などを支援した。

③ 国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を受け、放課後児童クラブ職員の処遇改善を行う事業者に対して、処遇改善に必要な経費を支援した。

## 5 保育幼稚園課

(1) 国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を受け、令和 4 年 2 月から保育士・幼稚園教諭等の処遇改善のために賃金改善を行う民間保育所等（68 園）に対して、改善相当分の補助金を交付した。

(2) 民間保育所等（79 園）を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのかかり増し経費及び物品の購入費について、補助金を交付した。

- (3) 公立保育園において安心・安全な給食を安定的に提供し、保育の一環である食育の充実を図るため、保育園給食調理業務委託事業として、小手指保育園、新所沢保育園の委託契約の更新をプロポーザル方式により実施した。
- (4) 「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、西新井保育園の空調設備改修工事を行った。
- (5) 老朽化による大規模な雨漏りが発生した所沢保育園において、屋上防水改修工事を行った。

事務事業名 ところっこ親子ふれあい絵本事業	予算現額	2,170,000 円																				
	決算額	1,452,885 円																				
所 管 こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0 円																				
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 12 子育て支援事業費	不用額	717,115 円																				
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.83)	前年度決算額	1,457,025 円																				
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>少子化・核家族化の進行、地域のつながりの希薄化により、孤立しがちな子育て世帯に、親子のふれあう機会を提供するとともに、身近な地域の子育て支援事業とつなげるため、庁内連携により、ボランティアによる絵本の読み聞かせや図書館・地域子育て支援施設での絵本の交換を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対 象：保健センターの 1 歳 6 か月児健康診査受診の親子</li> <li>・ 絵本の交換期間：2 歳 6 か月を迎える月末まで</li> <li>・ 絵本の交換場所：市内の地域子育て支援施設や図書館 計 36 施設</li> <li>・ 読み聞かせ人数：743 組</li> <li>・ 絵本の交換実績</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>絵本の種類</th> <th>交換冊数</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4 か月児健診受診者 (令和 2 年度受診者) ※</td> <td>いないいないばあ</td> <td>95 冊</td> <td rowspan="2">227 冊</td> </tr> <tr> <td>がたんごとんがたんごとん</td> <td>132 冊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1 歳 6 か月児健診受診者 (令和 3 年度受診者)</td> <td>あっぷっぷ</td> <td>210 冊</td> <td rowspan="2">355 冊</td> </tr> <tr> <td>ぎったんぱっこん</td> <td>145 冊</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td colspan="2">582 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 令和 2 年度は、対象を 4 か月児健康診査の受診者、絵本交換期間を 1 歳の誕生日の月末までとしていたため、令和 3 年度中の交換実績あり。</p>			対象	絵本の種類	交換冊数	小計	4 か月児健診受診者 (令和 2 年度受診者) ※	いないいないばあ	95 冊	227 冊	がたんごとんがたんごとん	132 冊	1 歳 6 か月児健診受診者 (令和 3 年度受診者)	あっぷっぷ	210 冊	355 冊	ぎったんぱっこん	145 冊	合 計		582 冊	
対象	絵本の種類	交換冊数	小計																			
4 か月児健診受診者 (令和 2 年度受診者) ※	いないいないばあ	95 冊	227 冊																			
	がたんごとんがたんごとん	132 冊																				
1 歳 6 か月児健診受診者 (令和 3 年度受診者)	あっぷっぷ	210 冊	355 冊																			
	ぎったんぱっこん	145 冊																				
合 計		582 冊																				

事務事業名 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）支給事業	予算現額	188,998,000 円																
	決算額	144,006,028 円																
所 管 こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0 円																
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 13 子育て世帯生活支援特別給付金費	不用額	44,991,972 円																
事業概要 (R3-2 議案第 46 号 P.4)	前年度決算額	—																
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活の支援を行うため、特別給付金（ひとり親世帯分）を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対 象 者：児童扶養手当受給世帯等（①～③のいずれかの要件を満たす者） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和 3 年 4 月分の児童扶養手当を受給している者（申請不要）</li> <li>② 公的年金給付等を受けていることにより児童扶養手当を受けていない者（要申請）</li> <li>③ 感染症の影響を受けて収入が大きく減少し、児童扶養手当の対象となる水準に下がった者（要申請）</li> </ul> </li> <li>・ 支 給 額：対象児童 1 人当たり一律 5 万円</li> <li>・ 支給実績：1,913 世帯 児童数 2,850 人 142,500,000 円</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>世帯数</th> <th>児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>1,714 世帯</td> <td>2,565 人</td> <td>128,250,000 円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>40 世帯</td> <td>60 人</td> <td>3,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>159 世帯</td> <td>225 人</td> <td>11,250,000 円</td> </tr> </tbody> </table>			区分	世帯数	児童数	支給額	①	1,714 世帯	2,565 人	128,250,000 円	②	40 世帯	60 人	3,000,000 円	③	159 世帯	225 人	11,250,000 円
区分	世帯数	児童数	支給額															
①	1,714 世帯	2,565 人	128,250,000 円															
②	40 世帯	60 人	3,000,000 円															
③	159 世帯	225 人	11,250,000 円															

事務事業名	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の世帯分）支給事業	予算現額	171,797,000 円																
		決算額	163,976,045 円																
所 管	こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0 円																
予算区分	款 3 項 2 目 1 説明 13 子育て世帯生活支援特別給付金費	不用額	7,820,955 円																
事業概要	(R3-2 議案第 47 号 P.10)	前年度決算額	—																
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活の支援を行うため、特別給付金（ひとり親世帯以外の世帯分）を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対 象 者：非課税世帯等（①～③のいずれかの要件を満たす者） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和 3 年 4 月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者（又は令和 3 年 5 月分以降の児童手当又は特別児童扶養手当の新規認定者）で令和 3 年度の住民税が非課税の者（申請不要）</li> <li>② 18 歳年度末までの子（障害児の場合 20 歳未満）の養育者で、令和 3 年度の住民税が非課税の者（要申請）</li> <li>③ 18 歳年度末までの子（障害児の場合 20 歳未満）の養育者で、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が非課税の者と同程度に減少した者（要申請）</li> </ul> </li> <li>・支 給 額：対象児童 1 人当たり一律 5 万円</li> <li>・支給実績：1,914 世帯、児童数 3,219 人、160,950,000 円</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>世帯数</th> <th>児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>1,679 世帯</td> <td>2,905 人</td> <td>145,250,000 円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>123 世帯</td> <td>137 人</td> <td>6,850,000 円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>112 世帯</td> <td>177 人</td> <td>8,850,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	世帯数	児童数	支給額	①	1,679 世帯	2,905 人	145,250,000 円	②	123 世帯	137 人	6,850,000 円	③	112 世帯	177 人	8,850,000 円
区分	世帯数	児童数	支給額																
①	1,679 世帯	2,905 人	145,250,000 円																
②	123 世帯	137 人	6,850,000 円																
③	112 世帯	177 人	8,850,000 円																

事務事業名	福祉総合システム改修事業（特例給付の対象者に係る所得上限の設定及び現況届省略対応）	予算現額	2,200,000 円
		決算額	2,200,000 円
所 管	こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0 円
予算区分	款 3 項 2 目 1 説明 04 児童手当費	不用額	0 円
事業概要	(R3-4 議案第 98 号～100 号 P.16)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童手当法の一部改正に伴い、特例給付の対象者に係る所得上限が設定されたことにより、令和 4 年 6 月分から一定額以上の高所得者への特例給付が廃止となる。また、全受給者に提出が義務付けられていた現況届については、原則として提出が不要となる。</p> <p>これらの変更に対応するため、システム改修を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○福祉総合システム改修業務委託（特例給付の対象者に係る所得上限の設定及び現況届省略対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社ジーシーシー 埼玉支社</li> <li>・委託期間：令和 4 年 2 月 15 日～3 月 31 日</li> <li>・委託金額：2,200,000 円</li> <li>・内 容：高所得の主たる生計維持者（年収 1,200 万円以上）への特例給付廃止に伴う設定変更、現況届の管理項目の追加・修正</li> </ul>			

事務事業名 子育て世帯等臨時特別給付金支給事業	予算現額	4,729,024,000円																				
	決算額	4,396,052,874円																				
所管 子育て未来部子育て支援課	翌年度繰越額	63,580,000円																				
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 14 子育て世帯等臨時特別給付金費	不用額	269,391,126円																				
事業概要 (R3-4 議案第119号 P.8)	前年度決算額	—																				
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯の生活を支援するため、臨時特別給付金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>・対象児童：平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>先行給付・追加給付</th> <th>支援給付金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">支給対象者</td> <td>① 令和3年9月分（令和3年9月出生児童は令和3年10月分）の児童手当（本則給付）受給者</td> <td rowspan="3">離婚等により、先行給付・追加給付の支給を受けることができない養育者</td> </tr> <tr> <td>② 令和3年10月から令和4年3月までに生まれた子の児童手当（本則給付）受給者</td> </tr> <tr> <td>③ 高校生の年齢に該当する者の養育者のうち、①②と同等の所得である者</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>対象児童1人当たり10万円</td> <td>対象児童1人当たり10万円（既に先行給付・追加給付を受給した者から受け取った額がある場合は、その額を除く）</td> </tr> <tr> <td>支給件数</td> <td>26,490件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>支給児童数</td> <td>43,746人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>実績額（給付金）</td> <td>4,374,600,000円</td> <td>8,000,000円 1世帯（対象児童4人）は受領額10万円を除き支給</td> </tr> </tbody> </table>				先行給付・追加給付	支援給付金	支給対象者	① 令和3年9月分（令和3年9月出生児童は令和3年10月分）の児童手当（本則給付）受給者	離婚等により、先行給付・追加給付の支給を受けることができない養育者	② 令和3年10月から令和4年3月までに生まれた子の児童手当（本則給付）受給者	③ 高校生の年齢に該当する者の養育者のうち、①②と同等の所得である者	支給額	対象児童1人当たり10万円	対象児童1人当たり10万円（既に先行給付・追加給付を受給した者から受け取った額がある場合は、その額を除く）	支給件数	26,490件	49件	支給児童数	43,746人	81人	実績額（給付金）	4,374,600,000円	8,000,000円 1世帯（対象児童4人）は受領額10万円を除き支給
	先行給付・追加給付	支援給付金																				
支給対象者	① 令和3年9月分（令和3年9月出生児童は令和3年10月分）の児童手当（本則給付）受給者	離婚等により、先行給付・追加給付の支給を受けることができない養育者																				
	② 令和3年10月から令和4年3月までに生まれた子の児童手当（本則給付）受給者																					
	③ 高校生の年齢に該当する者の養育者のうち、①②と同等の所得である者																					
支給額	対象児童1人当たり10万円	対象児童1人当たり10万円（既に先行給付・追加給付を受給した者から受け取った額がある場合は、その額を除く）																				
支給件数	26,490件	49件																				
支給児童数	43,746人	81人																				
実績額（給付金）	4,374,600,000円	8,000,000円 1世帯（対象児童4人）は受領額10万円を除き支給																				

事務事業名 児童クラブ施設整備事業（泉児童クラブ他）	予算現額	8,300,000円																
	決算額	7,862,111円																
所管 子育て未来部青少年課	翌年度繰越額	0円																
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	437,889円																
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.84)	前年度決算額	—																
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、児童クラブ施設における狭隘化及び大規模化の解消のための施設整備を行い、国から示された基準に基づき条例で定めた面積要件（専用区画面積を児童1人につき、おおむね1.65㎡以上とする）を満たすための施設整備を進めるものである。</p> <p>令和3年度は、狭隘化の著しい泉・若松・牛沼児童クラブを対象として整備を行った。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>それぞれ小学校施設の修繕を行い、小学校と共有する形で児童クラブの2支援単位（2クラス目）を整備し、定員増を図った（各クラブの概要は、以下のとおり）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>泉児童クラブ</th> <th>若松児童クラブ</th> <th>牛沼児童クラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕場所</td> <td>泉小学校3階家庭科室</td> <td>若松小学校1階ランチルーム</td> <td>牛沼小学校第2保健室</td> </tr> <tr> <td>修繕内容</td> <td>空調設置</td> <td>空調設置、仕切り設置</td> <td>空調設置、床修繕等</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>定員 77人→117人</td> <td>定員 24人→64人</td> <td>定員 32人→72人</td> </tr> </tbody> </table>				泉児童クラブ	若松児童クラブ	牛沼児童クラブ	修繕場所	泉小学校3階家庭科室	若松小学校1階ランチルーム	牛沼小学校第2保健室	修繕内容	空調設置	空調設置、仕切り設置	空調設置、床修繕等	成果	定員 77人→117人	定員 24人→64人	定員 32人→72人
	泉児童クラブ	若松児童クラブ	牛沼児童クラブ															
修繕場所	泉小学校3階家庭科室	若松小学校1階ランチルーム	牛沼小学校第2保健室															
修繕内容	空調設置	空調設置、仕切り設置	空調設置、床修繕等															
成果	定員 77人→117人	定員 24人→64人	定員 32人→72人															

事務事業名 児童クラブ施設整備事業（北野児童クラブ）	予算現額	30,749,000 円
	決算額	29,364,487 円
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	1,384,513 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.85)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>北野児童クラブの土地所有者から、令和 2 年に早急な土地返還に係る要望があり、クラブ移転の必要が生じたことから令和 3 年度に小学校内に専用施設の整備を行い、9 月に移転したものである。</p> <p>なお、児童クラブの移転後に既存施設を解体撤去し、土地所有者に土地を返還したものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>北野小学校 1 階の生活科室を児童クラブ専用施設に改修し、60 人程度の児童クラブを整備した。また、既存施設の解体撤去を行い、所有者への返還を完了した。</p> <p>○所沢市立北野児童クラブ施設改修・解体工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社本橋工務店</li> <li>・工 期：令和 3 年 4 月 30 日～10 月 29 日</li> <li>・契約金額：26,840,000 円</li> </ul> <p>○児童クラブ施設移転等業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社かくどう舎</li> <li>・委託期間：令和 3 年 5 月 19 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：853,428 円</li> </ul>		

事務事業名 児童館施設整備事業	予算現額	27,940,000 円
	決算額	27,500,000 円
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 06 児童館施設費	不用額	440,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.86)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○まつば児童館屋根及び外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（1 者）</li> <li>・契 約 先：リニューアルトヨー株式会社</li> <li>・工 期：令和 3 年 9 月 28 日～令和 4 年 2 月 28 日</li> <li>・契約金額：27,500,000 円</li> </ul>		

事務事業名 放課後児童健全育成事業（民設民営児童クラブ）	予算現額	123,741,000円						
	決算額	122,211,150円						
所管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0円						
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	1,529,850円						
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.87)	前年度決算額	103,722,200円						
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、児童クラブの狭隘化や大規模化を解消するため、早急に対応が必要な小学校区に対して、民設民営児童クラブを設置するものである。民設民営の児童クラブは、平成28年度から令和2年度までに8クラブを設置したが、令和3年度は、新たに2クラブを設置し10クラブとなった。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>民設民営児童クラブを設置した小学校区では受入児童数が増加し、既存児童クラブの狭隘化の解消につながった。</p> <p>○放課後児童健全育成事業委託</p> <p>(新規施設)：ひだまりみなみ(南小学校区、委託先：NPO法人所沢市学童クラブの会) ひまわり(所沢小学校区、委託先：株式会社ひまわり)</p> <p>(既存施設)：KIRACCO、KIRACCO 小手指、YMCA キッズクラブ、 北秋津ゴロニャンクラブ、わくわくクラブ、 KIRACCO 所沢、KIRACCO Ami、 サクラタウン児童クラブ</p> <p>・委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ・委託金額：122,211,150円</p>								
令和2年度と令和3年度の比較								
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>児童クラブ名</th> <th>受入児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南小学校区</td> <td>2クラブ 116人→3クラブ 155人</td> </tr> <tr> <td>所沢小学校区</td> <td>3クラブ 205人→4クラブ 234人</td> </tr> </tbody> </table>			児童クラブ名	受入児童数	南小学校区	2クラブ 116人→3クラブ 155人	所沢小学校区	3クラブ 205人→4クラブ 234人
児童クラブ名	受入児童数							
南小学校区	2クラブ 116人→3クラブ 155人							
所沢小学校区	3クラブ 205人→4クラブ 234人							

事務事業名 児童クラブ施設整備事業（宮前児童クラブ他）	予算現額	9,000,000円												
	決算額	7,639,360円												
所管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0円												
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	1,360,640円												
事業概要 (R3-3 議案第68～71号 P.18)	前年度決算額	—												
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童クラブ施設における狭隘化や大規模児童クラブの解消のための施設整備を行い、国から示された基準に基づき条例で定めた面積要件（専用区画面積を児童1人につき、おおむね1.65㎡以上とする）を満たすための施設整備を進めるものである。</p> <p>本事業は、狭隘化の著しい宮前・安松児童クラブを対象として緊急的に整備を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>それぞれ小学校施設の修繕を行い、小学校と共有する形で児童クラブの2支援単位（2クラス目）を整備し、定員増を図った（各クラブの概要は以下のとおり）。</p>														
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>宮前児童クラブ</th> <th>安松児童クラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕場所</td> <td>宮前小学校1階研修室</td> <td>安松小学校1階第2理科室</td> </tr> <tr> <td>修繕内容</td> <td>空調設置、床修繕、ロッカー設置 等</td> <td>空調設置、靴箱設置</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>定員 40人→80人</td> <td>定員 37人→77人</td> </tr> </tbody> </table>				宮前児童クラブ	安松児童クラブ	修繕場所	宮前小学校1階研修室	安松小学校1階第2理科室	修繕内容	空調設置、床修繕、ロッカー設置 等	空調設置、靴箱設置	成果	定員 40人→80人	定員 37人→77人
	宮前児童クラブ	安松児童クラブ												
修繕場所	宮前小学校1階研修室	安松小学校1階第2理科室												
修繕内容	空調設置、床修繕、ロッカー設置 等	空調設置、靴箱設置												
成果	定員 40人→80人	定員 37人→77人												



事務事業名	児童福祉施設等における感染拡大防止等対策事業（放課後児童クラブ・児童館）	予算現額	68,000,000円
		決算額	56,845,897円
所管	こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0円
予算区分	款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費ほか	不用額	11,154,103円
事業概要	(R3-3 議案第 68～71 号 P. 19)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>放課後児童クラブ・児童館において、職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な経費（マスク、消毒液等の購入、かかり増し経費等）や感染症対策として、国・県が主催するオンライン研修等に支援員が参加できるよう、ICT機器の導入経費を事業者に支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設：市内放課後児童クラブ（公設民営児童クラブ、民設民営児童クラブ、児童館生活クラブ）、市内児童館</li> <li>対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日</li> <li>対象経費：① かかり増し経費、消耗品費等 ② ICT機器の導入経費等</li> <li>補助上限額：① 放課後児童クラブ：1支援単位当たり児童数により40万円又は50万円 児童厚生施設（児童館）：1施設当たり30万円 ② 放課後児童クラブ：1施設当たり50万円</li> <li>支給実績：児童館生活クラブ（22支援単位/22支援単位） 13,906,279円 児童クラブ（38支援単位/38支援単位） 33,287,118円 民設民営児童クラブ（10支援単位/10支援単位） 6,352,500円 児童館（11か所/11か所） 3,300,000円 計 56,845,897円</li> </ul>			

事務事業名	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業	予算現額	5,698,000円
		決算額	5,568,200円
所管	こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0円
予算区分	款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費 ほか	不用額	129,800円
事業概要	(R4-1 議案第 1～7 号 P. 32)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を受け、放課後児童支援員等の処遇改善のために賃金改善を行う事業者に対して、改善相当分の経費を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設：児童館生活クラブ及び公設・民設民営児童クラブ（53施設 70支援単位）</li> <li>対象期間：令和4年2月～3月</li> <li>支給対象：放課後児童クラブに勤務する職員（常勤・非常勤の合計532人）</li> <li>支給額：11,000円/月（非常勤は時間数により常勤換算）</li> <li>支給内訳：児童館生活クラブ 常勤 36人 非常勤 86人 1,388,200円 児童クラブ 常勤 75人 非常勤 249人 3,319,800円 民設民営児童クラブ 常勤 21人 非常勤 65人 860,200円 計 532人 5,568,200円</li> </ul>			



事務事業名 保育園施設整備事業	予算現額	30,327,000 円
	決算額	27,390,000 円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 03 保育園施設費	不用額	2,937,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.88)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立西新井保育園空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社トコデン</li> <li>・工 期：令和 3 年 9 月 6 日～令和 4 年 2 月 28 日</li> <li>・契約金額：27,390,000 円</li> </ul>		

事務事業名 保育園給食調理業務委託事業	予算現額	201,505,000 円	
	決算額	201,504,836 円	
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0 円	
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 02 保育園運営費	不用額	164 円	
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.89)	前年度決算額	188,009,656 円	
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>安定的に安心・安全な給食を提供し、かつ保育の一環である食育の推進を図るため、民間事業者には保育園給食調理業務を委託する。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託概要：栄養士が作成した献立を施設内の調理室において調理する給食調理業務及びこれに付随する業務 保育士、栄養士と連携して行う食育活動、直営と同等以上の水準で実施</li> <li>・選定方法：プロポーザル方式</li> </ul>			
委託実施園	委託先	委託期間	委託金額
小手指保育園	株式会社レクトン	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日	53,133,486 円 (R3 分：17,764,996 円)
新所沢保育園	株式会社東京天竜	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日	66,869,970 円 (R3 分：22,357,740 円)
柳瀬保育園・松郷保育園	株式会社レクトン	令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	133,211,100 円 (R3 分：44,403,700 円)
松井保育園・並木保育園	一富士フードサービス株式会社	令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	118,800,000 円 (R3 分：39,600,000 円)
西所沢保育園・西新井保育園	株式会社東京天竜	令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	117,374,400 円 (R3 分：39,124,800 円)
吾妻保育園・山口保育園	一富士フードサービス株式会社	令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	114,760,800 円 (R3 分：38,253,600 円)

事務事業名 所沢保育園屋上防水改修事業	予算現額	11,880,000円
	決算額	11,880,000円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 03 保育園施設費	不用額	0円
事業概要 (R3-1 議案第42号 P.17)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          本事業は、老朽化による大規模な雨漏りが発生した所沢保育園において、屋上防水改修工事を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;          ○所沢市立所沢保育園屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：株式会社アベックス</li> <li>・工期：令和3年5月17日～8月20日</li> <li>・契約金額：11,880,000円</li> </ul>		

事務事業名 保育環境改善等事業	予算現額	40,100,000円								
	決算額	30,207,000円								
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0円								
予算区分 款 3 項 2 目 2 説明 01 児童福祉運営費	不用額	9,893,000円								
事業概要 (R3-3 議案第68号～71号 P.22)	前年度決算額	—								
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          市内の民間保育施設等において、職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な経費（かかり増し経費）のほか、マスク・消毒液等、感染防止用の備品・消耗品の購入に必要な経費を補助するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給実績：【間接補助分（かかり増し経費及び備品・消耗品を購入する経費）】 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>民間保育園、認定こども園</td> <td>41園/44園</td> <td>19,604,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域型保育事業施設、認可外保育施設</td> <td>38園/57園</td> <td>10,603,000円</td> <td>計 30,207,000円</td> </tr> </table> </li> <li>・対象施設：保育所、認定こども園、地域型保育事業施設及び認可外保育施設</li> <li>・対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日</li> <li>・対象経費：かかり増し経費及びマスク・消毒液等、感染防止用の備品・消耗品購入費</li> <li>・補助上限額：定員19人以下 1施設当たり300,000円            定員20人以上59人以下 1施設当たり400,000円            定員60人以上 1施設当たり500,000円</li> </ul>			民間保育園、認定こども園	41園/44園	19,604,000円		地域型保育事業施設、認可外保育施設	38園/57園	10,603,000円	計 30,207,000円
民間保育園、認定こども園	41園/44園	19,604,000円								
地域型保育事業施設、認可外保育施設	38園/57園	10,603,000円	計 30,207,000円							

事務事業名 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	予算現額	24,617,000 円
	決算額	24,264,860 円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 2 説明 01 児童福祉運営費	不用額	352,140 円
事業概要 (R4-1 議案第 1~7 号 P.35)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を受け、保育士・幼稚園教諭等の処遇改善のために賃金改善を行う保育所等に対して、改善相当分の補助金を交付するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補 助 率：国 10/10</li> <li>・対 象 施 設：保育所、認定こども園、地域型保育事業、新制度幼稚園</li> <li>・対 象 期 間：令和 4 年 2 月～3 月</li> <li>・補助基準額：施設種別、地域区分、定員区分に応じた補助基準額×年齢別平均利用児童数×事業実施月数によって施設毎に算出</li> <li>・保育所（36 園）15,159,800 円、認定こども園（8 園）4,629,740 円、地域型保育事業（22 園）3,842,400 円、新制度幼稚園（2 園）632,920 円 計 24,264,860 円</li> </ul>		



## 健 康 推 進 部

---

### 1 保健医療課

- (1) 保健医療計画推進事業として、第2次所沢市保健医療計画の進行管理を進めており、令和2年度の取組実績の評価を行うなど、計画の推進に努めた。
- (2) 救急医療提供体制整備の取組として、初期救急として在宅当番医制事業を、また、第二次救急として、所沢市、狭山市及び入間市の3市で構成される所沢地区において、所沢地区病院群輪番制病院運営事業及び小児科救急医療病院群輪番制事業を実施した。
- (3) 埼玉県と締結した「新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に係る連携事業に関する覚書」に基づき、自宅療養者に対してパルスオキシメータの貸与を行った。また、市独自の自宅療養者支援の取組として、狭山保健所及び所沢市医師会を通じ、酸素濃縮装置の貸与を行った。
- (4) 公共施設感染拡大防止対策事業として、各公共施設に非接触型温度計・消毒器を配布した。また、換気をしにくい部屋やホール等がある施設については、二酸化炭素濃度測定器を配布した。
- (5) 歯科診療事業として、所沢市歯科医師会を指定管理者とした「所沢市歯科診療所あおぞら」において、一般の診療所では診療が困難な在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療並びに休日緊急歯科診療を実施した。

### 2 国民健康保険課

- (1) 老人医療に関する事業として、後期高齢者の健康の保持増進のため健康診査を実施し、令和4年4月末時点の集計で13,405人が受診した。
- (2) 人間ドックの助成について、市民医療センターでの受診者に対し、人間ドック日帰りコース681人、生活習慣病コース118人、計799人に検診料の助成を行った。

### 3 健康管理課

- (1) 精神保健業務として、精神保健福祉に係る相談や訪問支援等を実施するとともに、重篤な精神障害者が住み慣れた地域で生活を維持していくことができるよう、引き続き、精神障害者アウトリーチ支援事業を実施した。また、ピアサポーターの養成を実施したほか、思春期専門相談において若年層への早期支援に努めた。
- (2) 保健事業については、がん検診を行い、疾病の早期発見・早期治療に努めた。コロナ禍において受診控えをせず、安心して受診できるよう、感染防止対策を徹底し早期の受診を呼び掛けた。また、受診者が女性だけの日を設定し、受診しやすい検診となるよう努めた。
- (3) 予防接種事業については、予防接種法に定められている疾病に対して、小児及び高齢者を対象とした定期予防接種を実施し、対象者への個別通知等による周知や未接種者への勧奨により高い接種率を維持し、感染症の発生及びまん延の防止を図った。また、HPVワクチンの積極的勧奨が再開されたことに伴い、次年度高校1年生になる女子に勧奨を行った。
- (4) 新型コロナウイルスワクチン接種事業については、4月下旬に高齢者施設で、5月からは高齢者への接種を開始した。医療機関と連携し、安全、安心、迅速に接種が進むよう努め、集団接種及び個別接種により、1回目から3回目の接種を実施した。
- (5) 保健センター施設管理業務については、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、保健センター屋上防水及び屋根改修工事を実施し、施設の安全運用に努めた。

### 4 健康づくり支援課

- (1) 健康指導事業については、市民の健康の保持・増進、疾病の予防・早期発見などを目的に、健診結果活用講座をはじめとする健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導などの各種事業を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の縮

小・中止をした。

また、「健幸長寿のまち 所沢」の一環として、歩くことを中心に楽しみながら健康増進を図る事を目的として、令和2年7月から実施している『トコトコ健幸マイレージ』については、累計の参加申込者数が、令和3年度末で10,752人となった。

- (2) 母子保健事業については、新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら、妊産婦及び乳幼児の疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、乳児家庭全戸訪問などの各種事業を通じて、母子の心身の状況や養育環境等把握に努めた。また、妊娠届出をされた方に対し、両親学級をご案内するとともに、教室に参加できない方にも自宅でいつでも気軽に視聴できるように、『パートナーとできる妊婦体操』の動画を配信するなど、必要な助言・指導を実施した。

① 新生児聴覚検査助成事業

生まれつき聴覚に障害があることを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な医療につなげることで、ことばの発達を促すことを目的とし、新生児聴覚検査助成を実施した。

② 不妊検査・治療費等助成事業

子どもを望む方へ不妊検査、不育症検査及び不妊治療に係る経費の一部を助成する不妊検査・治療費等助成事業を実施した。

③ 産後ケア実施施設における感染拡大防止対策事業

育児に不安を抱える退院直後の母子に対する産後ケア事業（宿泊型）を実施している市内3施設に対し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資する事業を委託して実施した。

事務事業名 保健事業と介護予防の一体的実施事業	予算現額	6,232,000 円
	決算額	5,320,119 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 03 老人医療費	不用額	911,881 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号資料 P.90)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>後期高齢者が抱えるフレイル（加齢に伴う虚弱）や認知症等の進行、社会的なつながりの低下といった課題に対応するため、保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携の下、後期高齢者の保健事業及び国民健康保険保健事業並びに介護保険の地域支援事業を一体的に実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○企画調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KDB システム等を用いた地域分析及び健康課題の抽出</li> <li>・ハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチの企画調整</li> <li>・ワーキンググループや担当者打合せの実施</li> <li>・次年度に向けた医師会との調整</li> <li>・フレイル予防のチラシ作成</li> </ul> <p>○ハイリスクアプローチ（対象者を絞って個別に行う支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：健康状態不明者（医療のレセプト情報や健診結果情報、介護サービスの利用情報がない被保険者）のうち年度年齢 76 歳の者</li> <li>・健康相談イベントの実施：年 4 回</li> <li>・家庭訪問：106 人に対し延べ 139 回実施</li> <li>・医療機関受診勧奨：2 人</li> <li>・地域包括支援センターへの連携（高齢者支援課に情報提供）：3 人</li> <li>・不在者等（高齢者支援課に情報提供）：17 人</li> </ul> <p>○ポピュレーションアプローチ（通いの場を利用した健康教育及び健康相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルに関する情報提供：111 団体</li> </ul> <p>※当初、通いの場を利用した健康教育及び健康相談を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難な状況であったため、代替措置として、文書による情報提供を行った。</p>		

事務事業名 保健センター屋上防水及び屋根改修事業	予算現額	82,698,000 円
	決算額	78,650,000 円
所 管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 06 保健センター施設管理費	不用額	4,048,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.93)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化した施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>屋上防水工事及びアーチ状の多目的ホール屋根の改修により、屋上及び屋根に由来する雨漏りの懸念が一掃された。また、同時に多目的ホール前ロビーのトップライトの改修も行ったため、換気と防水の機能が向上した。</p> <p>○所沢市保健センター屋上防水及び屋根改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社本橋組</li> <li>・工 期：令和 3 年 7 月 29 日～令和 4 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：78,650,000 円</li> <li>・内 容：屋上階及び 2 階、3 階の屋外部分のウレタン塗膜防水、多目的ホール屋根及び北側階段部屋根の超速硬化ウレタン塗膜防水、健診室前ロビー屋根の特殊嵌合平滑葺き、多目的ホール前ロビー屋上のトップライト交換、3 階調理室奥の救助袋格納箱交換等</li> </ul>		



事務事業名 精神障害者アウトリーチ支援事業	予算現額	42,814,000 円
	決算額	42,759,882 円
所 管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 07 精神保健事業費	不用額	54,118 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.98)	前年度決算額	40,969,764 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>重篤な精神障害のある者が、住み慣れた地域で自立し安心した生活が継続できるよう、医療・保健・福祉の各分野の多職種からなるアウトリーチチームにより、医療及び生活面の支援を実施するものである。対象者への早期支援による問題解決や再入院を防ぐための支援等を継続していくことが不可欠なため、新たな委託契約を行い事業を実施したものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対 象 者：精神疾患が疑われる未受診者、精神科医療の受診中断者等</li> <li>・支援内容：対象者及び家族への訪問・相談対応、電話による 24 時間対応、ピアサポーター養成</li> <li>・支援実績：令和 4 年 3 月末 登録者数 88 人（累計登録者数 143 人） 延べ支援件数 9,323 件（訪問件数 3,048 件、来所相談 876 件、電話相談 5,399 件） ピアサポーター養成のつどい 10 回 延べ 50 人参加</li> </ul> <p>○精神障害者アウトリーチ支援事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：国立研究開発法人 国立精神神経医療研究センター</li> <li>・委託期間：令和 3 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日</li> <li>・委託金額：133,650,000 円（債務負担行為）</li> </ul>		

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業（接種対策等）	予算現額	3,237,279,825 円																																																						
	決算額	2,770,487,755 円																																																						
所 管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0 円																																																						
予算区分 款 4 項 1 目 2 説明 05 新型コロナウイルスワクチン接種事業費	不用額	466,792,070 円																																																						
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.99、議案第 40 号～42 号 P.18)、(R3-2 議案第 49 号～50 号 P.27、議案第 64 号 P.6)、(R3-3 議案第 68 号～71 号 P.23)、(R3-4 議案第 93 号～95 号 P.8)	前年度決算額	59,975,298 円																																																						
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>国の方針に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種を希望する市民が、安心、安全、迅速にワクチン接種を受けることができるよう、接種体制を整備し、ワクチン接種を滞りなく実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接種開始時期：高齢者施設内接種（令和 3 年 4 月）、高齢者の 1、2 回目接種（令和 3 年 5 月）、3 回目接種（令和 3 年 12 月）</li> <li>・個別医療機関：112 機関</li> <li>・集団接種会場：保健センター（令和 3 年 5 月～8 月、12 月～）、市民体育館（令和 3 年 5 月～7 月）、こどもと福祉の未来館（令和 3 年 9 月～11 月）</li> </ul> <p>&lt;接種実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="2">65 歳以上</th> <th colspan="2">12～64 歳</th> <th colspan="2">小計（12 歳以上）</th> <th colspan="2">12 歳未満</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>接種率</th> <th>人数</th> <th>接種率</th> <th>人数</th> <th>接種率</th> <th>人数</th> <th>接種率</th> <th>人数</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 回目</td> <td>88,150</td> <td>90.4%</td> <td>185,419</td> <td>87.1%</td> <td>273,569</td> <td>88.1%</td> <td>1,113</td> <td>5.9%</td> <td>274,682</td> <td>83.4%</td> </tr> <tr> <td>2 回目</td> <td>87,851</td> <td>90.0%</td> <td>183,931</td> <td>86.4%</td> <td>271,782</td> <td>87.6%</td> <td>8</td> <td>0.0%</td> <td>271,790</td> <td>82.5%</td> </tr> <tr> <td>3 回目</td> <td>75,312</td> <td>77.2%</td> <td>54,149</td> <td>25.4%</td> <td>129,461</td> <td>41.7%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（令和 4 年 3 月 31 日現在）</p>			回数	65 歳以上		12～64 歳		小計（12 歳以上）		12 歳未満		合計		人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率	1 回目	88,150	90.4%	185,419	87.1%	273,569	88.1%	1,113	5.9%	274,682	83.4%	2 回目	87,851	90.0%	183,931	86.4%	271,782	87.6%	8	0.0%	271,790	82.5%	3 回目	75,312	77.2%	54,149	25.4%	129,461	41.7%	—	—	—	—
回数	65 歳以上			12～64 歳		小計（12 歳以上）		12 歳未満		合計																																														
	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率	人数	接種率																																														
1 回目	88,150	90.4%	185,419	87.1%	273,569	88.1%	1,113	5.9%	274,682	83.4%																																														
2 回目	87,851	90.0%	183,931	86.4%	271,782	87.6%	8	0.0%	271,790	82.5%																																														
3 回目	75,312	77.2%	54,149	25.4%	129,461	41.7%	—	—	—	—																																														

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (3回目接種協力金)	予算現額	20,016,000円															
	決算額	13,060,800円															
所 管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0円															
予算区分 款 4 項 1 目 2 説明 05 新型コロナウイルスワクチン接種事業費	不用額	6,955,200円															
事業概要 (R3-4 議案第98~100号 P20)	前年度決算額	—															
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種事業における3回目の接種に当たり、国から接種券・予診票等の様式変更が示され、医療機関において、控えとして予診票の写しを取る等の新たな事務負担が生じることとなった。</p> <p>本事業は、接種協力医療機関の事務経費等の負担軽減を図り、3回目接種を迅速かつ円滑に進めるため、接種見込回数に応じ協力金を支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回目接種期間中の1月当たりの平均接種見込回数に応じた協力金を1回に限り支給した。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1月当たりの平均接種回数見込み(回)</th> <th>補助額(円)</th> <th>医療機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6~100</td> <td>14,400</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>101~1,000</td> <td>144,000</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>1,001~3,000</td> <td>288,000</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>3,001~10,000</td> <td>576,000</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			1月当たりの平均接種回数見込み(回)	補助額(円)	医療機関数	6~100	14,400	17	101~1,000	144,000	73	1,001~3,000	288,000	6	3,001~10,000	576,000	1
1月当たりの平均接種回数見込み(回)	補助額(円)	医療機関数															
6~100	14,400	17															
101~1,000	144,000	73															
1,001~3,000	288,000	6															
3,001~10,000	576,000	1															

事務事業名 トコトコ健幸マイレージ事業	予算現額	9,638,000円
	決算額	9,044,541円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 01 健康指導費	不用額	593,459円
事業概要 (R3-1 議案第12~21号 P.100)	前年度決算額	15,554,972円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、令和元年度まで実施してきた「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、令和2年7月から埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入したものである。</p> <p>気軽に実践できる「歩き」を中心に、市民が楽しんで健康づくりを継続できるよう支援するとともに、県のポイント・景品に加えて、市独自のポイント・景品を設定することで、より充実した事業を展開している。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度末参加者：10,752人（スマホアプリ利用者：8,282人、歩数計利用者：2,470人）</li> <li>・参加者の1日平均歩数：7,029歩</li> </ul> <p>○健幸マイレージ事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：日本健保株式会社</li> <li>・委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日</li> <li>・委託金額：3,168,000円のうち当課負担分1,584,000円（税込）※国民健康保険課と按分（50:50）</li> <li>・内 容：参加者の情報及び歩数履歴の管理、市独自ポイントの集計とポイント付与メールの一斉配信</li> </ul> <p>○健幸マイレージ景品業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社c o r o t（コロット）</li> <li>・委託期間：令和3年12月16日～令和4年3月31日</li> <li>・委託金額：11,900,350円のうち当課負担分5,950,175円（税込）※国民健康保険課と按分（50:50）</li> <li>・内 容：店舗との交渉及び連絡調整、お食事券等の印刷及び発送</li> </ul>		

事務事業名 不妊検査・治療費等助成事業	予算現額	14,386,000円
	決算額	11,109,066円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	3,276,934円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.101)	前年度決算額	10,814,494円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>晩婚化が進展している中で、不妊の問題は一層深刻となっていることから、子どもを望む夫婦に対し早期の不妊検査及び治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○早期不妊治療助成事業（補助率：県1/2、事務費定額分10万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象：県不妊治療費助成事業の初回助成の対象となった特定不妊治療に係る費用（妻の年齢が35歳未満の夫婦）</li> <li>・助成額：県の支給決定額を除いた金額。上限額10万円（1回限り）</li> <li>・助成件数：67件</li> </ul> <p>○不妊検査費等助成事業（補助率：県10/10、事務費定額分10万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象：医療機関において、夫婦が受けた不妊検査又は不育症検査に係る費用（妻年齢43歳未満の夫婦）</li> <li>・助成額：不妊検査及び不育症検査それぞれ上限額2万円</li> <li>・助成回数：1組の夫婦につき不妊検査及び不育症検査それぞれ1回限り</li> <li>・助成件数：不妊検査163件、不育症検査29件</li> </ul>		

事務事業名 新生児聴覚検査助成事業	予算現額	6,361,000円
	決算額	6,214,263円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	146,737円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.102)	前年度決算額	5,411,478円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>生まれつき聴覚に障害があることを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な措置を講じることで、ことばの発達を促すことを目的とし、新生児聴覚検査を受けた新生児等の保護者に対して検査費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減とともに、受診児の拡大を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象：子の出生時、所沢市に住民登録がある保護者</li> <li>・助成額：新生児等1人につき1回3,000円上限</li> <li>・助成児数：2,060人</li> </ul> <p>○新生児聴覚スクリーニング検査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約（埼玉県に委託契約締結に係る権限を委任）</li> <li>・委託先：埼玉県医師会、埼玉県助産師会及び関東1都6県の医療機関</li> <li>・委託期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日</li> </ul>		

事務事業名 産後ケア事業を行う施設における感染拡大防止対策事業	予算現額	1,500,000円
	決算額	1,500,000円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	0円
事業概要 (R3-4 議案第98~100号 P.21)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>育児に不安を抱える退院直後の母子に対する産後ケア事業（宿泊型）を実施している市内3施設に対し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資する事業を委託して実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○産後ケア事業を行う施設における感染拡大防止対策業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先：独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院、松田母子クリニック、助産院もりあね</li> <li>・委託期間：令和3年12月21日～令和4年3月31日</li> <li>・委託金額：150万円（各施設50万円）</li> <li>・事業内容：① 勤務する職員及び利用者向けマスクの一括購入 <ul style="list-style-type: none"> <li>② 消毒用エタノール等の一括購入</li> <li>③ 医療機関等の消毒</li> <li>④ 感染症予防の広報・啓発</li> <li>⑤ その他、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止することに資する事業</li> </ul> </li> </ul>		

## 環境クリーン部

---

### 1 マチごとエコタウン推進課

- (1) 所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、市の事務事業及び市域の脱炭素化を目的に、次の事業を実施した。
  - ① 気候変動を自分事として考え、自ら環境行動できる人材を育成することを目的として、マチエコリーダー養成講座を実施した。
  - ② 断熱改修等のエコリフォームや創エネ機器等の導入に対して、その費用の一部を助成することにより、家庭から排出される CO<sub>2</sub> の排出量削減を推進した。
- (2) 市域における再生可能エネルギーの利用推進を図るため、次の事業を実施した。
  - ① 安松保育園に 9.9KW の太陽光発電設備と啓発用モニターを設置し、年間約 3t の二酸化炭素排出量の削減を図った。
  - ② 「ライオンズでんき」の販売など、株式会社ところざわ未来電力を通じて家庭等に環境にやさしい電力の供給を推進した。

### 2 環境対策課

- (1) 大気汚染状況の常時監視事業として、常時監視測定局 5 局において、大気汚染物質（光化学オキシダント等）の監視測定を実施した。また、光化学スモッグ注意報等（注意報：2 回）の発令時に、固定系防災行政無線及びところざわほっとメール等を利用し、市民に注意喚起を行った。
- (2) 公共用水域等汚濁状況の常時監視事業として、公共用水域においては、柳瀬川・東川・不老川の各地点（13 地点×年 12 回）、また、地下水においては、概況調査（2 地点）及び継続監視調査（16 地点）を行い、水質の監視測定を実施した。
- (3) 所沢市水生生物等調査委託事業として、長期的な河川の水質状況を知るために、柳瀬川（2 地点）で市内河川に生息する虫や魚、藻類を対象として水生生物等調査を実施した。
- (4) ところざわ環境データブック作成事業として、大気・河川などの

環境調査結果を取りまとめた「ところざわ環境データブック 2021 年度版」を発行し、市内の環境情報を広く市民に周知した。

- (5) 規制対象事業所検査事業として、規制対象事業に対し、大気規制対象事業所 109 事業所及び水質規制対象事業所 54 事業所の立入検査又は報告徴取を行い、法令遵守不履行の事業所（大気 8 事業所、水質 6 事業所）については、注意等の指導を行った。

### 3 生活環境課

- (1) 「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動について、環境推進員と連携して春と秋に実施し、自治会・町内会等から 30,094 人の参加があった。
- (2) 一般家庭生活廃水くみ取り事業について、一般家庭から排出される生活廃水（し尿を除く。）のくみ取り（回数：785 回、くみ取り量：1,974,100ℓ、手数料：1,184,460 円）を行った。
- (3) 犬の登録・狂犬病予防注射管理事業について、新規に 1,515 頭を登録し、登録総数は、15,038 頭となった。また、狂犬病予防注射は、11,542 頭が接種を受け、その内訳は、集合注射が 1,846 頭（4 月 2 日～4 月 24 日：延べ 16 日間、市内 42 会場において実施）、動物病院での注射が 9,696 頭であり、狂犬病予防注射済票は、11,556 頭分（再交付 14 頭分、盲導犬等無償交付分 4 頭分を含む。）交付した。
- (4) 歩きたばこ等防止啓発事業について、路上喫煙禁止地区内のパトロールの実施や市ホームページでの啓発を行い、歩行喫煙者調査では、平成 18 年度当初 2.19%だったものが、令和 3 年度は 0.06%へと減少した。
- (5) 害虫及び有害鳥獣駆除事業について、スズメバチの巣（4 件）の駆除及びアライグマの罠に入った錯誤捕獲のハクビシン（16 頭）の防除を行った。

また、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく「アライグマ個体分析調査業務単価契約」により、アライグマを 114 頭捕獲し、分析調査結果を県へ報告した。

#### 4 みどり自然課

- (1) みどりの保全施策として、菩提樹池里山保全地域及び荒幡富士市民の森の指定の拡大、小手指台まちなかみどり保全地区の指定を行ったほか、「北野南二丁目里山保全地域」、「荒幡富士市民の森」、「菩提樹池里山保全地域」及び元町地内の土地等、計 8 筆を購入し、公有地化した。
- (2) まちなかにおけるみどりを創出し、市民の憩いの場とするため、西住吉地内に市内 1 か所目の「みどりのエコスポット」を整備した。
- (3) 市内に残る貴重な水田の保全管理を進めていくため、上山口地内に農機具等の保管及び作業場所として倉庫を整備した。
- (4) 「狭山湖ふれあい橋」について、散策者及び観光客の安全の確保と景観向上を目的として、周辺整備工事を行った。
- (5) みどりの創出と暑さ抑制を図るため、松郷保育園の園庭に芝生を植栽し、66.7 m<sup>2</sup>を芝生化した。
- (6) みどりの保全及び緑化の推進に係る活動を行う団体や個人を対象とする「みどりのパートナー」(令和 3 年度末登録団体数 59 団体、登録者数 1,501 人)に対し、育成講座の開催や活動費助成等を行った。
- (7) 保存樹木、保存樹林、ふるさとの樹の永続的な指定のため、所有者への支援として 5 件の維持管理費補助を行った。

#### 5 資源循環推進課

- (1) 総ごみ量は約 96,021t であり、前年度（約 99,558t）に比べて約 3,537t の減、東西クリーンセンターにおける年間焼却量は約 78,569t で、前年度（約 79,148t）より約 579t の減、リサイクル率は 31.3%で、前年度（31.0%）から 0.3 ポイントの増となった。また、粗大ごみは、収集点数 29,174 点で、前年度（29,960 点）から約 2.6%減少した。
- (2) 更なるごみの減量や効果的な資源化を推進するため、廃棄物減量等推進審議会（開催回数：6 回）に諮問し、ごみ有料化制度を含めたプラスチックごみや生ごみの減量に係る様々な施策の推進について答申を受けた。

- (3) プラスチックごみ削減の取組として、公共施設に給水スポットを設置し、マイボトルの持ち歩きを促進した。また、市内飲食店等を対象とした非プラスチック製容器等使用促進支援事業を実施し、新しい生活様式と脱プラスチックの両立を図った。
- (4) 第2一般廃棄物最終処分場整備事業については、建設予定地のうち1,028.06㎡の土地（全体取得率：約97%）及び搬出入路用地のうち1,985.29㎡の土地（全体取得率：約77%）を取得した。また、処分場の設計及び建設を一括して行う事業者と契約を締結した。
- (5) リサイクルふれあい館におけるリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）及びリサイクル（再生利用）に関する展示や各種体験講習会の開催、再生家具・古着・陶磁器等の頒布（全47,165点）を通じて、市民の意識啓発に努めた。

## 6 東部クリーンセンター

- (1) 焼却施設及びリサイクルプラザについては、施設運営の効率性の向上を図り、安定した稼働を確保するため、平成30年度から長期包括運營業務委託を実施し、委託事業者とともに質の高い施設運営に努めた。
- (2) 令和3年3月に完了した延命化工事による性能の向上により、発電量の増加や電力使用量の削減を図り、7,495,446kWhの余剰電力を売電した。
- (3) 本センターでのごみ受入量は、事業系12,134t、家庭系38,563tとなり、157,000台にも及ぶ搬入車両の迅速かつ適切な誘導等に努め、場内での安全を確保した。
- (4) 清掃施設周辺整備事業については、本センター周辺地域の生活環境の向上等を図るため、下水道等の整備を実施した。

## 7 西部クリーンセンター

- (1) 焼却施設及び容器包装プラスチック処理施設については、施設運営の効率性の向上を図り、安定した稼働を確保するため、平成30



年度から長期包括運營業務委託を実施し、委託事業者とともに質の高い施設運営に努めた。

- (2) 北野一般廃棄物最終処分場(平成17年3月埋立終了)については、必要な水処理や環境測定を継続するなど適切な維持管理に努めた。

なお、稼働開始から33年が経過して老朽化が著しい浸出液処理施設の延命化を図るため、改修工事に伴う設計業務委託を終えた。

- (3) 本センターでのごみ受入量は、事業系2,121t、家庭系26,523tとなり、98,000台にも及ぶ搬入車両の迅速かつ適切な誘導等に努め、場内での安全を確保した。

## 8 収集管理事務所

- (1) 市域の30%のごみの収集を行うとともに、「所沢市家庭ごみ収集運搬業務の委託拡大に向けた計画」に基づき、市域の70%分を業務委託し、安定した収集体制の維持に努めた。


- (2) ごみを出すことが困難な高齢者等に対して戸口先まで直接伺い、ごみを収集する「ふれあい収集」(利用者数:781世帯)を行った。

事務事業名 マチごとエコタウン推進事業	予算現額	66,512,000 円
	決算額	64,959,206 円
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	1,552,794 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.104)	前年度決算額	66,126,768 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市マチごとエコタウン推進計画及び重点実施計画に基づく各種事業の展開により、市域の一層の低炭素化を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時登録車制度への協力者募集開始</li> </ul> <p>災害による大規模停電発生時等における避難所等への緊急電源車両（電気自動車又は燃料電池自動車）派遣体制の充実を図るため、令和3年度はボランティアによる市民・市内事業者の車両について登録受付を開始し、6台の登録があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートハウス化推進補助金事業</li> </ul> <p>家庭用、事業者用、自治会・町内会及び管理組合用に、再生可能エネルギー設備の導入やエコリフォームに係る経費の助成を行った。計518人に総額63,736,000円の補助金を交付し、約578t-CO<sub>2</sub>/年のCO<sub>2</sub>削減を図った。</p>		

事務事業名 再生可能エネルギー普及推進事業	予算現額	64,713,000 円
	決算額	64,550,220 円
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	162,780 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.105)	前年度決算額	64,766,874 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、低炭素社会の構築に向け、市域の再生可能エネルギー利用を推進するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢の設置運営事業</li> <li>○市有施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業</li> <li>○所沢版RE100（使用電力を再生可能エネルギー100%にする活動）</li> </ul> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢について適切に管理運営することで、市域における再生可能エネルギーの普及を図るとともに、メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢及び屋根貸し太陽光発電事業の発電電力は、株式会社ところざわ未来電力に特定卸で供給し、電力の地産地消に貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メガソーラー所沢 売電量：1,173,747kWh、売電額：46,765,994 円</li> <li>○フロートソーラー所沢 売電量：471,425kWh、売電額：12,437,696 円</li> </ul>		



事務事業名 水田景観保全事業	予算現額	14,237,000 円
	決算額	13,332,504 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	904,496 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.106)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田を保全することで、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに、豊かな里山の景観を引き継いでいくことを目的とするものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>この地域内の水田の保全を図るため、一部について、地権者と土地貸借契約を締結した（上山口 1253 番 外 4 筆 合計面積 3,820 m<sup>2</sup>）。また、水田の保全管理を進めるに当たり、農機具の保管及び作業場所の確保が必要となることから、上山口地内の土地を取得し、倉庫の整備を行った。</p> <p>○倉庫整備用地の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在：上山口 1632 番 2 外 2 筆</li> <li>・面積：721.64 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>○上山口地内施設整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（2 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社本橋工務店</li> <li>・工 期：令和 3 年 10 月 29 日～令和 4 年 2 月 28 日</li> <li>・契約金額：7,425,000 円</li> <li>・内 容：水田管理用倉庫の整備工事</li> </ul>		

事務事業名 みどりのエコスポット整備事業	予算現額	5,200,000 円
	決算額	4,367,000 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	833,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.107)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市みどりの基本計画において、重点的に緑化に配慮すべき区域とした「緑化重点地区」内の低未利用地のうち、300 m<sup>2</sup>未満の土地について、市民の憩いの場として整備することで、みどりの貴重なまちなかにおいて動植物の生息・生育地を創出するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>西住吉地内に、みどりのエコスポット 1 か所の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所：西住吉 876 番 19 外 2 筆</li> <li>・面積：225.73 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>○みどりのエコスポット整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3 者）</li> <li>・契 約 先：有限会社梶原造園</li> <li>・工 期：令和 4 年 1 月 21 日～3 月 25 日</li> <li>・契約金額：4,367,000 円</li> <li>・内 容：広場の設置、既設柵撤去、植樹（ミカン、ウグイスカグラ等在来種の植栽帯）、張芝、浸透柵の設置</li> </ul>		
		

事務事業名 里山保全地域等指定整備事業	予算現額	68,030,000 円
	決算額	67,274,513 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	755,487 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.108) (R3-4 議案第 93～95 号 P.9)	前年度決算額	42,659,942 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市内に残された貴重な緑地を保全し、未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、地権者等の協力を得ながら、都市緑地法等に基づく緑地保全制度の指定を行い、保全管理計画を策定するほか、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得（寄附受入れを含む。）により、公有地化を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○地域制緑地の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菩提樹池里山保全地域(山口 2128 番 外)の指定拡大 指定面積：5.23ha(うち 0.09ha を拡大) (令和 4 年 3 月 30 日指定)</li> <li>・荒幡富士市民の森(荒幡 782 番 外)の指定拡大 指定面積：5.18ha(うち 0.24ha を拡大) (令和 3 年 5 月 1 日指定)</li> <li>・小手指台まちなかみどり保全地区(小手指台 34 番 6 外)の指定 指定面積：1,825 m<sup>2</sup> (令和 4 年 3 月 1 日指定)</li> </ul> <p>○土地の購入による公有地化</p> <p>北野南二丁目里山保全地域内、荒幡富士市民の森内の土地の一部を埼玉県と 2 分の 1 ずつ取得したほか、菩提樹池里山保全地域内、元町地内の土地についても合計 2 筆取得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在：北野南二丁目 28 番 14 外 2 筆、荒幡 746 番 1 外 2 筆、山口 2099 番、元町 54 番 1</li> <li>・面積：7,687.34 m<sup>2</sup> (本市 4,785.43 m<sup>2</sup>、県 2,901.91 m<sup>2</sup>)</li> </ul>		

事務事業名 狭山湖周辺人道橋整備事業	予算現額	32,849,000 円
	決算額	32,758,328 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	90,672 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.109)	前年度決算額	135,008,214 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>狭山湖とその周囲に広がる狭山丘陵は、所沢を代表する景勝地であり、身近な自然と触れ合える場所であることから、多くの観光客や近隣住民の散策地となっており、安全に周遊できる散策路が求められている。このことを踏まえ、狭山湖北東部に位置する緑地帯を縦断する市道 5-4 号線に、景観に配慮した人道橋を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>狭山湖ふれあい橋周辺整備工事を行い、令和 3 年 11 月 10 日に完成した。</p> <p>○狭山湖ふれあい橋周辺整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・契 約 先：株式会社本橋組</li> <li>・工 期：令和 3 年 4 月 1 日～11 月 26 日</li> <li>・契約金額：30,800,000 円</li> <li>・内 容：狭山湖ふれあい橋の周辺設備の整備 (車止め、転落防止柵、縁石等の設置、張芝、植栽等)</li> </ul>		

事務事業名 一般廃棄物減量化方策推進事業	予算現額	26,465,000 円
	決算額	26,010,278 円
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 2 目 1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	454,722 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.110)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市におけるごみ量の減少率の鈍化や第 10 期廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、第 11 期審議会に審議いただくとともに、市内の動向調査及び情報収集等を行い、更なるごみの減量や効果的な資源化を推進する。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市廃棄物減量等推進審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催状況：令和 3 年 5 月 19 日、7 月 20 日、11 月 24 日、12 月 27 日、令和 4 年 2 月 7 日及び 3 月 29 日の計 6 回開催</li> <li>・内 容：ごみ有料化制度の導入について</li> </ul> <p>○所沢市一般廃棄物減量方策推進業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（8 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社エイト日本技術開発 北関東支店</li> <li>・委託期間：令和 3 年 4 月 22 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：25,201,000 円</li> <li>・内 容：審議会における資料作成等支援や市民アンケート、ごみの組成分析調査等各種調査等の実施</li> </ul>		

事務事業名 マチごとプラスチックごみ削減事業	予算現額	1,170,000 円
	決算額	662,750 円
所 管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 2 目 1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	507,250 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.111)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、プラスチックごみの削減を行うため、様々な普及啓発施策を実施するプラスチックごみ削減推進事業の一環として、市内公共施設への給水スポットの設置及びリユース食器利用促進業務を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所本庁舎や図書館、体育館等の市内公共施設(全 28 か所)に、計 30 台のマイボトル専用給水スポットを設置し、市民のマイボトル持ち歩きの定着を図った。</li> <li>・リユース食器の無料貸出しにより、自治会等でのイベント開催時にリユース食器を積極的に活用してもらえるように促すが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で自治会等のイベントが開催されなかったため、貸出し実績はなかった。</li> </ul>		

事務事業名 第2一般廃棄物最終処分場整備事業	予算現額	193,311,000円
	決算額	120,657,902円
所管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	67,404,306円
予算区分 款4項2目2 説明 06 一般廃棄物最終処分場整備費	不用額	5,248,792円
事業概要 (R3-1 議案第12号～21号 P.112) (R4-1 議案第1号～8号 P.38)	前年度決算額	517,830,511円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>市内で発生する一般廃棄物の最終処分については、市外の最終処分場と市内の北野一般廃棄物最終処分場で行ってきたが、北野一般廃棄物最終処分場が平成17年3月末をもって埋立てが終了したため、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終処分場用地購入実績：地権者数1人、筆数1筆、購入面積1,028.06㎡（全体面積の約97%を購入済）</li> <li>搬出入路用地購入実績：地権者数7人、筆数12筆、購入面積1,985.29㎡（全体面積の約77%を購入済）</li> <li>所沢市（仮称）第2一般廃棄物最終処分場設計及び建設事業者選定委員会において、処分場の設計及び建設を一括して行う事業者として、戸田建設株式会社関東支店を選定し、契約の締結を行った。</li> </ul> <p>○（仮称）第2一般廃棄物最終処分場整備アドバイザー業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選定方法：随意契約（指名型プロポーザル・6者）</li> <li>委託先：株式会社エイト日本技術開発 北関東支店</li> <li>委託期間：令和2年6月11日～令和4年3月31日</li> <li>内容：最終処分場の設計・建設を一括して行う事業者の募集・選定等に係るアドバイザー等業務</li> </ul> <p>※本事業については、予算額80,990,000円を令和4年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 非プラスチック製容器等使用促進支援事業	予算現額	10,000,000円
	決算額	3,510,000円
所管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款4項2目1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	6,490,000円
事業概要 (R3-3 議案第68号～71号 P.24)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市内の外出産業・食品小売業に対し、環境に配慮した素材でできた容器・包装の購入費を助成することで、石油由来の使い捨てプラスチック容器・包装から、環境に配慮した素材でできた容器・包装への移行促進を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>42店舗（37業者）に対し、351万円交付し、合計で197,568個分の代替品購入を促進した。</p> <p>【参考】代替品への切替え個数197,568個の内訳</p> <p>紙製容器：171,075個（86.6%）、木製容器：1,025個（0.5%）、リユース食器：1,418個（0.7%）、バイオマスプラスチック容器：24,050個（12.2%）</p>		



事務事業名 北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設整備事業	予算現額	33,979,000 円
	決算額	23,785,300 円
所 管 環境クリーン部西部クリーンセンター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 2 目 2 説明 04 西部クリーンセンター費	不用額	10,193,700 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.113)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、稼働開始から 33 年が経過し老朽化が著しい北野一般廃棄物最終処分場の浸出液処理施設について、延命化を図るものである。</p> <p>浸出液処理施設の延命化に当たっては、埋立物の安定化が進み浸出水の水質が改善してきていることから、水質に合わせた処理システムを構築し、改修費用の削減とランニングコストの低減を図る。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>生活環境影響調査、基本設計及び実施設計を完了し、年度内に埼玉県への変更届を提出した。</p> <p>○北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設改修設計等業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（8 者）</li> <li>・委 託 先：パンフィックコンサルタンツ株式会社 埼玉事業所</li> <li>・委託期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 2 月 28 日</li> <li>・委託金額：23,785,300 円（債務負担行為）</li> </ul>		





# 産 業 経 済 部

---

## 1 産業振興課

- (1) 所沢元気回復プロジェクト事業として、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている市内事業者を支援した。
  - ① 飲食店の休業や時短営業、外出自粛等の影響を受け、売上が大きく減少した市内事業者に対して応援給付金を月額 5 万円(最大 35 万円)給付した。
  - ② 所沢商工会議所が実施する市内中小企業向けの新型コロナウイルスワクチンの共同接種事業について、事業経費の一部を補助した。
- (2) 産業施策として、所沢ブランド特産品創出支援事業において、新たに 4 品の特産品を認定するとともに、パンフレットやウェブサイト等により積極的な PR に努めた。
- (3) 企業誘致施策として、市内へ工場等を立地した企業に対し、企業立地等奨励金の交付や事務所等を新たに賃貸するとともに、製造業や都市型産業を営む企業に対し、都市型産業等育成補助金の交付を行った。
- (4) 労働施策として、勤労者福祉施設ラーク所沢の運営及び同施設の老朽化した屋根の改修工事を実施したほか、国や県と連携した就労支援事業や労働セミナーの実施など、中小企業勤労者福祉サービスセンターへの支援を行った。

## 2 商業観光課

- (1) 所沢元気回復プロジェクト事業として、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている市内事業者を支援した。
  - ① 地域経済と商業の活性化を図るため、ところざわ応援食事券事業を実施する実行委員会に対して補助金を交付した。
  - ② 事業継続を支援するため、インターネットを通じた販路拡充支援や市職員を対象としたテイクアウト販売会を実施した。

- ③ 安全・安心な環境整備を進めるため、感染防止対策研修（会場及びインターネット）の実施や換気促進機器を導入する事業者に対して補助金を交付した。
  - ④ 地域振興及び地域コミュニティの強化を行うため、寄附金を活用し、プロスポーツ等との協働事業を実施した。
- (2) 商業振興策として、魅力ある商店街創出支援事業において商店街事業や商店街の施設環境整備について補助事業を実施した。
- (3) COOL JAPAN FOREST 構想の一環として、以下のとおり取り組んだ。
- ① 所沢市観光情報・物産館 Y O T - T O K O（よっとこ）は、所沢市の特産品の販売等を通じた魅力発信拠点として、令和 3 年 5 月に開館し、指定管理者による管理運営を開始した。
  - ② 今後のインバウンド需要を取り込むため、令和 3 年 11 月 5 日から 8 日まで開催された「台北国際旅行博」に本市のブースを出展し、市の P R を行った。

### 3 農業振興課

- (1) 所沢市農業振興地域整備計画に基づき適切な農用地管理を進めるとともに、全国的な課題となっている高齢化や後継者不足を起因とした農地の遊休化を未然に防ぐため、積極的に農地の貸借を進め、本市の農業の担い手となる認定農業者や認定新規就農者の規模拡大を支援した。
- (2) 農業者への農業経営支援として、認定農業者に対し認定農業者等経営改善推進事業を、新規就農者に対し新規就農円滑化推進事業を進めた。
- (3) 「農のあるまちづくり」を推進するため、令和 4 年度から閉場となる体験農場の代替として、新たな農場の整備を行うことにより既存農場数の維持に努めるとともに、2 年毎の体験農場利用者の入替業務を行った。
- (4) 地産地消を推進するため、農産物直売所ガイドマップの作成や農産物直売所のぼり旗の配布、農業情報誌の発行など、所沢産農産物

の周知及び消費拡大に努めた。

事務事業名 ラーク所沢屋根改修事業	予算現額	44,891,000 円
	決算額	40,909,000 円
所 管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 5 項 1 目 1 説明 03 勤労者福祉施設費	不用額	3,982,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.114)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化した施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>ラーク所沢の老朽化した屋根の改修を行ったことにより、施設の長寿命化が図られた。</p> <p>○ラーク所沢屋根改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（1 者）</li> <li>・契約先：アポロ工業株式会社</li> <li>・工 期：令和 3 年 10 月 6 日～令和 4 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：40,909,000 円</li> </ul>		

事務事業名 企業誘致活動推進事業	予算現額	25,809,000 円																	
	決算額	25,638,465 円																	
所 管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0 円																	
予算区分 款 7 項 1 目 2 説明 03 産業振興費	不用額	170,535 円																	
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.115)	前年度決算額	4,478,465 円																	
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、本市の立地環境を活かし、製造業、都市型産業（※）等の立地・拡大の推進及び育成に向け、奨励金・補助金の交付等を行い、市内経済の活性化、雇用の創出及び税収の確保を図るものである。</p> <p>※都市型産業とは、情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT 関連産業、宿泊施設等をいう。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地等奨励金の交付</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>奨励金の種類</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>業種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工場等立地奨励金</td> <td>6 件</td> <td>17,887,500 円</td> <td rowspan="2">製造業</td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>1 件</td> <td>1,500,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市型産業等育成補助金の交付</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>業種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 件</td> <td>5,469,600 円</td> <td>製造業・情報通信業</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業、都市型産業等の誘致に係る市の特性及び産業支援策等の P R</li> </ul> <p>埼玉県主催の企業立地セミナー in 大阪への参加、関東地方に所在地のある製造業 1,500 社への DM 発送を行った。</p>			奨励金の種類	交付件数	交付額	業種	工場等立地奨励金	6 件	17,887,500 円	製造業	雇用促進奨励金	1 件	1,500,000 円	交付件数	交付額	業種	5 件	5,469,600 円	製造業・情報通信業
奨励金の種類	交付件数	交付額	業種																
工場等立地奨励金	6 件	17,887,500 円	製造業																
雇用促進奨励金	1 件	1,500,000 円																	
交付件数	交付額	業種																	
5 件	5,469,600 円	製造業・情報通信業																	

事務事業名 外出自粛等関連事業者支援事業（所沢元気回復プロジェクト）	予算現額	280,528,000円
	決算額	226,831,821円
所 管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 7 項 1 目 2 説明 03 産業振興費	不用額	53,696,179円
事業概要 (R3-3 議案第89号 P.8) (R3-4 議案第98～100号 P.26)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、飲食店の休業や時短営業、外出自粛等の影響を受け、売上げが大きく減少した市内事業者に対して、応援給付金を支給するものである。</p> <p><b>【事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者：市内に本店を有する中小法人及び主たる事業所を有する個人事業主</li> <li>要件：令和3年4月から10月までの各月の売上減少に対して、以下のいずれかの給付決定を受けていること <ol style="list-style-type: none"> <li>月次支援金（経済産業省）</li> <li>埼玉県外出自粛等関連事業者協力支援金</li> <li>埼玉県酒類販売事業者等協力支援金</li> </ol> </li> <li>給付額：5万円/月（定額、上限7か月）</li> </ul> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請期間：令和3年10月15日～令和4年3月15日</li> <li>申請件数：1,258件</li> <li>支給件数：1,247件（法人：452件、個人：795件）</li> <li>支給額：226,600,000円</li> <li>事務経費：231,821円（通信運搬費）</li> </ul>		

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン共同接種支援事業（所沢元気回復プロジェクト）	予算現額	21,643,000円
	決算額	17,042,165円
所 管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 7 項 1 目 2 説明 03 産業振興費	不用額	4,600,835円
事業概要 (R3-3 議案第89号 P.9)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢商工会議所が実施する市内中小企業を対象とした新型コロナウイルスワクチンの共同接種について、その費用の一部を補助し、ワクチン接種に関する地域負担の軽減と接種の加速化を図るとともに、一刻も早い市内経済の平常化及び活性化を図るものである。</p> <p><b>【補助事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象：所沢商工会議所</li> <li>対象経費：共同接種実施に係る運営費（国等からの助成額は除く。）</li> <li>補助率：9/10</li> <li>接種見込者：市内中小企業者の役員及び従業員並びにその家族約9,000人（会員・非会員を問わない。）</li> </ul> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接種期間：令和3年9月12日～10月31日</li> <li>接種会場：わかさクリニックオレンジタウン</li> <li>接種人数：2,608人（うち2回接種：2,553人、1回目のみ接種：55人）</li> <li>総回数：5,161回</li> <li>交付額：17,042,165円（補助対象経費：18,935,739円）</li> </ul>		

事務事業名 所沢市観光情報・物産館整備事業 (COOL JAPAN FOREST 構想事業)	予算現額	670,994,000 円
	決算額	659,457,920 円
所 管 産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 7 項 1 目 3 説明 1 観光振興費	不用額	11,536,080 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.116) (R3-3 議案第 67 号 P.7)	前年度決算額	115,616,276 円

<事業の目的・内容>

本事業は、COOL JAPAN FOREST 構想における周辺環境整備の一環として、「ところざわサクラタウン」に隣接する旧コンポストセンター跡地に、駐車場及び大型バスの発着・転回場を備えた本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点となる所沢市観光情報・物産館 Y O T - T O K O (よっとこ) を整備するものである。

<事業の実績・成果>

- ・令和 3 年 5 月 29 日に開館し、指定管理者による管理運営を開始した。  
(令和 3 年 5 月 29 日から令和 4 年 3 月 31 日までの来館者数 (推計) : 約 20 万人)
- ・SNS (Instagram、Facebook、中国 SNS 「Weibo」等) や情報発信コーナーでの企画展示等により本市の魅力を発信した。

駐車場の利用状況

	駐車料金収入	利用台数
一般車	9,419,980 円	46,987 台
大型車	328,900 円	85 台

特産品販売所及び飲食スペースの利用状況

	総売上	売上点数	レジ取引件数
特産品販売所	61,750,941 円	149,866 点	42,011 件
JIGONA cafe	18,330,938 円	49,799 点	16,386 件

## 街づくり計画部

---

### 1 都市計画課

- (1) 都市拠点土地利用デザイン推進事業では、令和2年度に実施した調査結果を踏まえ、意見交換会や勉強会、フォーラムなどを開催して市民の声を取り入れ、「所沢駅周辺グランドデザイン」を策定した。
- (2) 交通事業者支援給付事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少した交通事業者に対し、給付金を交付した。
- (3) 地域公共交通検討事業では、三ヶ島地区で「ところワゴン」の実証運行を開始するとともに、柳瀬地区及び富岡地区における実証運行開始のための準備を進めた。
- (4) 市内循環バス（ところバス）運行事業として4路線6コースを運行し、313,376人の利用があった。

### 2 市街地整備課

- (1) 市営住宅東所沢和田団地施設整備事業では、「所沢市公共施設長寿命化計画」及び「所沢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、東所沢和田団地西棟の屋根及び外壁の改修工事を行った。
- (2) 土地利用転換推進事業では、北秋津・上安松地区、下安松東地区、三ヶ島工業団地周辺地区などにおいて地権者組織等が実施する事業に対する費用の助成や上藤沢・林・宮寺間新設道路用地の取得などを実施した。
- (3) 日東地区まちづくり事業では、所沢東町地区市街地再開発組合に対して支援・指導を行い、施設建築物建築工事が完了した。また、これと併せて実施しているファルマン通り交差点改良事業において、詳細設計業務委託を行うとともに、権利者交渉や用地取得を行ったほか、再開発事業区域内の道路整備工事を実施した。

### 3 開発指導課

街づくり条例に基づく開発事業申請 95 件、都市計画法に基づく申請

の主なものとして開発許可 59 件、建築許可 112 件、適合証明 269 件（うち手数料免除 4 件）の処理を行った。

#### 4 建築指導課

- (1) 建築確認申請 8 件、計画通知（行政が建てる建築物の通知）16 件、建築許可申請 19 件、屋外広告物許可申請 373 件、道路位置指定図の写しの交付 2,184 件、建築計画概要書等の写しの交付 4,816 件、長期優良住宅建築等計画の認定申請 272 件、低炭素建築物新築等計画の認定申請 77 件、建築物エネルギー消費性能適合性判定 2 件、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に基づく届出・通知 735 件の処理を行った。
- (2) 住宅等の地震に対する安全確保の取組として、我が家の耐震診断・耐震改修補助事業において、耐震診断 5 件、耐震改修 1 件に対し、補助金を交付した。

#### 5 所沢駅西口区画整理事務所

- (1) 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1 工区）では、道路の詳細設計業務委託を行うとともに、所沢市土地開発公社による用地取得及び物件移転を行った。また立体交差化事業に伴う鉄道施設の移転について、西武鉄道株式会社と協定を締結した。
- (2) 所沢駅西口地区まちづくり事業では、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の事業完了に向けて、広場整備を行った。また、ワルツ所沢と 3 街区（広域集客型商業施設）を結ぶ歩行者デッキの詳細設計業務委託及び駅前広場再整備計画策定業務委託を行った。



事務事業名 地域公共交通検討事業	予算現額	73,190,000 円
	決算額	23,312,343 円
所 管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	47,563,200 円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 03 交通政策費	不用額	2,314,457 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.118)	前年度決算額	20,966,517 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市における市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保及び利便性を向上させるための対策について、所沢市地域公共交通協議会等により、地域公共交通の方向性や具体的な施策について検討を重ねている。</p> <p>令和 3 年度は、モデルケースとして三ヶ島地区においてワゴン型バスの運行を開始したほか、柳瀬地区・富岡地区における新たな交通手段の導入に向けた準備を行った。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○所沢市地域公共交通アドバイザーの活用：3 回</li> <li>○意見交換会等の開催：各地区 2 回（富岡地区、柳瀬地区、三ヶ島地区）</li> <li>○ところワゴン（三ヶ島地区）実証運行事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行事業者：西武ハイヤー株式会社</li> <li>・利用者数：林・糞谷ルート 9,720 人、若狭・三ヶ島ルート 8,449 人</li> <li>・運賃収入：1,933,908 円、運行補償費：22,027,112 円、収支率：8.1%</li> </ul> </li> </ul> <p>※本事業については、予算額 47,563,200 円を令和 4 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		




事務事業名 都市拠点土地利用デザイン推進事業	予算現額	8,690,000 円
	決算額	8,576,870 円
所 管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 02 都市計画事務費	不用額	113,130 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.121)	前年度決算額	4,994,000 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市の中心拠点である所沢駅周辺について、大規模な街づくり事業の完成後における街の姿を描き、市内外からの来訪者が回遊し賑わう空間づくりが求められている。</p> <p>本事業は、所沢駅周辺から元町交差点までの旧町地区について、エリアごとの特性を踏まえた街づくりのあり方を検討し、土地利用や都市デザイン、エリアマネジメントの方向性を示すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利害関係者（町内会、商店街等）との意見交換会及び勉強会の開催</li> <li>・地域住民等の意見の聴取や理解を図るためのまちづくりフォーラムの開催</li> <li>・所沢駅周辺グランドデザインの策定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市拠点土地利用デザイン支援業務委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社地域計画連合</li> <li>・委託期間：令和 3 年 6 月 2 日～令和 4 年 3 月 25 日</li> <li>・委託金額：8,470,000 円</li> <li>・内 容：所沢駅周辺グランドデザイン策定に向けた業務支援</li> </ul> </li> </ul>		



令和 4 年 2 月 21 日  
所沢市

事務事業名 交通事業者支援給付事業	予算現額	14,940,000円
	決算額	14,670,000円
所 管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 01 交通対策費	不用額	270,000円
事業概要 (R3-3 議案第 67 号 P.6)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請等に伴う利用者の減少により大きな影響を受けている交通事業者に対して給付金を交付し、事業の継続に向けた支援を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>各交通事業者からの申請に基づき給付金を交付した。</p> <p>○交付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢タクシー協議会加盟事業者及び個人タクシー事業者：13者</li> <li>・市内観光バス事業者：4者</li> </ul> <p>※路線バス事業者については、利用者数が回復していたことから、事業者と調整の上、令和3年度は交付対象外とした。</p> <p>○交付額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー事業者：10万円に所有車両1台当たり3万円（個人タクシー事業者を除く。）を加算した額</li> <li>・観光バス事業者：50万円に所有車両1台当たり20万円を加算した額</li> </ul> <p>○交付総額：14,670,000円</p>		

事務事業名 市営住宅東所沢和田団地施設整備事業	予算現額	123,750,000円
	決算額	113,300,000円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 6 目 1 説明 03 市営住宅維持費	不用額	10,450,000円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.124)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>市営住宅の適切な維持管理と長寿命化を図るため「所沢市公共施設長寿命化計画」及び「所沢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、施設の改修を行った。</p> <p><b>【建物概要】</b></p> <p>構 造：壁式PCCコンクリート造（階数：地上5階建て）</p> <p>規模等：建築面積 1705.52㎡</p> <p>延べ床面積 6693.38㎡（戸数 90戸）</p> <p style="text-align: right;"><b>東所沢和田団地</b></p>		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市営住宅東所沢和田団地（西棟）屋根及び外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契 約 先：和喜屋工業株式会社</li> <li>・工 期：令和3年9月6日～令和4年3月18日</li> <li>・契約金額：113,300,000円</li> <li>・内 容：東所沢和田団地（西棟）及び団地集会室 屋根防水、外壁塗装等の改修工事</li> </ul>		
<p>&lt;国庫補助金&gt;</p> <p>社会資本整備総合交付金交付対象事業（公営住宅等ストック総合改善事業）</p> <p>交付額：54,094千円（補助対象事業費に対し、補助率1/2）</p>		

事務事業名 土地利用転換推進事業	予算現額	1,245,950,000円
	決算額	1,051,344,672円
所管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費 ほか	不用額	194,605,328円
事業概要 (R3-1 議案第12~21号 P.125)	前年度決算額	610,758,944円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との調和に配慮しながら地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用転換を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧暫定逆線引き地区 <p>土地区画整理事業を施行している所沢市北秋津・上安松土地区画整理組合及び若松町土地区画整理組合並びに市街化区域編入に向けて組合土地区画整理事業の実施を目指している下安松東地区及び上安松・下安松西地区の地権者組織に対し、事業の進捗に合わせて助成を行うとともに橋梁予備設計業務委託を行った。</p> </li> <li>土地利用推進エリア <p>産業団地創出に向けて市街化区域編入と組合土地区画整理事業の実施を目指している三ヶ島工業団地周辺地区において、地権者組織に対し事業の進捗に合わせて助成を行うとともに事業予定地区内を貫通する上藤沢・林・宮寺間新設道路の2工区の用地取得を行った。また、関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区において説明会支援業務委託を行った。</p> </li> </ul>		

若松町地区の状況



事務事業名 日東地区まちづくり事業	予算現額	242,801,000円
	決算額	202,072,283円
所管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	40,620,000円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	108,717円
事業概要 (R3-1 議案第12~21号 P.126)	前年度決算額	734,939,334円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区について、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行） <p>市街地再開発組合に対して施設建築物建築工事等に係る費用の助成（所沢東町地区市街地再開発事業費補助金）を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再開発事業補助金 <p>補助金交付金額：149,400千円（うち市費 49,800千円 補助率1/9以内） 補助対象事業：施設建築物工事費、工事監理費、101条登記</p> </li> <li>・公共施設管理者負担金 <p>負担金交付金額：35,780千円（うち市費 17,890千円 補助率5/10以内） 補助対象事業：既存建築物除却工事費、街路本工事費</p> </li> </ul> </li> </ul> <p>※本事業については、予算額40,620,000円を令和4年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

所沢東町地区第一種市街地再開発事業  
施設建築物(令和4年1月竣工)





事務事業名 ファルマン通り交差点改良事業	予算現額	4,411,000 円
	決算額	4,173,639 円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	237,361 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.127)	前年度決算額	118,665,133 円

<事業の目的・内容>

所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行）により拡幅整備する都市計画道路中央通り線の整備に合わせて、一体的にファルマン通り交差点改良整備を行い、交差点処理能力と安全性の向上を図るものである。

<事業の実績・成果>

用地取得対象地 1 件の不動産鑑定評価（時点修正）及び交差点改良の詳細設計を行った。

ファルマン通り交差点詳細設計概要



事務事業名 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1工区）	予算現額	66,060,000 円
	決算額	64,939,236 円
所 管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 04 所沢駅ふれあい通り線道路築造費	不用額	1,120,764 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.128)	前年度決算額	79,546,138 円

<事業の目的・内容>

都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。

主要地方道東京所沢線から鉄道敷（アンダー部分）までの延長約 360mを所沢駅西口土地区画整理事業により建設工事を行い、アンダー部分から大踏切の通りである市道 1-525 号線までの延長約 160mについて、建設を進めるものである。

<事業の実績・成果>

所沢駅ふれあい通り線道路築造工事の実施に当たり、令和 4 年 1 月 12 日に西武鉄道株式会社と「所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋線及び新宿線との立体交差化事業に伴う鉄道施設移転の施行に関する協定」を締結した。また、本線及び県道下の構造物の詳細設計とともに、所沢市土地開発公社による用地取得及び物件移転補償並びに不動産鑑定、登記委託を行った。

	所沢駅ふれあい通り線詳細設計業務委託(その2)	登記委託
選定方法	指名競争入札（11 者）	随意契約
委託先	株式会社復建エンジニアリング北関東事務所	公営社団法人埼玉公共嘱託登記土地家屋調査士協会
委託期間	令和 3 年 8 月 26 日～令和 4 年 3 月 31 日	令和 3 年 4 月 23 日～令和 4 年 3 月 31 日
委託金額	61,268,900 円	761,524 円
内 容	本線及び県道下の構造物の詳細設計業務	道路用地の分筆及び登記

事務事業名 所沢駅西口地区まちづくり事業	予算現額	104,928,000 円
	決算額	53,884,003 円
所 管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	51,002,900 円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	41,097 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.129)	前年度決算額	1,465,184,479 円

<事業の目的・内容>

所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口土地区画整理事業との一体的施行による所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業を行うとともに、計画的な土地利用の誘導によるまちづくりを進めている。また、人を中心としたまちづくりの実現に向け、駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの整備とともに、所沢駅西口駅前広場の再整備の検討を進めている。

<事業の実績・成果>

人を中心としたまちづくりの実現に向け、ワルツ所沢と3街区（広域集客型商業施設）を結ぶ歩行者デッキの詳細設計を行うとともに、所沢駅西口駅前広場再整備の検討を行っていくための委託を行った。

	所沢駅ふれあい通り線詳細設計業務委託	所沢駅歩行者デッキ(B)詳細設計業務委託	所沢駅西口駅前広場再整備計画策定業務委託
選定方法	指名競争入札(11者)	指名競争入札(10者)	プロポーザル方式(3者)
委託先	株式会社復建エンジニアリング北関東事務所	中央コンサルタンツ株式会社北関東事務所	玉野総合コンサルタント株式会社埼玉事務所
委託期間	令和2年11月27日～令和3年8月31日	令和4年2月2日～9月30日	令和3年7月20日～令和4年3月31日
委託金額	39,600,000 円 (令和3年度支払額 27,800,000 円※1)	65,450,000 円 (令和3年度支払額 19,000,000 円)	6,997,100 円
内 容	側道部の詳細設計業務	ペDESTリアンデッキ詳細設計業務	駅前広場のレイアウト検討業務

※1 令和2年度からの繰越明許費については、中心市街地整備費のため、本事業に記載

※本事業については、予算額 51,002,900 円を令和4年度へ繰越明許し、実施する。



# 建設部

---

## 1 建設総務課

(1) 道路法に基づく道路財産の管理として、以下の事業を実施した。

- ① 新設、改良、廃止した道路等について道路台帳の更新
- ② 市道の認定（32路線）、廃止（15路線）、承諾（1路線）、区域変更（135路線）
- ③ 道水路境界確認立会い（149件）
- ④ 道路境界確定証明書等の交付（523件）
- ⑤ 道水路座標管理図面作成業務（11路線）
- ⑥ 道路境界確定図修正測量業務（9路線）

(2) 道路照明灯の維持管理事業として、道路照明灯修繕（73件）を実施するとともに、リースLED道路照明灯（8,602灯）の管理を行った。

また、倒壊・落下等による人的・物的被害を未然に防止し、安全な道路環境を確保するため、道路照明灯安全点検を委託により実施した。

(3) 防犯灯維持管理・補助事業については、自治会等が防犯を目的として設置し、維持管理している防犯灯に対し、新設費補助金（114灯分）、維持管理費補助金（13,461灯分）を交付した。また市が一括リースした防犯灯（7,068灯）の管理を行った。

## 2 道路建設課

(1) 新たな事業として市道 1-889 号線歩行者用階段設置事業において、階段築造工事を実施した。

(2) COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業において、道路拡幅用地を 466.79 m<sup>2</sup>取得した。

(3) 市道 4-1386 号線（上藤沢・林・宮寺間新設道路 3 工区）築造事業において、用地 880.83 m<sup>2</sup>を取得した。

(4) 所沢市総合治水対策事業（清柳橋改築事業）において、市道 1-900

号線の用地 1,453.61 m<sup>2</sup>を取得した。また、市道 2-4 号線交差点改良工事を実施し、架け換えをする清柳橋の上部工事に着手した。なお、本事業については、予算額 1 億 3,930 万 7,383 千円を令和 4 年度へ繰り越し、引き続き実施する。

- (5) 道路改良事業及び道路舗装事業において、市道等 5 路線の工事を実施した。

### 3 計画道路整備課

- (1) 北野下富線道路築造事業として、大字北岩岡で松葉道北岩岡線と交差する箇所からラク所沢前の市道 3-5 号線までの 1 工区について用地取得を行うとともに、延長 470m の区間のうち、延長 281m について道路築造工事を実施した。また、主要地方道所沢狭山線から松葉道北岩岡線までの 4 工区、延長 358m の区間について道路詳細設計を実施したが、年度内の完成が困難となったことから、令和 4 年度に予算を繰り越した。
- (2) 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業として、市道 1-525 号線からくすのき台交差点までの延長 260m の区間について、測量及び詳細設計を実施した。

### 4 道路維持課

- (1) 街路樹管理事業として、都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的な剪定、除草を実施した。
- (2) 歩きたくなる街路樹づくり事業として、緑陰を創出するなど、街並みと調和した街路樹を充実させ、安心して歩けるような歩道空間の整備を行っていくため、市道 5-1016 号線（さくら通り）の設計業務委託を実施した。
- (3) 橋りょう長寿命化修繕事業として、「所沢市橋梁長寿命化修繕計画」（道路橋 184 橋）に基づき、安全性・信頼性を確保するため、606 号橋・609 号橋の橋りょう点検及び老朽化が著しい松戸橋の舗装等



について修繕工事を実施した。

- (4) 道路安全施設整備事業として、市内の小中学校及び市民等からの要望に基づき、道路反射鏡の新規設置を73か所、道路区画線の整備を83か所実施し、安心・安全な道路環境の整備を目指し、管理の充実に努めた。また、道路反射鏡や区画線設置等の要望は911件あり、774件の要望を処理した。
- (5) 道路施設維持管理事業として、舗装の打換えなど10路線、総延長1,234.4mの工事を計画的に実施し、安心・安全な道路環境の整備を目指し、管理の充実に努めた。また市民等からの要望が2,732件あり、迅速に対応した結果、2,678件を処理した。
- (6) 道路清掃事業として、市道26.6kmの路面清掃及び雨水桝清掃119か所、側溝清掃を200m実施し、安心・安全な道路環境を構築した。

## 5 公園課

- (1) 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業として、用地3,222.12㎡を取得した。
- (2) 所沢カルチャーパーク築造事業として、築山に大型複合遊具等設置、園路広場整備工事、駐車場整備工事等を実施するとともに、用地3,592.00㎡を取得した。

## 6 営繕課

- (1) 公共施設設計・施工監理事業として、以下の工事・業務委託の依頼を受けて実施した。
  - ① 工事件数：46件  
所沢市総合運動場野球場外照明灯LED化改修工事 ほか45件
  - ② 設計業務委託件数：6件  
所沢市立西富小学校外1校トイレ改修工事設計業務委託 ほか5件
  - ③ 監理業務委託件数：1件  
所沢市立柳瀬公民館空調設備改修工事監理業務委託
- (2) 公共施設長寿命化に基づく予防保全計画予防保全推進事業とし

て、以下の工事・業務委託の依頼を受けて実施した。

① 予防保全計画に基づく工事：18件

所沢市庁舎自動昇降機改修工事

所沢市営住宅東所沢和田団地西棟屋根及び外壁改修工事

所沢市立柳瀬公民館受変電設備改修工事 ほか15件

② 予防保全計画に基づく設計業務委託：1件

所沢市立松井公民館空調設備改修工事設計業務委託

③ 予防保全計画に基づく監理業務委託：1件

所沢市立柳瀬公民館空調設備改修工事監理業務委託

## 7 河川課

(1) 河川・水路維持管理事業として、以下の工事・業務委託を実施した。

① 河川・水路の氾濫による浸水被害の軽減を図るため、三ヶ島一丁目地内外計4か所の水路改修工事を実施した。

② 河川・水路の機能を維持するため、清掃・除草等(41件)、修繕(13件)、設備保守(2件)、測量委託(2件)の業務委託を実施した。

(2) ふるさとの川再生事業として、河川・水路において、区域を指定し、市民と市が協働して自然豊かな川づくりを行うため、清掃活動等を実施している登録団体(2団体)に補助金を交付した。

(3) 東川桜舞う遊歩道事業として、遊歩道の維持管理、市で管理している桜の剪定・伐採を実施した。

(4) 砂川堀水辺保全・散策路整備事業として、護岸工事、ウッドチップ敷きによる散策路整備(約210m)、樹木の剪定・伐採を実施した。

(5) 所沢市洪水ハザードマップ更新事業として、洪水ハザードマップを作成し、ホームページの更新、地理情報システムへのセットアップを実施した。

事務事業名 市道 1-889 号線歩行者用階段設置事業	予算現額	8,000,000 円
	決算額	6,191,900 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	1,808,100 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.132)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>市道 1-889 号線は、柳瀬川対岸の新座市大和田土地区画整理事業で設置される新橋の所沢市側の取付道路である。当該市道は、橋と接続する県道所沢青梅線との距離が短いことから、橋と県道との高低差をすり付けるため、東側へ大きく迂回させる構造となり、地元住民から橋に最短距離で到達できる歩行者用階段の設置要望が上がっていた。</p> <p>こうしたことから、新座市が実施する新橋及び取付道路の設置に合わせ、本市が歩行者の利便性を向上させるための階段を設置したものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○市道 1-889 号線階段築造工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：有限会社古澤造園土木</li> <li>・工 期：令和 3 年 6 月 25 日～9 月 30 日</li> <li>・契約金額：6,191,900 円</li> <li>・内 容：歩行者用階段及び自転車用スロープの設置</li> </ul>		

事務事業名 COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	予算現額	73,049,000 円
	決算額	70,513,998 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	2,535,002 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.134)	前年度決算額	18,960,525 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>ところざわサクラタウンを拠点施設とする、半径約 500m 圏内を重点推進エリアとした COOL JAPAN FOREST 及びその周辺の交通環境整備を行い、交通の円滑化を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における道路拡幅用地を 466.79 m<sup>2</sup>取得した。</li> </ul>		

事務事業名 市道 4-1386 号線（上藤沢・林・宮寺間新設道路 3 工区）築造事業	予算現額	42,603,000 円
	決算額	27,407,165 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 2 目 3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	15,195,835 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.136)	前年度決算額	11,524,700 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、3 工区については、「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢荻」バス停付近までのうち、所沢市分の約 368mの区間を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における用地を 880.83 m<sup>2</sup>取得した。</li> </ul> <p>○市道 4-1386 号線物件調査積算業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4 者）</li> <li>・委 託 先：サツキエンジニアリング株式会社</li> <li>・委託期間：令和 3 年 6 月 3 日～9 月 3 日</li> <li>・委託金額：1,155,000 円</li> <li>・内 容：物件補償のための調書作成</li> </ul>		

事務事業名 所沢市総合治水対策事業（清柳橋改築事業）	予算現額	378,762,300 円
	決算額	236,865,319 円
所 管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	139,307,383 円
予算区分 款 8 項 2 目 5 説明 01 橋りょう新設改良費	不用額	2,589,598 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.138)	前年度決算額	131,471,839 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市を流域に持つ柳瀬川における今後の浸水被害の軽減を図るために、東川との合流点下流に位置する清柳橋について、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに改築に取り組むものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における用地を 1,453.61 m<sup>2</sup>取得した。</li> </ul> <p>○市道 1-900 号線物件調査積算業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社塩崎テクノブレイン南西部営業所</li> <li>・委託期間：令和 3 年 4 月 21 日～8 月 11 日</li> <li>・委託金額：2,995,300 円</li> <li>・内 容：物件補償のための調書作成</li> </ul> <p>○市道 2-4 号線交差点改良工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（2 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社手島工業</li> <li>・工 期：令和 3 年 9 月 8 日～令和 4 年 3 月 10 日</li> <li>・契約金額：6,981,700 円</li> <li>・内 容：県道所沢青梅線と市道 2-4 号線の交差点における隅切り整備</li> </ul> <p>○清柳橋改築工事（上部工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約方法：一般競争入札（5 者）</li> <li>・契 約 先：洋光建設株式会社</li> <li>・工 期：令和 3 年 6 月 30 日～令和 4 年 12 月 21 日</li> <li>・契約金額：165,000,000 円（令和 3 年度支払額 47,600,000 円）</li> <li>・内 容：清瀬市と所沢市を繋ぐ新しい橋の整備</li> </ul> <p>※本事業については、令和 4 年度へ予算額 73,488,920 円を逐次繰越し、また、予算額 65,818,463 円を繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 北野下富線道路築造事業	予算現額	757,970,000 円
	決算額	598,887,681 円
所 管 建設部計画道路整備課	翌年度繰越額	121,000,000 円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 03 北野下富線道路築造費	不用額	38,082,319 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.140)	前年度決算額	278,538,681 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>幹線道路の環状型ネットワークにより交通渋滞の緩和を図るため、国道 463 号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までの延長 5,500m の道路を築造するものであり、これまでに小手指ヶ原交差点から岩岡町交差点までと、ラーク所沢前の市道 3-5 号線から下富駿河台交差点までの延長 4,672m の区間が開通している。今後は、延長 470m (1 工区) の区間と、延長 358m (4 工区) の区間について整備を行い、早期の全線開通を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松葉道北岩岡線から市道 3-5 号線までの延長 470m (1 工区) について、用地取得を行うとともに、延長 281m の道路築造工事を実施した。</li> <li>・主要地方道所沢狭山線から松葉道北岩岡線までの延長 358m (4 工区) について、道路詳細設計を実施した。</li> </ul> <p>○用地取得に係る不動産鑑定、物件調査積算業務委託及び登記委託を行った。</p> <p>※4 工区の道路詳細設計については、予算額 121,000,000 円を令和 4 年度へ繰越明許し、引き続き実施する。</p>		

事務事業名 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	予算現額	10,450,000 円
	決算額	9,900,000 円
所 管 建設部計画道路整備課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 04 所沢駅ふれあい通り線道路築造費	不用額	550,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.142)	前年度決算額	0 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>主要地方道東京所沢線から所沢駅東口中央通りくすのき台交差点までの延長 780m の道路で、鉄道により分断されている所沢駅東西地区を道路の立体交差により一体化させ、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消を図るものである。市道 1-525 号線 (通称:大踏切通り) の西側は、街づくり計画部において都市基盤の整備を行い、市道 1-525 号線からくすのき台交差点までの区間を建設部において整備する。「所沢駅西口土地区画整理事業」と「所沢駅ふれあい通り線道路築造事業 (1 工区)」の進捗を鑑みて、本事業についても建設を進め、街づくり計画部が整備する区間との同時開通を目指すものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 1-525 号線からくすのき台交差点までの延長 260m の区間について、測量及び道路詳細設計を実施した。</li> </ul>		

事務事業名 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	予算現額	476,809,100 円
	決算額	476,267,499 円
所 管 建設部公園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 3 説明 02 公園費	不用額	541,601 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.146)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>北秋津・上安松地区は、所沢市みどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられている。本地区では、土地区画整理事業を基本とした、まちづくり事業が行われており、地区内には柳瀬川段丘崖の斜面林や、平地林のまとまりのある貴重なみどりが存在している。</p> <p>本事業は、これらのみどりを保全するため、令和 2 年度に都市緑地として都市計画決定した用地を取得するとともに、みどりの保全及び管理を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○北秋津・上安松地区都市緑地管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（7 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社田中造園</li> <li>・委託期間：令和 4 年 1 月 27 日～3 月 31 日</li> <li>・委託金額：9,460,000 円</li> <li>・内 容：都市緑地の樹木剪定及び除草</li> </ul> <p>○用地取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3,222.12 m<sup>2</sup></li> <li>（用地取得率：24.3%）</li> </ul>		

事務事業名 所沢カルチャーパーク築造事業	予算現額	222,001,000 円
	決算額	219,906,709 円
所 管 建設部公園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 3 説明 03 所沢カルチャーパーク建設費	不用額	2,094,291 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.147)	前年度決算額	124,252,542 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢カルチャーパークは、武蔵野の雑木林の保全・活用を図り、市民が身近な自然とふれあう場となる「自然環境保全型の総合公園」として整備をしている。令和 3 年度は複合遊具の設置や園路、駐車場等の整備を行うものである。</p> <p>さらに、本事業を実施することで、ところざわサクラタウンや東川散策、所沢カルチャーパーク、航空公園への回遊性を高め、所沢の魅力増進につなげる。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢カルチャーパーク築山遊具等設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社植清園</li> <li>・工 期：令和 3 年 9 月 16 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・契約金額：78,100,000 円</li> <li>・内 容：築山に複合遊具等を設置</li> </ul> <p>○所沢カルチャーパーク駐車場整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社田中造園</li> <li>・工 期：令和 3 年 9 月 27 日～令和 4 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：15,786,100 円</li> <li>・内 容：第 2 駐車場の整備</li> </ul> <p>○所沢カルチャーパーク園路広場整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4 者）</li> <li>・契 約 先：株式会社榎本造園</li> <li>・工 期：令和 3 年 11 月 4 日～令和 4 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：41,383,100 円</li> <li>・内 容：園路・芝生広場の整備</li> </ul> <p>○用地取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3,592.00 m<sup>2</sup></li> </ul>		

事務事業名 所沢市洪水ハザードマップ更新事業	予算現額	4,986,000 円
	決算額	4,929,100 円
所 管 建設部河川課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 3 目 1 説明 02 河川維持管理費	不用額	56,900 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.149)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>令和 2 年 5 月、埼玉県において、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示した洪水浸水想定区域等が公表された。</p> <p>本市においても、市民への情報周知などの必要な措置を講ずるため、平成 13 年に作成した洪水ハザードマップについて、県から示された洪水浸水想定区域を受けた内容に見直し、市民に周知するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページでの洪水ハザードマップの情報を更新した。</li> <li>・所沢市地理情報システム（公開型 G I S）で洪水ハザードマップを確認できるようになった。</li> </ul> <p>○所沢市洪水ハザードマップ更新業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（4 者）</li> <li>・委 託 先：株式会社中央ジオマチックス</li> <li>・委託期間：令和 3 年 5 月 20 日～12 月 17 日</li> <li>・委託金額：4,159,100 円</li> <li>・内 容：洪水ハザードマップの作成</li> </ul> <p>○地理空間情報システム（公開型 G I S）調整業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：アジア航測株式会社</li> <li>・委託期間：令和 4 年 2 月 25 日～3 月 25 日</li> <li>・委託金額：770,000 円</li> <li>・内 容：地理情報システムへのセットアップ</li> </ul>		





## 出 納 室

---

- (1) 予算の執行手続が法令等に基づき適正に行われているか厳正に審査するとともに、確実な収入及び支出に取り組んだ。収入伝票は 33,908 件、支出伝票は 135,636 件であった。
- (2) 歳計現金、歳入歳出外現金、基金の保管及び運用に当たっては、安全性・流動性の確保、効率性の追求に努めながら行った。
  - ① 市の歳入・歳出（一般会計及び特別会計）に属する「歳計現金」と市の所有に属さない「歳入歳出外現金」（預り金）は、主に日々の支払に充てる支払準備金として保管している。指定金融機関の普通預金で保管し、支払の金額や時期を考慮して、資金に余裕がある期間については定期預金による運用を行った。運用利息は、普通預金が 111,657 円、定期預金が 23,561 円の合計 135,218 円となった。
  - ② 基金は、特定の目的のためにあらかじめ資金を積み立てておくもので、貸付を目的とした基金を除き、指定金融機関の普通預金の取りまとめ口座に保管し、基金の取崩しや支払準備金の不足による歳計現金への繰り替えを考慮しつつ、定期預金及び債券による運用を行った。運用利息は、普通預金が 27,917 円、定期預金が 3,077,751 円、債券が 7,571,000 円の合計 10,676,668 円となった。
- (3) 埼玉県収入証紙は、埼玉県への許認可申請時や各種試験の受験時の手数料として現金に代えて納めるもので、埼玉県から指定売捌き人の指定を受けて販売した。販売枚数は 2,396 枚、売捌収入は 4,420,220 円、売捌手数料は 132,000 円の収入となった。



# 教 育 委 員 会

---

## 教育総務部

### 1 教育総務課

- (1) 市立小中学校と所沢第二幼稚園の環境整備のため、国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策用の消耗品や備品を購入した。
- (2) コロナ禍の影響で中止・延期になった小中学校の修学旅行及び林間学校のキャンセル料等について、保護者負担が生じることのないように、キャンセル料相当額等を学校に支給した。
- (3) 小中学校の就学援助事業として、経済的理由により就学が困難な世帯へ学用品費等を支給し、保護者への支援を進めた。

### 2 教育施設課

- (1) 良好な教育環境の確保のため、「学校トイレ改修事業」として、小学校 5 校、中学校 1 校について、洋式化、バリアフリー対策及び給排水設備の改修工事を実施した。  
また、次年度以降の工事に向けて、校舎（小学校 1 校、中学校 1 校）及び屋内運動場（小学校 8 校、中学校 4 校）の設計業務委託を実施した。
- (2) 災害防止の観点から、より安全性を高めるために令和 2 年度から継続事業で行ってきた山口中学校既存擁壁改修工事を完了した。  
令和 3 年度については、主に屋内運動場南側及び北側擁壁本体工事を実施した。
- (3) 「所沢市公共施設長寿命化計画」の「短期予防保全計画」に基づき、小学校において、牛沼小学校外壁改修工事、中学校において、所沢中学校受変電設備改修工事ほか 1 件の改修工事を実施した。

### 3 社会教育課

- (1) 家庭における教育力向上のため、家庭教育推進事業を実施し保護者の学習活動を支援した。実施内容としては、小中学校区の運営委員会に委託して家庭教育学級を開催するとともに、記録集「学習の

あしあと」を発行した。

また、家庭教育啓発リーフレット（小学校編・中学校編）を発行し、就学時健診等の機会を利用して子育て講座を実施した。

(2) 第 32 回所沢こどもルネサンスの開催・支援等により、青少年の様々な体験活動の充実に取り組んだ。こども文学のひろば、まんが・イラストコンクール、トコトコタウン、おはなしのひろば等の事業を開催し、5,022 人が参加した。

(3) 講座、研修会等の開催及び人権啓発品の配布等により、人権教育の推進を図った。主催事業として、家庭教育学級人権教育合同講座を公民館（4 会場）で開催し、171 人が参加した。また、人権教育ブロック別研修会を公民館（4 会場）で開催し、122 人が参加した。

その他、所沢市人権教育推進協議会に交付金を交付するとともに、連携して人権教育事業を実施した。人権啓発 D V D の貸出を行い、小中学校の教員・生徒、社会教育関係団体など延べ 1,859 人が視聴した。

#### 4 スポーツ振興課

(1) 新たな事業として、所沢航空記念公園運動場を会場に、人工芝の上でモルックやペタンクなどのユニバーサルスポーツを含む 5 種目を親子で体験する「親子スポーツフェア」を開催し、117 人の親子が参加した。

(2) 「トコロんウォーク」は、所沢航空記念公園からところざわサクラタウンへ至る新たなコースで開催した。541 人が参加し、大変好評を得た。

(3) 令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民プールの開場中止、所沢シティマラソン大会を中止した。

(4) 市独自の健康体操「とこしゃん体操」については、とこしゃんまつりは開催を見送った。健康体操教室、指導者養成講座、親子手打ち野球&ティーボール教室等のスポーツ教室は、感染防止策を講じて開催した。

(5) 体育施設に関しては、総合運動場の夜間照明灯を L E D 照明に改修し、利用者の利便性の向上と C O<sub>2</sub> 排出量の削減に努めた。この改修費用の一部は、スポーツ振興くじ助成金を利用した。

- (6) 経年劣化で雨漏りが発生していた富岡地区体育館の屋根及び外壁を改修し、市民が安全で快適にスポーツを行える体育施設の提供に努めた。

## 5 文化財保護課

- (1) 所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針策定のため、策定委員会や市内検討調整会議を開催して検討を進めた。また、令和2年度に開催を見合わせた「第14回伝統芸能発表会」を開催した。
- (2) ふるさと研究講座探究編クローズアップ所沢「ふるさとの音を訪ねて」や冬季企画展「ところざわ繁盛記～町場のくらし展～」など、「ふるさと所沢」への関心を深めるための事業を実施した。
- (3) 埋蔵文化財保護のため、開発行為等を原因とする確認調査と記録保存の発掘調査（4件）を行った。また、土地区画整理事業に伴い、北秋津・上安松地区で確認調査と発掘調査（1件）、若松町地区、下安松東地区、上安松・下安松西地区、三ヶ島工業団地周辺地区で確認調査を実施した。また、体験事業として、小中学生を対象とした「埋文教室」を開催した。

## 6 生涯学習推進センター

- (1) 市民大学においては、コロナ禍で延期していた第28期1年次が開講し、計24回の講義を受講した。また、第27期2年次が前年度に引き続き計5回の活動を行い修了した。その他の学習講座は、学習活動デビュー講座、官学連携講座「いきいき健康講座」「高齢者の健康講座」、日商簿記3級試験対策講座、子ども講座・体験型理科教室「発電って何だ?」、書初め練習会を実施した。

また、新たに公民館と共催で「子育て講座」や「家族と命を守る防災・減災講座」を実施し、地域を拠点に生涯学習を推進した。

- (2) 生涯学習情報紙「翔びたつひろば」においては、市民のふるさと所沢への愛着が高まるよう、取材で得た情報や所沢の魅力を様々な視点から発信した。

年間発行部数は2,075,630部（月平均発行部数 172,969部）、年間配布部数は2,028,191部（月平均配布部数 169,016部）であった。

## 7 所沢図書館

- (1) 図書資料等収集整備事業として、市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるという公共図書館の役割を果たすため、機能を十分に発揮できる種類と量の資料整備を継続して進めている。
- (2) 所沢図書館分館施設管理運営事業として、平成 24 年度から所沢図書館分館に指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上、経費の節減を図っている。運営及び管理状況については、館長会議や担当者会議の開催、四半期ごとのモニタリング実施により点検を行っている。
- (3) コンビニエンスストア図書等取次事業として、平成 17 年 6 月 1 日から、市と契約したコンビニエンスストア 2 店舗で予約図書等の取り次ぎサービスを開始し、令和 3 年度は 7 店舗でサービスを実施した。貸出期間は配送日から 2 週間、受取期間は 7 日間、配送日の午後から可能。令和 3 年度の貸出点数は 46,510 点、利用者数は 33,299 人である。

## 学校教育部

### 1 学校教育課

- (1) 市立の小中学校及び幼稚園の教育内容の指導、教職員・支援員等の人事事務、教育相談及び就学事務等を実施した。
- (2) 学習支援・学校支援体制については、学習支援員、特別支援教育支援員、心のふれあい相談員等の会計年度任用職員を学校に配置。心身障害児介助員 2 人分の配置枠を拡大し、児童生徒一人一人の実情に応じた指導や学校運営の充実を図った。
- (3) 令和元年度から開始したスクールカウンセラー学校派遣事業は、継続して市費で 4 人を任用した。中学校を中心に必要に応じて小学校にも派遣し、各学校の相談体制の充実を図るとともに、児童生徒が安心して S O S を発することのできる学校指導体制の実現に努めた。
- (4) 部活動指導員 4 人を中学校の運動部活動及び文化部活動にそれぞれ

れ 2 人配置し、部活動の充実と教員の負担軽減を図った。

- (5) 児童が放課後安心して学び、遊べる居場所を提供する放課後支援事業について、昨年度に引き続き 10 校で実施した。
- (6) 平成 23 年度から開始した学力向上推進事業は、令和 2 年度から「学び創造アクティブ P L U S」学力向上推進事業に更新した。子どもたち一人一人が夢を持ち、主体的に学び続けていけるよう、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進し、児童生徒の学力向上を図った。
- (7) 教員が教材研究等授業準備の時間や児童と向き合う時間を増やすため、子どもの学力向上を図る学力向上支援講師配置事業を引き続き実施し、12 人を小中学校に配置した。
- (8) 市内小中学校の全児童生徒に一人一台の端末が配布され、利用可能となっていることから、新たな事業として、「授業目的公衆送信補償金活用事業」を実施し、オンラインにより対面授業と同等の学習を展開することにより、児童生徒の学びの保障を図った。

## 2 保健給食課

- (1) 児童生徒が心身ともに健全な生活を営めるよう、学校保健活動を推進するとともに、学校における新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。
- (2) 学校給食における安全な食材の確保や衛生管理の向上、新型コロナウイルス感染症対策、学校給食施設の設備の改修・整備等を行い、安全な学校給食の運営に努めた。
- (3) 学校給食センター再整備については、実施事業者を選定し、特定事業契約を締結した。

## 3 教育センター

- (1) 教育用インターネット回線整備事業では、G I G A スクール構想で整備した、児童生徒一人一台の学習者用コンピュータをより有効に活用するため、学校から直接インターネットに接続できる回線の整備を進め、令和 3 年 8 月末日までに市内小中学校全校で整備が完了した。
- (2) 教育センター新館外壁改修事業では、景観改善及び雨漏りの解消

といった施設の安全上適切な管理のため、外壁改修を行った。

- (3) 教育相談アドバイザー支援事業では、生命尊重と児童生徒の望ましい教育的対応について、医療・心理・福祉の専門家をアドバイザーとして学校へ派遣し、児童生徒及び児童生徒を支える教職員・保護者への支援を行った。
- (4) G I G Aスクールサポーター導入事業では、文部科学省の示す 4 校に 1 人の割合で、市内で 12 人の G I G A スクールサポーターを導入した。午前もしくは午後を 1 単位として、各学校に週 2 回訪問し、使用マニュアルやルールの作成のほか、教職員がオンラインによる家庭学習を実施する際の支援を行った。



事務事業名 小・中学校修学旅行等のキャンセル料等支援事業	予算現額	11,608,000 円
	決算額	7,263,464 円
所 管 教育総務部教育総務課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 01 小学校運営費 ほか	不用額	4,344,536 円
事業概要 (R3-3 議案第 68～71 号 P.29)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、学校の判断により中止・延期した修学旅行・林間学校のキャンセル料等について、保護者負担が生じることのないように、キャンセル料相当額等を学校に支給するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給校数：小学校 1 校、中学校 12 校</li> <li>・支給額：小学校 53,100 円、中学校 7,210,364 円</li> <li>・成果：キャンセル料を補てんすることで、保護者負担軽減に寄与した。</li> </ul>		

事務事業名 小学校施設整備事業	予算現額	49,984,000 円
	決算額	49,984,000 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費	不用額	0 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.154)	前年度決算額	127,568,000 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○牛沼小学校外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3 者）</li> <li>・契約先：アポロ工業株式会社</li> <li>・工期：令和 3 年 6 月 18 日～10 月 29 日</li> <li>・契約金額：49,984,000 円</li> </ul>		

事務事業名 中学校施設整備事業	予算現額	53,900,000円
	決算額	52,998,000円
所管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 3 目 1 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	902,000円
事業概要 (R3-1 議案第12~21号 P.155)	前年度決算額	80,659,580円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢中学校受変電設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：株式会社橋本電工</li> <li>・工期：令和3年5月21日～9月30日</li> <li>・契約金額：18,590,000円</li> </ul> <p>○東中学校屋内運動場屋根外改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（1者）</li> <li>・契約先：アポロ工業株式会社</li> <li>・工期：令和3年11月5日～令和4年2月28日</li> <li>・契約金額：34,408,000円</li> </ul>		

事務事業名 所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業	予算現額	553,798,000円
	決算額	450,000,700円
所管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 3 目 1 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	103,797,300円
事業概要 (R3-1 議案第12~21号 P.156)	前年度決算額	331,151,100円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>山口中学校の既存擁壁について、災害防止の観点に基づき、より安全性を高めるための改修及び補修工事を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市立山口中学校既存擁壁改修工事(令和2・3年度継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札(3者)      ・契約先：ニシキ建設株式会社</li> <li>・工期：令和2年6月25日～令和4年3月15日</li> <li>・契約金額：685,122,900円(令和3年度支払額361,122,900円)</li> <li>・内容：山口中学校の既存擁壁について、屋内運動場の南側及び北側の既存擁壁を新たな擁壁に改修し、校舎西側擁壁上部の法面の補修を行った。</li> </ul> <p>○所沢市立山口中学校既存擁壁改修(付帯)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約      ・契約先：ニシキ建設株式会社</li> <li>・工期：令和3年11月4日～令和4年3月31日      ・契約金額：88,440,000円</li> <li>・内容：擁壁改修工事並びに令和元年度に完了した擁壁復旧工事の影響範囲である屋内運動場周囲の整備、工事車両の通路として使用した校内通路の補修等を実施した。</li> </ul> <p>○所沢市立山口中学校既存擁壁改修工事に伴う近隣建物影響調査(事前調査)業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約      ・委託先：株式会社ダイヤシティプランニング</li> <li>・委託期間：令和3年12月3日～令和4年1月31日      ・委託金額：437,800円</li> <li>・内容：工事の影響による損傷が発生した場合の補償の必要性を検討するため、新たに建築された家屋の工事前の状態を調査した。</li> </ul>		

事務事業名 公民館施設整備事業		予算現額	204,140,000 円																																						
		決算額	186,554,414 円																																						
所 管	教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	0 円																																						
予算区分	款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	17,585,586 円																																						
事業概要	(R3-1 議案第 12 号～21 号 P157)	前年度決算額	—																																						
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <table border="1"> <tr> <th>工事名</th> <td>富岡公民館非常用発電設備改修工事</td> <td>柳瀬公民館空調設備改修工事</td> <td>柳瀬公民館受変電設備改修工事</td> </tr> <tr> <th>選定方法</th> <td>一般競争入札（3 者）</td> <td>一般競争入札（4 者）</td> <td>一般競争入札（3 者）</td> </tr> <tr> <th>契約先</th> <td>株式会社金山電設</td> <td>株式会社糟谷設備工業所</td> <td>橋電株式会社</td> </tr> <tr> <th>工期</th> <td>令和 3 年 7 月 12 日～令和 4 年 3 月 15 日</td> <td>令和 3 年 6 月 2 日～令和 4 年 2 月 28 日</td> <td>令和 3 年 6 月 14 日～10 月 29 日</td> </tr> <tr> <th>契約金額</th> <td>7,425,000 円</td> <td>141,900,000 円</td> <td>24,958,890 円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>委託名</th> <td>柳瀬公民館空調設備改修工事監理業務委託</td> <td>松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事設計業務委託</td> </tr> <tr> <th>選定方法</th> <td>指名競争入札（4 者）</td> <td>指名競争入札（5 者）</td> </tr> <tr> <th>委託先</th> <td>株式会社総合企画設計 埼玉支店</td> <td>株式会社雙設備研究所</td> </tr> <tr> <th>委託期間</th> <td>令和 3 年 6 月 8 日～令和 4 年 3 月 15 日</td> <td>令和 3 年 5 月 14 日～令和 4 年 3 月 25 日</td> </tr> <tr> <th>委託金額</th> <td>4,708,000 円</td> <td>7,562,524 円</td> </tr> <tr> <th>内 容</th> <td>空調設備改修工事における監理監督業務</td> <td>翌年度の LED 化・空調設備改修工事に向けての設計業務</td> </tr> </table>				工事名	富岡公民館非常用発電設備改修工事	柳瀬公民館空調設備改修工事	柳瀬公民館受変電設備改修工事	選定方法	一般競争入札（3 者）	一般競争入札（4 者）	一般競争入札（3 者）	契約先	株式会社金山電設	株式会社糟谷設備工業所	橋電株式会社	工期	令和 3 年 7 月 12 日～令和 4 年 3 月 15 日	令和 3 年 6 月 2 日～令和 4 年 2 月 28 日	令和 3 年 6 月 14 日～10 月 29 日	契約金額	7,425,000 円	141,900,000 円	24,958,890 円	委託名	柳瀬公民館空調設備改修工事監理業務委託	松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事設計業務委託	選定方法	指名競争入札（4 者）	指名競争入札（5 者）	委託先	株式会社総合企画設計 埼玉支店	株式会社雙設備研究所	委託期間	令和 3 年 6 月 8 日～令和 4 年 3 月 15 日	令和 3 年 5 月 14 日～令和 4 年 3 月 25 日	委託金額	4,708,000 円	7,562,524 円	内 容	空調設備改修工事における監理監督業務	翌年度の LED 化・空調設備改修工事に向けての設計業務
工事名	富岡公民館非常用発電設備改修工事	柳瀬公民館空調設備改修工事	柳瀬公民館受変電設備改修工事																																						
選定方法	一般競争入札（3 者）	一般競争入札（4 者）	一般競争入札（3 者）																																						
契約先	株式会社金山電設	株式会社糟谷設備工業所	橋電株式会社																																						
工期	令和 3 年 7 月 12 日～令和 4 年 3 月 15 日	令和 3 年 6 月 2 日～令和 4 年 2 月 28 日	令和 3 年 6 月 14 日～10 月 29 日																																						
契約金額	7,425,000 円	141,900,000 円	24,958,890 円																																						
委託名	柳瀬公民館空調設備改修工事監理業務委託	松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事設計業務委託																																							
選定方法	指名競争入札（4 者）	指名競争入札（5 者）																																							
委託先	株式会社総合企画設計 埼玉支店	株式会社雙設備研究所																																							
委託期間	令和 3 年 6 月 8 日～令和 4 年 3 月 15 日	令和 3 年 5 月 14 日～令和 4 年 3 月 25 日																																							
委託金額	4,708,000 円	7,562,524 円																																							
内 容	空調設備改修工事における監理監督業務	翌年度の LED 化・空調設備改修工事に向けての設計業務																																							

事務事業名 公民館施設整備事業（並木公民館ホール空調設備改修工事）		予算現額	29,200,000 円
		決算額	11,400,000 円
所 管	教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	17,800,000 円
予算区分	款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	0 円
事業概要	(R3-3 議案第 68 号～71 号 P30)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>ホール客席系統の冷暖房機故障が判明したが、部品の供給が終了し修理が不可能な状態である。そのため、経年劣化が懸念される舞台系統の冷暖房機とともに改修するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○並木公民館ホール空調設備改修工事（令和 3・4 年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（3 者）</li> <li>・契約先：平岩設備工業株式会社</li> <li>・契約期間：令和 3 年 11 月 15 日～令和 4 年 12 月 28 日</li> <li>・契約金額：71,720,000 円（令和 3 年度支払額 11,400,000 円）</li> </ul> <p>※本事業については、予算額 17,800,000 円を令和 4 年度へ遞次繰越し、実施する。</p>			

事務事業名 北中運動場用地貸付事業	予算現額	1,500,000円
	決算額	1,430,000円
所 管 教育総務部スポーツ振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 6 目 2 説明 03 体育施設運営費	不用額	70,000円
事業概要 (R3-1 議案第12号～21号 P.159)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>弓道場利用者は、西新井町にあった所沢市弓道場が閉場してから、射場数の不足により十分な活動ができない状況にあったため、所沢市弓道連盟から自己資金で新たな弓道場を建設する土地について市有地借用の要望があった。</p> <p>弓道については柔道や剣道等とは異なり、射場や的場、防矢ネット等の設備が必要であり、体育館等の屋内運動施設を利用しての活動が困難であるため、北中運動場の敷地の一部を所沢市弓道連盟に有償で弓道場用地として貸付けを行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○北中運動場用地貸付事業に伴う測量分合筆登記業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（3者）</li> <li>・委託先：株式会社原測量</li> <li>・委託期間：令和3年11月22日～令和4年1月31日</li> <li>・委託金額：1,430,000円</li> <li>・内 容：貸付地の測量と分合筆作業及び登記</li> </ul>		

事務事業名 富岡地区体育館屋根及び外壁改修事業	予算現額	80,630,000円
	決算額	78,430,000円
所 管 教育総務部スポーツ振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 6 目 2 説明 03 体育施設運営費	不用額	2,200,000円
事業概要 (R3-1 議案第12号～21号 P.162)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○所沢市富岡地区体育館屋根及び外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札（4者）</li> <li>・契約先：株式会社丸和建设</li> <li>・工 期：令和3年8月4日～令和4年3月31日</li> <li>・契約金額：78,430,000円</li> <li>・内 容：防水改修工事：シーリング打ち替え、高強度ウレタン・ゴムアス複合塗膜防水 外          屋根改修工事：シーリング打ち替え、防水部分と一体の高強度複合塗膜防水 外          外壁改修工事：欠損部タイル全面張替え、ひび割れ補修 外          外部床改修工事：外部床タイル全面張替え、下地・軒裏欠損部・ひび割れ補修 外          塗装改修工事：鋼製建具・雨どい等金属部塗装、軒裏・地下駐車場天井塗装 外          電気工事：屋外照明撤去、LED照明灯新設 外          その他：駐車場出入口部フレキシブルボード撤去・新設 外</li> </ul>		

事務事業名 歴史的建造物整備活用事業	予算現額	1,200,000 円
	決算額	674,009 円
所 管 教育総務部文化財保護課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 4 説明 02 文化財保護費	不用額	525,991 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P. 163)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」の整備及びかつて中心市街地にあった歴史的建造物の保管部材の復元を検討し、その活用を図るものである。歴史文化の情報発信及び様々な活動の展開を通じて、地域の活性化や回遊性の向上を図り、「ふるさと所沢」への愛着と理解を深めることを目的とする。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的を踏まえ、基本方針策定委員の委嘱に当たって年代を絞った公募を行い、20代から70代まで多世代の委員構成とした。</li> <li>・基本方針策定委員会会議及び庁内検討調整会議を各3回、ワーキンググループ会議を2回実施した。</li> <li>・「秋田家住宅」特別公開を令和4年2月13日（日）に実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、計5回（各回20人）の事前申込制として開催し、当日は立寄りも含め延べ124人の来場があった。アンケートでは、「貴重な文化財として長く愛される大切な場所として後世に繋げる活動をしていただきたい。」や「昔の所沢のシンボルとして活用してもらいたい。」などの意見もあり、大変好評であった。</li> <li>・銀座通りに面して文化財説明板を設置し、銀座通りを通行する人々にも「秋田家住宅」の周知を図った。また、説明板には市ホームページのQRコードも記しており、ホームページで発信した最新情報を、説明板からも確認できるようにした。</li> </ul>		


事務事業名 スクールカウンセラー学校派遣事業	予算現額	15,084,000 円									
	決算額	15,022,034 円									
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0 円									
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	61,966 円									
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P. 165)	前年度決算額	14,328,036 円									
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>心理学系の大学院の修士課程を修了した者をスクールカウンセラーとして市費にて4人任用し、各学校に出向き、直接学校において相談業務を行うことで、子どもの発するSOSをよりの確に受け止め、問題の未然防止、早期発見、早期対応の体制を一層充実させるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○市任用の心理士や県スクールカウンセラー及び相談員と連携し、配置校での相談対応を行った。目標を上回る相談対応を行い、児童生徒が抱える様々な課題に対応することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応件数：7,894件</li> <li>・学校への派遣回数：599回</li> <li>・教室巡回の回数：2,995回</li> </ul>											
<p>相談対応件数（延べ対応人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3800</td> <td>4437</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>5000</td> <td>7894</td> </tr> </tbody> </table>			年度	目標件数	実績件数	R2	3800	4437	R3	5000	7894
年度	目標件数	実績件数									
R2	3800	4437									
R3	5000	7894									

事務事業名 「学び創造アクティブ PLUS」 学力向上推進事業	予算現額	2,282,000 円																								
	決算額	2,109,519 円																								
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0 円																								
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	172,481 円																								
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.166)	前年度決算額	578,650 円																								
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>児童生徒の「必要感・達成感」を大切にすること、一人一人に寄り添い「自己肯定感」を高めること、学校・家庭・地域が手をつなぎ、「未来を切り拓く力」を育成することを「行動方針の3つの柱」とし、地域総がかりで児童生徒の学力の向上を図るものである。</p> <p>※学力向上推進事業として平成23年度から開始したもので、3年毎に更新及び名称を変更している。</p>																										
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>・研究委託実施校では、オンラインによる研修や少人数での開催など、感染防止対策を講じながら研究成果を共有した。</p> <p>・児童生徒の「メディアとの付き合い方」「家庭での役割」の取組推進の一環として「ウィークデイチャレンジシート」を活用し、7,276人が参加。その結果を市ホームページで公開した。</p>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">令和3年度 「学び創造アクティブ PLUS」 研究委託</th> </tr> <tr> <th></th> <th>学校クリエイト研究</th> <th>小中連携研修</th> <th>学校アクティブ研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選定方法</td> <td colspan="3">いずれも随意契約</td> </tr> <tr> <td>委託先</td> <td>市内小中学校 5校</td> <td>市内中学校12校 ※当初予定は市内 中学校15校</td> <td>市内小中学校 16校</td> </tr> <tr> <td>委託期間</td> <td>R3.4.12～ R4.3.11</td> <td>R3.4.12～ R4.3.11</td> <td>R3.4.12～ R4.3.11</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>教育力を上げる 先進的な研究</td> <td>小中連携に 関する合同研修</td> <td>授業づくり の研究</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度 「学び創造アクティブ PLUS」 研究委託					学校クリエイト研究	小中連携研修	学校アクティブ研究	選定方法	いずれも随意契約			委託先	市内小中学校 5校	市内中学校12校 ※当初予定は市内 中学校15校	市内小中学校 16校	委託期間	R3.4.12～ R4.3.11	R3.4.12～ R4.3.11	R3.4.12～ R4.3.11	内容	教育力を上げる 先進的な研究	小中連携に 関する合同研修	授業づくり の研究
令和3年度 「学び創造アクティブ PLUS」 研究委託																										
	学校クリエイト研究	小中連携研修	学校アクティブ研究																							
選定方法	いずれも随意契約																									
委託先	市内小中学校 5校	市内中学校12校 ※当初予定は市内 中学校15校	市内小中学校 16校																							
委託期間	R3.4.12～ R4.3.11	R3.4.12～ R4.3.11	R3.4.12～ R4.3.11																							
内容	教育力を上げる 先進的な研究	小中連携に 関する合同研修	授業づくり の研究																							

事務事業名 授業目的公衆送信補償金活用事業	予算現額	1,848,000 円
	決算額	1,829,863 円
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02	不用額	18,137 円
事業概要 (R3-3 議案第 68～71 号 P.32)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本市においては、GIGAスクール構想によりICT機器の整備が進み、現在では市内小中学校の全児童生徒に一人一台の端末が配布され、利用可能となっている。</p> <p>本事業は、家庭等におけるオンライン学習等の実施に際し、著作権法に定める補償金を指定管理団体（サートラス）に支払うことで学校が安心して著作物を使用でき、あわせてオンラインにより対面授業と同等の学習を展開することにより、児童生徒の学びの保障を図るものである。</p>		
<p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>・対象校：市内全小・中学校 47 校</p> <p>・補償額：年額、小学校児童 1 人当たり 120 円、中学校生徒 1 人当たり 180 円</p> <p>※特別支援学級の児童生徒は半額</p> <p>・期 間：令和3年10月1日～令和4年3月31日</p> <p>・対象数：児童数 16,162 人、生徒数 7,885 人</p> <p>※令和3年度は、補償金額の半年分を支払った。</p>		



事務事業名 教育用インターネット回線整備事業	予算現額	37,126,000 円
	決算額	33,723,931 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	3,402,069 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.170)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、G I G Aスクール構想により整備された学習者用コンピュータを有効に活用することを目的に、各学校から直接インターネットに接続するための通信回線を整備するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>この整備により、これまで台数や使用日を制限して使用していた学習者用コンピュータが、各学校の状況に応じて使用できるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購 入 機 器：ルーター50 台、ルーター用負荷分散装置 2 台</li> <li>・通信回線整備：市内全小・中学校 47 校及び教育センター</li> </ul>		

事務事業名 教育センター新館外壁改修事業	予算現額	29,139,000 円
	決算額	24,200,000 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	4,939,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号~21 号 P.175)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適切な管理を図るものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>計画どおり工事を実施し、景観の改善及び雨漏りの解消といった施設の安全上適切な管理を図ることができた。</p> <p>○所沢市立教育センター新館外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：一般競争入札 (2 者)</li> <li>・契 約 先：株式会社丸亜塗装工業</li> <li>・工 期：令和 3 年 11 月 5 日~令和 4 年 3 月 15 日</li> <li>・契約金額：24,200,000 円</li> </ul>		
		

事務事業名 教育相談アドバイザー支援事業	予算現額	400,000 円
	決算額	225,000 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	175,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12 号～21 号 P.176)	前年度決算額	315,000 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、複雑ないじめ問題や自殺防止など、本市の児童生徒の抱える課題解決のため、教育相談アドバイザーを設置し、心理・福祉・医療の三分野の専門的な見地から、学校へ指導、助言及び教育的対応を支援するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員がアドバイザーから児童生徒の見取り方について学ぶことができ、一人一人に応じた支援を行うことができるようになった。</li> <li>・教職員の児童生徒への指導・助言や支援が改善され、児童生徒の学習活動にも変化が見られた。</li> <li>・アドバイザーから支援を受けた内容を、担任だけでなく、学年や教職員全員で共有したことにより、校内の教育相談体制の見直しとともに、組織的な対応ができるようになった。</li> </ul> <p>【支援実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支 援 校：9 校（小学校 6 校、中学校 3 校）</li> <li>・実施回数：14 回（心理 11 回、福祉 0 回、医療 3 回）</li> </ul>		

事務事業名 G I G A スクールサポーター導入事業	予算現額	44,550,000 円
	決算額	43,670,000 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	880,000 円
事業概要 (R3-3 議案第 67 号 P.8)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、I C T インフラの有効活用や教職員の負荷軽減を図るため、I C T 環境整備等の知見を有する G I G A スクールサポーターを各学校へ配置し、学校における I C T 環境の設計等の支援を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の示す 4 校に 1 人の割合で、12 人の G I G A スクールサポーターを導入</li> <li>・午前又は午後を 1 単位として各学校に週 2 回訪問</li> <li>・教職員の I C T 機器導入初期における負担軽減や I C T 活用能力の向上が図られたとともに、新型コロナウイルス感染症による臨時休業期間において、オンライン学習を円滑に行うこともできるようになった。</li> </ul> <p>○G I G A スクールサポーター業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（8 者）</li> <li>・委 託 先：東日本電信電話株式会社 埼玉事業部</li> <li>・委託期間：令和 3 年 9 月 16 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：43,670,000 円</li> <li>・内 容：使用マニュアルやルールの作成のほか、教職員がオンラインによる家庭学習を実施する際の支援を行った。</li> </ul>		



## 議 会 事 務 局

---

- (1) 令和3年度中の議会は、定例会を4回開催した。

6月定例会では、新所沢パルコの営業終了に伴う影響が懸念される、新所沢駅周辺の今後のまちづくりを調査・研究するため、「新所沢駅周辺まちづくり特別委員会」を設置し、商業振興や都市計画、公共交通ネットワーク、公民連携等について審査を開始した。

- (2) 令和2年6月定例会に設置した「議会改革に関する特別委員会」では、議会改革に関する協議を重ね、所沢市議会議員政治倫理条例の見直しをはじめ、所沢市議会災害等対応マニュアル・議会機能継続計画（BCP）の策定を行うとともに、更なる開かれた議会を目指すため、所沢市議会基本条例の一部改正案を取りまとめ、令和4年3月をもってすべての審査を終了し、廃止された。

- (3) 議会活動や審議内容、審議結果等について、多くの市民に分かりやすくお知らせするため、市議会だよりの配布方法を新聞折り込みからポスティングによる全戸配布に変更した。また、視覚障害者用のデージー版や点字版の作成、インターネットやSNSを活用した情報提供の充実に努めるなど、市議会の情報発信を行った（市議会ホームページアクセス件数1,065,104件、インターネット議会中継アクセス件数11,665件）。

- (4) 5月に開催した「議会報告会」は、新型コロナウイルス感染防止対策としてオンラインで開催するとともに、市議会からの情報やメッセージを幅広く伝えるため、令和2年度に開設した「所沢市議会公式YouTubeチャンネル」を活用したライブ中継、録画配信を行った。また、11月には、2年ぶりに対面式による議会報告会を開催し、参加者と活発な意見交換を行った。

令和4年2月に開催した「政策討論会」は、「コロナ禍の子どもたち～教育と福祉の垣根を越えて～」をテーマとして、パネリストに市内の高校生や関係団体を迎え、活発な意見交換を行うとともに、公式YouTubeチャンネルで録画配信を行った。

- (5) 議員研修会は、4月12日に「税と社会保障改革が地方行政に及ぼす影響について」（講師：慶應義塾大学教授 井手英策氏）、4月19日に「感染症対策に必要な感染症の基礎知識」（講師：防衛医科大学校教授 角田正史氏）、10月22日に「ごみ有料化について」（講師：東洋大学名誉教授 山谷修作氏）、11月5日に「見える化と人間力による～交通まちづくりの取組～」(講師：イーグルバス株式会社代表取締役社長 谷島賢氏)をそれぞれ開催した。

## 選挙管理委員会事務局

---

- (1) 選挙管理委員会の職務の円滑な遂行のために、通年で事務補助を行った。
- (2) 市民へ選挙制度を正しく理解していただき、自らが進んで投票に参加し、選挙が適正に行われるよう啓発事業に取り組んだ。
  - ① 明るい選挙推進協議会との協働により明るい選挙啓発ポスターコンクールを開催し、市内の小中学校及び高校より 1,170 点の作品が寄せられたほか、満 18 歳を迎えた新有権者へバースデーカードを送付して、選挙権を得たことを意識付けさせるなど、若年層への選挙啓発を図った。
  - ② リーフレットの配布やホームページを活用して政治活動のルールを周知した。また、選挙執行時に全戸配布している「選挙のお知らせ」に選挙運動のルールを掲載し、違反のない公正・公平な選挙が行われるよう周知を図った。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策下での初めての選挙となった第 49 回衆議院議員総選挙（令和 3 年 10 月 31 日執行）においては、感染症対策を含め準備を計画的に進め、特に混乱もなく適正に選挙を執行した。



## 監 査 事 務 局

---

- (1) 監査委員が公正公平かつ効率的に監査等を執行できるよう、通年でその補助事務を適正に行った。
- (2) 監査計画に則り、監査委員に毎年度実施が義務付けられている監査等を行った。
  - ① 一般・各特別会計及び各企業会計(水道・下水道・病院)に係る例月現金出納検査を実施した。
  - ② 一般・各特別会計及び各企業会計に係る決算審査(1件の土地と2件の物品の公有財産調査、各企業会計の貯蔵品実査を含む。)及び定額基金に係る基金運用状況審査を実施した。
  - ③ 健全化判断比率及び資金不足比率並びにそれらの算定の基礎となる書類を対象として、健全化判断比率及び資金不足比率の審査を実施した。
  - ④ 定期・行政監査においては、9部局の物品等調査、施設調査及び説明聴取を実施した。また、12校の学校監査及び「所沢市立山口中学校既存擁壁改修工事」を対象として工事監査を実施した。
- (3) その他、監査委員が必要と認めた次の監査を行った。
  - ① 「公用車の使用・管理・安全対策について」をテーマとして行政監査を実施した。
  - ② 「公益財団法人埼玉YMCA」、「所沢商店街連合会」を対象団体とした財政援助団体等監査を実施した。



## 農業委員会事務局

---

- (1) 4月13日に通常総会を開催し、委員会活動の基本方針や事業計画を決定した。さらに、国や市に対して農業施策に関する要望を提出した。
- (2) 月例総会を開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用に係る許可申請の審議並びに届出等の報告を行った。
  - ① 農地法第3条に基づく農地の権利移動許可を33件、90,908㎡の農地について行った。
  - ② 農地法第4条に基づく転用許可の審議を8件、2,953㎡の農地について行った。
  - ③ 農地法第5条に基づく農地の権利移動及び転用許可の審議を34件、22,589㎡の農地について行った。
- (3) 農地利用状況調査を7月下旬から8月上旬まで実施し、1,022,168㎡の農地を調査した。農地が適正管理されていない場合は指導等を行い、約81.5%に当たる833,271㎡が適正管理された。
- (4) 農業委員会情報紙「農委だより」を年2回、各3,700部発行し、農業委員会の業務や農業情報を市内農家者に発信した。
- (5) 農地法第52条の2に基づき農地基本台帳情報整備事業を実施し、一筆ごとの農地情報を整理した。
- (6) 農業者年金加入推進事業を実施し、農委だよりによる加入案内記事の掲載、委員の戸別訪問などにより、5人が新規に加入した。
- (7) 農地の出し手と受け手を取り次ぐ所沢市農地サポート事業を実施した。その結果、9件の貸借契約及び1件の売買契約が成立し、60,593.25㎡の農地を流動化した。

事務事業名 農地情報タブレット端末整備事業	予算現額	240,000 円
	決算額	0 円
所 管 農業委員会事務局	翌年度繰越額	240,000 円
予算区分 款 6 項 1 目 1 説明 02 農業委員会事務費	不用額	0 円
事業概要 (R4-1 議案第 1 号～7 号 P.43)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>農地利用状況調査等において、農地情報や農地の出し手・受け手の意向を確認次第、国の情報公開システムへの情報更新を行うことで、農地の集積・集約化及び業務の電子化による効率化を図ることを目的に、タブレット端末を導入するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>導入を予定していたタブレット端末 6 台について、納品の遅れがあったことから、予算額 240,000 円を令和 4 年度に繰り越した。</p>		



# 特 別 会 計



## 令和3年度所沢市交通災害共済特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
共済会費取	31,188,000	△ 8,793,000	0	22,395,000	22,401,450	6,450	100.0%
繰入金	0	0	0	0	0	0	-
繰越金	1,000	26,553,000	0	26,554,000	26,554,532	532	100.0%
諸収入	11,000	0	0	11,000	6,194	△ 4,806	56.3%
歳入合計	31,200,000	17,760,000	0	48,960,000	48,962,176	2,176	100.0%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
事務費	7,200,000	0	0	0	7,200,000	6,188,570	0	1,011,430	86.0%
事業費	24,000,000	17,760,000	0	0	41,760,000	9,580,000	0	32,180,000	22.9%
歳出合計	31,200,000	17,760,000	0	0	48,960,000	15,768,570	0	33,191,430	32.2%

## 交通災害共済特別会計

---

歳入は、予算現額 4,896 万円に対し、収入済額 4,896 万 2,176 円、収入率は 100%であった。

歳出は、予算現額 4,896 万円に対し、支出済額 1,576 万 8,570 円、執行率は 32.2%であった。

歳入歳出差引き 3,319 万 3,606 円の繰越しとなった。

## 市民部

---

### 防犯交通安全課

交通災害共済事業については、加入者相互扶助の共済制度であり交通事故に遭った会員に対して、見舞金を支給した。

- ① 市民の 11.6%に当たる、40,039 人の方の加入があった。
- ② 障害の程度に応じて 10,000 円から 300,000 円の見舞金を、合計件数 184 件、合計金額 9,580,000 円を支給した。

令和3年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
事業収入	0	0	0	0	212,772	212,772	0.0%
繰入金	214,999,000	1,031,000	0	216,030,000	216,030,000	0	100.0%
繰越金	2,000,000	0	697,271,186	699,271,186	699,450,440	179,254	100.0%
諸収入	1,000	0	0	1,000	1,231	231	123.1%
市債	0	0	900,000	900,000	0	△ 900,000	0.0%
歳入合計	217,000,000	1,031,000	698,171,186	916,202,186	915,694,443	△ 507,743	99.9%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
狭山ヶ丘土地区画整理事業費	217,000,000	1,031,000	698,171,186	0	916,202,186	206,119,165	710,083,021	0	22.5%
歳出合計	217,000,000	1,031,000	698,171,186	0	916,202,186	206,119,165	710,083,021	0	22.5%

## 狭山ヶ丘区画整理特別会計

---

歳入は、予算現額 9 億 1,620 万 2,186 円に対し、収入済額 9 億 1,569 万 4,443 円、収入率は 99.9%であった。

歳出は、予算現額 9 億 1,620 万 2,186 円に対し、支出済額 2 億 611 万 9,165 円、執行率は 22.5%であった。

歳入歳出差引き 7 億 957 万 5,278 円の繰越しとなった。

## 街づくり計画部

---

狭山ヶ丘区画整理事務所

狭山ヶ丘土地区画整理事業については事業期間である令和 10 年度完成を目指し、事業を進めている。

総事業費は 153 億 9,300 万円であり、令和 3 年度末現在の事業全体の進捗率は、85.4%（支出累計額 131 億 4,148 万 1,247 円）となった。

令和3年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
事業収入	101,619,000	△ 86,938,000	0	14,681,000	14,681,920	920	100.0%
国庫支出金	302,500,000	13,533,000	466,323,000	782,356,000	560,385,000	△ 221,971,000	71.6%
繰入金	198,781,000	41,105,000	0	239,886,000	239,886,000	0	100.0%
繰越金	0	0	273,938,998	273,938,998	274,711,664	772,666	100.3%
諸収入	0	0	0	0	0	0	0.0%
市債	483,100,000	△ 124,700,000	537,900,000	896,300,000	692,400,000	△ 203,900,000	77.3%
歳入合計	1,086,000,000	△ 157,000,000	1,278,161,998	2,207,161,998	1,782,064,584	△ 425,097,414	80.7%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
所沢駅西口土地区画整理事業費	1,086,000,000	△ 157,000,000	1,278,161,998	0	2,207,161,998	1,637,231,182	569,930,816	0	74.2%
歳出合計	1,086,000,000	△ 157,000,000	1,278,161,998	0	2,207,161,998	1,637,231,182	569,930,816	0	74.2%

## 所沢駅西口区画整理特別会計

---

歳入は、予算現額 22 億 716 万 1,998 円に対し、収入済額 17 億 8,206 万 4,584 円、収入率は 80.7%であった。

歳出は、予算現額 22 億 716 万 1,998 円に対し、支出済額 16 億 3,723 万 1,182 円、執行率は 74.2%であった。

歳入歳出差引き 1 億 4,483 万 3,402 円の繰越しとなった。

## 街づくり計画部

---

所沢駅西口区画整理事務所

所沢駅西口土地区画整理事業として、既存の水道管や下水管の切り直し工事、道路や宅地の整備、移転補償契約の締結等を行っている。

総事業費は 110 億 8,200 万円となった。

令和 3 年度末現在の事業全体の進捗率は 57.3%（支出累計額 63 億 4,693 万円）となった。



事務事業名 所沢駅西口土地区画整理事業	予算現額	2,207,161,998円
	決算額	1,637,231,182円
所管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	569,930,816円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 給与費 ほか	不用額	0円
事業概要 (R3-1 議案第12~21号 P.177) (R4-1 議案第1~7号 P.48)	前年度決算額	1,308,305,136円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢駅西口土地区画整理事業については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業との一体的施行を行う等、賑わいと良好な住環境が両立する都市基盤の整備を進めている。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民説明会（7回） 令和3年4月11日、5月9日、6月13日、7月24日、8月1日、9月1日 令和4年1月15日</li> <li>○街づくりだより（3回） 令和3年7月、9月、令和4年3月</li> <li>○所沢駅西口土地区画整理審議会開催 1回、土地区画整理評価員会議 1回</li> <li>○委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量委託 1件（街区画地確定測量業務）</li> <li>・物件調査委託 5件（建物等の調査及び積算業務、建物等の再積算業務、建物等の事前調査業務）</li> <li>・設計委託 2件（下水管施設詳細設計業務、下水管施設修正設計業務）</li> <li>・その他委託 2件（事業地内保全業務、仮換地指定通知書等作成業務）</li> </ul> </li> <li>※うち物件調査委託1件と設計委託1件は、令和4年度へ逡次繰越し、実施する。</li> <li>○工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路新設工事 2件（道路整備工事、電線共同溝整備工事）</li> <li>・下水道新設工事 2件（下水道管布設工事、貯留浸透施設整備工事）</li> </ul> </li> <li>○補償 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物件移転等補償 43件 ※うち、8件は令和4年度へ逡次繰越し、実施する。</li> </ul> </li> <li>○保留地処分 1件</li> </ul>		



## 令和3年度所沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
国民健康保険税	7,043,763,000	285,780,000		7,329,543,000	7,517,196,171	187,653,171	102.6%
国庫支出金	1,000	16,799,000		16,800,000	17,329,000	529,000	103.1%
県支出金	21,620,536,000	426,664,000		22,047,200,000	21,731,747,411	△ 315,452,589	98.6%
財産収入	2,000	526,000		528,000	523,314	△ 4,686	99.1%
繰入金	2,524,322,000	△ 248,507,000		2,275,815,000	2,227,160,567	△ 48,654,433	97.9%
繰越金	1,000	631,517,000		631,518,000	631,517,649	△ 351	100.0%
諸収入	86,375,000	0		86,375,000	188,498,884	102,123,884	218.2%
歳入合計	31,275,000,000	1,112,779,000	0	32,387,779,000	32,313,972,996	△ 73,806,004	99.8%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	261,540,000	△ 7,632,000			253,908,000	228,799,917	0	25,108,083	90.1%
保険給付費	21,382,344,000	480,227,000			21,862,571,000	21,339,424,327	0	523,146,673	97.6%
国保事業費納付金	9,110,427,000	0			9,110,427,000	9,110,424,785	0	2,215	100.0%
共同事業拠出金	3,000	3,000			6,000	508	0	5,492	8.5%
保健事業費	458,182,000	△ 84,568,000			373,614,000	319,910,324	0	53,703,676	85.6%
基金積立金	2,000	632,043,000			632,045,000	632,040,935	0	4,065	100.0%
諸支出金	52,502,000	92,706,000			145,208,000	136,410,147	0	8,797,853	93.9%
予備費	10,000,000	0			10,000,000	0	0	10,000,000	0.0%
歳出合計	31,275,000,000	1,112,779,000	0	0	32,387,779,000	31,767,010,943	0	620,768,057	98.1%

## 国民健康保険特別会計

---

歳入は、予算現額 323 億 8,777 万 9 千円に対し、収入済額 323 億 1,397 万 2,996 円、収入率は 99.8%であった。

歳出は、予算現額 323 億 8,777 万 9 千円に対し、支出済額 317 億 6,701 万 943 円、執行率は 98.1%であった。

歳入歳出差引き 5 億 4,696 万 2,053 円の繰越しとなった。

## 財務部

---

### 収税課

- (1) 国民健康保険特別会計における徴収実績について、滞納整理に係る方針や目標収納率等を定めた所沢市収納率向上計画に基づき、未整理事案の解決を中心とした滞納整理を行い、収入未済額の圧縮に努めた。

結果として、国民健康保険税の収納率は、前年度と比較して 3.26 ポイント上昇し、88.98% となった。

- (2) 収納管理事務等の委託化により、滞納整理担当職員を確保し、きめ細やかな滞納整理業務を遂行することで、国民健康保険税の早期収納、収入額の増加及び収納率の向上に努めた。

## 健康推進部

---

### 国民健康保険課

- (1) 埼玉県モデル事業として平成 26 年度から開始された糖尿病性腎症重症化予防プログラムに引き続き参加した。内容は、糖尿病性腎症のハイリスク者に対して保健指導等を行い、人工透析への移行を防ぎ、被保険者の病状維持及び改善を図るとともに、医療費の抑制を図ると

いうものである。

- (2) 医療費適正化について、ジェネリック医薬品の利用促進を引き続き行ったが、数量シェアで見ると、令和4年3月診療分で78.6%となっており、昨年同時期と比べ0.4ポイント減少した。

また、平成29年度から、所沢市医師会・所沢市薬剤師会と連携し、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推進とともに、服薬の適正化事業に取り組んでいるが、令和3年度についても、ポリファーマシー（多剤併用）に着目したお薬相談事業を実施した。

事務事業名 トコトコ健幸マイレージ事業	予算現額	9,638,000 円
	決算額	9,019,581 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	円
予算区分 款 5 項 1 目 2 説明 01 疾病予防費	不用額	618,419 円
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.179)	前年度決算額	15,554,969 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、令和元年度まで実施してきた「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、令和 2 年 7 月から埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入したものである。気軽に実践できる「歩き」を中心に、市民が楽しんで健康づくりを継続できるように支援するとともに、県のポイント・景品に加えて、市独自のポイント・景品を設定した事業を健康づくり支援課と共同で実施している。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 3 年度末参加者：10,752 人（スマホアプリ利用者：8,282 人、歩数計利用者：2,470 人）</li> <li>参加者の 1 日平均歩数：7,029 歩</li> </ul> <p>○健幸マイレージ事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：日本健保株式会社</li> <li>・委託期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：3,168,000 円（国民健康保険課分 1,584,000 円）※健康づくり支援課と按分（50:50）</li> <li>・内 容：参加者の情報及び歩数履歴の管理、市独自ポイントの集計、ポイント付与メールの一斉配信</li> </ul> <p>○健幸マイレージ景品業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：株式会社 corot</li> <li>・委託期間：令和 3 年 12 月 16 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：11,900,350 円（国民健康保険課分 5,950,175 円）※健康づくり支援課と按分（50:50）</li> <li>・内 容：店舗との交渉及び連絡調整、お食事券等の印刷及び発送</li> </ul>		

事務事業名 特定保健指導業務委託事業	予算現額	7,783,000 円																					
	決算額	2,369,400 円																					
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円																					
予算区分 款 5 項 2 目 1 説明 01 特定健康審査等事業費	不用額	5,413,600 円																					
事業概要 (R3-1 議案第 12~21 号 P.180)	前年度決算額	2,430,670 円																					
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>平成 20 年 4 月から義務付けられた特定健康診査と特定保健指導の実施において、令和元年度から、特定保健指導の一部（動機付け支援）を直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値が達成できる体制を再構築し、国保加入者の生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図る。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>令和元年度から、動機づけ支援対象者の特定保健指導業務委託の結果、元年度実施率は前年度を大きく上回ったものの、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、委託前の状況と同程度の結果となっている。</p> <p style="text-align: center;">令和 3 年度特定保健指導実施状況（法定報告前）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">動機付け支援</th> <th colspan="3">積極的支援</th> <th>全体</th> </tr> <tr> <th>対象者数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> <th>対象者数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,779 人</td> <td>450 人</td> <td>25.3%</td> <td>493 人</td> <td>84 人</td> <td>17.0%</td> <td>23.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(参考) 平成 30 年度 20.6% 平成 元年度 32.0% 令和 2 年度 25.4%</p> <p style="text-align: center;">令和 4 年 6 月 27 日現在</p> <p>○令和 3 年度所沢市国民健康保険特定保健指導業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：所沢市医師会</li> <li>・委託期間：令和 3 年 4 月 22 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：2,171,400 円</li> </ul>			動機付け支援			積極的支援			全体	対象者数	終了者数	実施率	対象者数	終了者数	実施率	実施率	1,779 人	450 人	25.3%	493 人	84 人	17.0%	23.5%
動機付け支援			積極的支援			全体																	
対象者数	終了者数	実施率	対象者数	終了者数	実施率	実施率																	
1,779 人	450 人	25.3%	493 人	84 人	17.0%	23.5%																	

事務事業名 税系システム改修事業（外部データ取込対応）	予算現額	492,000 円
	決算額	489,500 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 総務事務費	不用額	2,500 円
事業概要 (R3-2 議案第 49・50 号 P. 28)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>はり、きゅう及びあん摩マッサージ等の施術に係る療養費支給申請書の提出先が所沢市から埼玉県国保連合会へ変更となったことから、それに対応するシステムの改修を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○税系システム改修事業（外部データ取込対応）業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委 託 先：Acrocity ソリューションズ株式会社</li> <li>・委託期間：令和 3 年 7 月 13 日～7 月 30 日</li> <li>・委託金額：489,500 円</li> <li>・内 容：従来、カスタマイズで対応していた柔道整復施術療養費支給申請書の情報取り込み処理に、はり、きゅう及びあん摩マッサージの種別を追加した。</li> </ul>		





## 令和3年度所沢市介護保険特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
保険料	5,711,898,000	0	0	5,711,898,000	5,961,576,200	249,678,200	104.4%
使用料及び手数料	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	-
国庫支出金	5,119,504,000	933,000	0	5,120,437,000	5,188,420,469	67,983,469	101.3%
支払基金交付金	6,604,913,000	24,629,000	0	6,629,542,000	6,302,953,688	△ 326,588,312	95.1%
県支出金	3,629,733,000	583,000	0	3,630,316,000	3,630,365,429	49,429	100.0%
財産収入	2,168,000	0	0	2,168,000	1,610,640	△ 557,360	74.3%
繰入金	4,422,138,000	△ 18,991,000	0	4,403,147,000	4,403,144,745	△ 2,255	100.0%
繰越金	1,000	1,617,639,000	0	1,617,640,000	1,617,636,344	△ 3,656	100.0%
諸収入	644,000	0	0	644,000	7,611,822	6,967,822	1,182.0%
歳入合計	25,491,000,000	1,624,793,000	0	27,115,793,000	27,113,319,337	△ 2,473,663	100.0%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	363,821,000	△ 20,200,000	0	0	343,621,000	314,898,010	0	28,722,990	91.6%
保険給付費	23,858,115,000	0	0	0	23,858,115,000	22,523,317,741	0	1,334,797,259	94.4%
地域支援事業費	1,261,377,000	0	0	0	1,261,377,000	1,085,074,693	0	176,302,307	86.0%
基金積立金	2,168,000	641,912,000	0	0	644,080,000	643,522,473	0	557,527	99.9%
諸支出金	5,519,000	1,003,081,000	0	0	1,008,600,000	1,008,590,951	0	9,049	100.0%
歳出合計	25,491,000,000	1,624,793,000	0	0	27,115,793,000	25,575,403,868	0	1,540,389,132	94.3%

## 介護保険特別会計

---

歳入は、予算現額 271 億 1,579 万 3 千円に対し、収入済額 271 億 1,331 万 9,337 円、収入率は 100.0%であった。

歳出は、予算現額 271 億 1,579 万 3 千円に対し、支出済額 255 億 7,540 万 3,868 円、執行率は 94.3%であった。

歳入歳出差引き 15 億 3,791 万 5,469 円の繰越しとなった。

## 福祉部

---

### 1 高齢者支援課

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業として、訪問型サービス、通所型サービス及び通所型短期集中予防サービスを実施した。
- (2) 介護予防事業として、高齢者みまもり相談員設置事業、いきいき健康体操教室事業、介護予防普及啓発事業、お達者倶楽部の推進等を行った。
- (3) 地域包括支援センター運営事業として、地域包括支援センターを市内 14 か所に設置し、総合相談などに応じるとともに地域との協力を図った（総合相談件数 30,234 件）。
- (4) 認知症施策推進事業として、認知症初期集中支援チームの配置（訪問支援 57 件、相談 8 件）、みんなのカフェ（認知症カフェ）の開設（14 か所、35 回開催）、認知症地域支援推進員の配置を行った。
- (5) 「在宅医療・介護連携推進事業」として、住み慣れた自宅で最期まで暮らし続けられるよう医療と介護の円滑な連携体制の構築に努めた。
- (6) 生活支援体制整備事業として、市全体を担当する「第 1 層生活支援コーディネーター」と各日常生活圏域（14 圏域）を担当する「第 2 層生活支援コーディネーター」を配置し、地域資源やニーズの把握を行った（地域における社会資源数 773 件）。

## 2 介護保険課

- (1) 年度末の 65 歳以上の第 1 号被保険者数は 94,400 人、要支援・要介護認定者数は 16,378 人、介護保険給付サービスを受けている人数は 12,297 人であった。
- (2) 保険給付費については、全額を第 1 号被保険者の保険料で賄う特別給付を含め 225 億 2,331 万 7,741 円、また、地域支援事業費については 10 億 8,507 万 4,693 円であった。
- (3) 介護保険料賦課徴収事業、趣旨普及事業、サービス事業者支援事業、介護認定審査会事業、介護保険給付事業、高額介護サービス費の給付、紙おむつ給付事業、住宅改修支援助成事業等を行った。

## 健康推進部

---

### 健康づくり支援課

栄養士、歯科衛生士、理学療法士、保健師による介護予防のための栄養教室、歯科健康教室、地域リハビリ交流会等の事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小又は事業内容を見直した上で実施した。



## 令和3年度所沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
保険料	4,355,780,000	0	0	4,355,780,000	4,092,976,530	△ 262,803,470	94.0%
使用料及び手数料	2,000	0	0	2,000	1,600	△ 400	80.0%
繰入金	692,140,000	△ 27,871,000	0	664,269,000	664,268,611	△ 389	100.0%
繰越金	1,000	18,292,000	0	18,293,000	18,290,753	△ 2,247	100.0%
諸収入	11,077,000	0	0	11,077,000	6,954,258	△ 4,122,742	62.8%
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0.0%
歳入合計	5,059,000,000	-9,579,000	0	5,049,421,000	4,782,491,752	△ 266,929,248	94.7%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	72,061,000	0	0	0	72,061,000	60,105,004	0	11,955,996	83.4%
後期高齢者医療広域連合納付金	4,976,364,000	△ 20,845,000	0	0	4,955,519,000	4,685,362,261	0	270,156,739	94.5%
諸支出金	10,575,000	11,266,000	0	0	21,841,000	17,617,013	0	4,223,987	80.7%
歳出合計	5,059,000,000	-9,579,000	0	0	5,049,421,000	4,763,084,278	0	286,336,722	94.3%

## 後期高齢者医療特別会計

---

歳入は、予算現額 50 億 4,942 万 1 千円に対し、収入済額 47 億 8,249 万 1,752 円、収入率は 94.7%であった。

歳出は、予算現額 50 億 4,942 万 1 千円に対し、支出済額 47 億 6,308 万 4,278 円、執行率は 94.3%であった。

歳入歳出差引き 1,940 万 7,474 円の繰越しとなった。

## 健康推進部

---

### 国民健康保険課

- (1) 保険料の決定や医療給付等については、埼玉県後期高齢者医療広域連合が行い、保険料の徴収及び窓口業務を市が行っている。被保険者数については、令和 4 年 3 月末現在で、48,515 人、前年同月比では 1,590 人の増、増加率は 3.38%である。
- (2) 後期高齢者医療保険料の収納状況は、歳入予算現額 43 億 5,578 万円に対し、調定額 41 億 4,578 万 7,720 円、収入済額 40 億 9,297 万 6,530 円であった。

予算現額に対する収入済額比率は 94.0%、対調定収入率は 98.7%である。

( 参 考 )  
事 業 会 計





# 令和3年度所沢市水道事業会計決算表

## 1. 収入

### 収益的収入

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 対する 比率 (%)
		当初 予算額	補正 予算額	予 算 現 額		
1	水道事業収益	6,736,398	5,866	6,742,264	6,708,877	99.5
01	営業収益	6,153,404	0	6,153,404	6,178,594	100.4
02	営業外収益	581,915	5,866	587,781	488,939	83.2
03	特別利益	1,079	0	1,079	41,344	3,831.7
					△ 33,387	
					△ 98,842	
					25,190	
					40,265	

### 資本的収入

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 対する 比率 (%)
		当初 予算額	補正 予算額	予 算 現 額		
1	資本的収入	1,178,451	0	1,178,451	953,282	80.9
01	企業債	1,000,000	0	1,000,000	734,900	73.5
02	固定資産売却代金	958	0	958	959	100.1
03	負担金	168,798	0	168,798	208,728	123.7
04	補助金	8,695	0	8,695	8,695	100.0
					△ 225,169	
					△ 265,100	
					1	
					39,930	
					0	

2. 支出

(単位 千円)

款	項	予 算					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	法第26 条第2項 の規定に よる 繰越額				
1	水道事業費	6,137,262	0	0	0	7,160	6,144,422	94.8	0	316,758
	01 営業費用	6,038,965	0	0	△ 47,785	7,160	5,998,340	95.1	0	295,226
	02 営業外費用	88,297	0	0	47,785	0	136,082	91.5	0	11,532
	03 特別損失	0	0	0	0	0	0	—	0	0
	04 予備費	10,000	0	0	0	0	10,000	0.0	0	10,000

(単位 千円)

款	項	予 算					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	流用増減額	法第26条 の規定による 繰越額	継 続 費 通 次 繰 越 額			法第26条 の規定による 繰越額	継 続 費 通 次 繰 越 額	
1	資本的支出	4,526,781	0	0	610,627	182,108	5,319,516	60.6	1,416,576	0	681,506
	01 建設改良費	4,042,377	0	0	610,627	182,108	4,835,112	56.7	1,416,576	0	678,767
	02 企業償還金	484,404	0	0	0	0	484,404	99.4	0	0	2,739

## 水道事業会計

---

水道事業の決算については、次のとおりである。

令和 3 年度の収益的収支については、水道事業収益が 61 億 5,054 万 66 円（税込金額 67 億 887 万 6,982 円）となり、前年度に比べ 14.41% の増加となった。

このうち水道料金は 50 億 5,795 万 4,660 円（税込金額 55 億 6,360 万 9,113 円）で前年度に比べ 17.4% の増加、水道利用加入金は 2 億 8,659 万 6 千円（税込金額 3 億 1,525 万 5,600 円）で前年度に比べ 3.35% の増加となった。また、営業収益の他会計負担金は 2 億 4,912 万 3,287 円（税込金額 2 億 7,295 万 718 円）となった。

一方、支出については、水道事業費が 54 億 9,070 万 5,366 円（税込金額 58 億 2,766 万 4,308 円）となり、前年度に比べ 0.54% の減少となった。

以上の結果、当年度純利益 6 億 5,983 万 4,700 円を計上した。

令和 3 年度の資本的収支については、資本的収入が 9 億 3,715 万 7,275 円（税込金額 9 億 5,328 万 2,041 円）となった。

一方、資本的支出は 29 億 8,603 万 1,106 円（税込金額 32 億 2,143 万 4,075 円）となった。

このうち建設改良費は 25 億 436 万 6,067 円（税込金額 27 億 3,976 万 9,036 円）で前年度に比べ 29.47% の減少、企業債償還金（元金）は 4 億 8,166 万 5,039 円で前年度に比べ 14.85% の増加となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 22 億 6,815 万 2,034 円（税込金額）は、過年度分損益勘定留保資金 12 億 6,720 万 8,792 円、当年度分損益勘定留保資金 121 万 1,289 円、減債積立金 4 億 8,166 万 5,039 円、建設改良積立金 3 億円及び当年度分消費税資本的収支調整額 2 億 1,806 万 6,914 円で補てんした。

# 上 下 水 道 局

---

本市水道事業は、安全な水の安定供給により市民生活と産業活動を支えるため、災害に強いライフラインの構築に向けた水道施設の整備を進めるとともに、施設の維持管理や水質検査を適切に実施している。

また、持続可能な水道に向けて、50年先の将来像を描き実現に向けて策定した所沢市水道ビジョン及び所沢市水道事業経営計画に基づき、一層の効率化と経営基盤の安定化を進めていく。

## 1 総務課

市内の小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、水道及び下水道に関する出前教室を行った。

## 2 窓口サービス課

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一時的に水道料金の支払が困難な契約者に対する支払猶予等の納付相談を行った。

## 3 水道建設課

水道管の整備状況については、老朽管の更新を中心とした配水管網の整備を図るため、市内各地区に耐震性を有するダクタイル鋳鉄管等8,826.7mを整備した。

## 4 給水管理課

浄水場施設の整備状況については、災害時における安定給水を図るため、令和元年度から3年度までの継続事業として第一浄水場浄水池耐震補強工事を、令和2年度から3年度までの継続事業として西部浄水場配水池2号耐震補強工事を施工した。

事務事業名 水道管整備事業	予算現額	3,250,307,500円
	決算額	1,642,522,403円
所 管 上下水道局水道建設課	翌年度繰越額	1,392,933,300円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的収支	不用額	214,851,797円
事業概要 (R3-1 議案第12号～21号 P.183)	前年度決算額	3,255,575,508円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市水道事業経営計画に基づき、老朽化した水道管について、法定耐用年数を考慮した上で更新を行うものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>【令和3年度工事概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口径管更新工事 1件 実施延長 455.3m</li> <li>・小口径管更新工事 19件 実施延長 7,050.3m</li> <li>・都市計画道路地内配水管布設工事 3件 実施延長 656.0m</li> <li>・区画整理事業地内配水管布設工事 1件 実施延長 665.1m</li> <li style="padding-left: 150px;">計 24件 総延長 8,826.7m</li> <li>・業務委託 測量委託：8件、詳細設計委託：4件 合計 12件</li> </ul> <p>※本事業については、地方公営企業法第26条の規定による繰越額として1,392,933,300円を令和4年度に繰り越し、実施する。</p>		

事務事業名 浄水場整備事業（耐震補強工事）	予算現額	393,212,000円	
	決算額	257,164,300円	
所 管 上下水道局給水管理課	翌年度繰越額	0円	
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 収益的支出・資本的収支	不用額	136,047,700円	
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.184)	前年度決算額	291,170,000円	
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>本事業は、所沢市水道事業経営計画に基づき、浄水場の配水池等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>浄水場の配水池の耐震化については目途が付き、次段階として着水井の耐震化に向けた取組を進めている。</p> <p>・配水池の耐震化率：95.1%(令和3年度末) ・着水井の耐震化率：47.8%(令和3年度末)</p>			
	第一浄水場浄水池 耐震補強工事	西部浄水場配水池2号 耐震補強工事	東部浄水場着水井 耐震診断業務委託
選定方法	一般競争入札(2者)	一般競争入札(5者)	指名競争入札(6者)
受注者	西武建設株式会社	平岩建設株式会社	株式会社日水コン 埼玉事務所
工期等	令和元年～3年度(継続事業)	令和2年～3年度(継続事業)	令和3年7月19日～令和4年3月15日
内 容	耐震補強による災害に強いライフラインの構築		
予算現額	177,633,000円	192,369,000円	23,210,000円
決算額	79,358,200円	161,317,100円	16,489,000円



# 令和3年度所沢市下水道事業決算表

## 1. 収入

款	項	予 算 額		決 算 額	予 算 額 に 対 する 増 減 額	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当初 予算額	補正 予算額			
1	下水道事業収益	6,314,695	0	6,314,695	61,837	101.0
01	営業収益	4,812,660	0	4,812,660	56,848	101.2
02	営業外収益	1,502,035	0	1,502,035	787	100.1
03	特別利益	0	0	0	4,202	-

## 資本的収入

款	項	予 算 額		決 算 額	予 算 額 に 対 する 増 減 額	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当初 予算額	補正 予算額			
1	資本的収入	2,983,098	0	2,983,098	△ 324,913	89.1
01	企業債	2,464,000	0	2,464,000	△ 364,500	85.2
02	負担金	288,874	0	288,874	17,131	105.9
03	補助金	226,000	0	226,000	23,000	110.2
04	長期貸付金償還金	4,224	0	4,224	△ 544	87.1

2. 支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	予算現額				
1	下水道事業 費	5,978,716	0	0	0	5,978,716	95.9		244,595	
	01 営業費用	5,641,866	0	0	125	5,641,991	96.0		223,938	
	02 営業外費用	326,850	0	0	△ 125	326,725	96.7		10,657	
	03 予備費	10,000	0	0	0	10,000	0.0		10,000	

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	流用 増減額	法第26条 の規定による 繰越額	継続費 繰越額			法第26条 の規定による 繰越額	継続費 繰越額	
1	資本的支出	5,371,017	0	0	860,203	91,140	6,322,360	83.1	575,521	0	490,010
	01 建設改良費	4,305,803	0	0	860,203	91,140	5,257,146	79.8	575,521	0	488,561
	02 企業償還金	1,059,214	0	0	0	0	1,059,214	99.9	0	0	1
	03 長期貸付金	6,000	0	0	0	0	6,000	75.9	4,552	0	1,448



## 下水道事業会計

---

下水道事業の決算については、次のとおりである。

令和3年度の収益的収支については、下水道事業収益が58億9,800万3,890円(税込金額63億7,653万1,619円)となり、前年度に比べ1.50%の増加となった。

このうち下水道使用料は32億8,660万2,242円(税込金額36億1,474万5,082円)で前年度に比べ0.73%の増加となった。また、営業収益の他会計負担金は12億3,934万6千円(不課税)、営業外収益の他会計補助金は7,000万円(不課税)となった。

一方、支出については、下水道事業費が56億327万3,618円(税込金額57億3,412万1,279円)となり、前年度に比べ0.45%の減少となった。

以上の結果、当年度純利益2億9,473万272円を計上した。

令和3年度の資本的収支については、資本的収入が26億4,801万7,300円(税込金額26億5,818万5,032円)となった。

一方、資本的支出は48億9,357万9,952円(税込金額52億5,682万8,775円)となった。

このうち建設改良費は38億2,981万4,812円(税込金額41億9,306万3,635円)で前年度に比べ77.91%の増加、企業債償還金(元金)は10億5,921万3,140円で前年度に比べ5.43%の減少となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額25億9,864万3,743円(税込金額)は、過年度分損益勘定留保資金20億1,159万7,872円、当年度分損益勘定留保資金3,678万7,302円、減債積立金2億3,396万4,780円及び当年度分消費税資本的収支調整額3億1,629万3,789円で補てんした。

# 上 下 水 道 局

---

本市下水道事業は、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全及び市街地の浸水防除のため、施設の整備と災害に強いライフラインの構築を進めるとともに、適切な維持管理や普及促進事業を実施している。

また、所沢市下水道事業経営計画に基づく戦略的な事業展開を図るなど、重要なインフラを預かる公営企業として、より効率的な事業運営と健全経営に努めている。

## 1 経営課

自主財源を確保する取組として、下水道維持課との共同事業により、マンホール蓋広告 31 基及びイルミネーションマンホール蓋広告 30 基による広告収入 7,771,000 円（税抜）を得た。

## 2 窓口サービス課

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一時的に下水道使用料の支払が困難な契約者に対する支払猶予等の納付相談を行った。

## 3 下水道整備課

- (1) 下水管の整備状況については、第 4 期市街化調整区域整備事業により、大字城地区ほか 9 地区の施工をするなど、汚水管 7,278m を布設した。
- (2) 雨水を地下に浸透させることにより、雨水流出抑制を図り、浸水被害の軽減につながる道路雨水枡 210 か所の浸透化を実施した。
- (3) 緊急輸送道路下のマンホール 3 か所の耐震化など、下水道地震対策工事を施工した。

## 4 下水道維持課

下水道整備課及び窓口サービス課との共同事業として、雨天時浸入水対策事業を開始し、柳瀬川 4 号幹線管路施設及び大字下安松地内の

テレビカメラ調査、それに伴う管内の清掃や污水管詳細設計を実施するとともに、新規接続家屋を対象として污水管への雨水の流入を抑制するため、外水道用栓の無料配布を行った。

事務事業名 イメージアップ事業（マンホールサミット開催）	予算現額	9,138,000円
	決算額	1,406,208円
所 管 上下水道局経営課・下水道維持課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 60 説明 収益的収支	不用額	7,731,792円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.185)	前年度決算額	330,406円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>全国で開催される「マンホールサミット」の第10回大会を、ところざわサクラタウン、東所沢公園及び所沢市観光情報・物産館YOT-TOKOで実施するものである。イベントの柱となるリレートーク、マンホール蓋展示、マンホールグッズ販売のほか、誰もが気軽に参加できる様々なイベントを通じて、国内外の幅広い層に、日本が世界に誇るクールなマンホール蓋の魅力を発信し、下水道の役割を伝える「見える化」を推進し、下水道事業全体のイメージアップにつなげることを目的とする。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>本市上下水道局と下水道広報プラットフォーム（GKP）で実行委員会を組織し開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に開催を延期した。令和3年度は、一部委託料等の支払を執行した。</p> <p>○所沢市マンホールサミット企画・運営等支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：随意契約</li> <li>・委託先：株式会社ストーリーノート</li> <li>・委託期間：令和3年7月7日～9月17日</li> <li>・委託金額：781,000円</li> <li>・内 容：リレートーク及びパネルディスカッション 台本作成等</li> </ul> <p>○第10回マンホールサミット in 所沢企画・運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（2者）</li> <li>・委託先：株式会社セレスポ</li> <li>・委託期間：令和3年7月27日～9月9日</li> <li>・委託金額：308,550円</li> <li>・内 容：イベント全体の企画及び運営</li> </ul> <p>○物品購入等 316,658円</p>		

事務事業名 雨天時浸入水対策事業	予算現額	69,391,000円
	決算額	67,347,940円
所 管 上下水道局窓口サービス課・下水道整備課・下水道維持課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 収益的支出・資本的支出	不用額	2,043,060円
事業概要 (R3-1 議案第12～21号 P.186)	前年度決算額	—
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>近年、下水道施設の老朽化に伴い、台風やゲリラ豪雨などの雨天時に、汚水管への雨水の流入を起因とした被害が多発しているため、汚水管の改築や雨水施設の設置等を行うことで発生原因箇所への対策を施し、また、汚水貯留施設等を築造し、流量の調整を行う施設対策を施すことによって、汚水管への雨水の流入を抑制するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○下安松地内下水道管路施設調査及び清掃業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（6者）</li> <li>・委託先：株式会社創成</li> <li>・委託期間：令和3年9月24日～令和4年3月25日</li> <li>・委託金額：10,560,000円</li> <li>・内 容：管渠テレビカメラ調査及び清掃 3,332m</li> </ul> <p>○柳瀬川4号幹線管路施設調査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（6者）</li> <li>・委託先：株式会社オール</li> <li>・委託期間：令和3年11月8日～令和4年3月25日</li> <li>・委託金額：29,414,000円</li> <li>・内 容：大字坂之下地内から大字北秋津地内までの管渠テレビカメラ調査 7,900m</li> </ul> <p>○下安松グリーンヒル汚水詳細設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札（6者）</li> <li>・委託先：株式会社シーエスエンジニアズ</li> <li>・委託期間：令和3年7月5日～令和4年3月25日</li> <li>・委託金額：23,280,400円</li> <li>・内 容：汚水管新設のための詳細設計 1,812m</li> </ul> <p>○外水道用栓の無料配布：111,540円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規接続家屋を対象として、汚水管への雨水の流入を防ぐために外水道用栓の無料配布を行った。</li> </ul>		

事務事業名 雨水浸透化事業	予算現額	73,133,000 円
	決算額	68,618,000 円
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 収益的収支・資本的支出	不用額	4,515,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.187)	前年度決算額	44,418,000 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>近年、都市化の進展やゲリラ豪雨の増加で下水道による雨水排水が困難な状況となっていることから、市内各所で内水被害が発生している。そこで、内水被害の軽減を図るため、雨水を地下に浸透させることで雨水流出を抑制し、浸水被害を軽減する道路雨水樹浸透化等を進めるものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○雨水樹浸透化修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(5 者)</li> <li>・契約先：スピーダーレンタル株式会社</li> <li>・工 期：令和 3 年 4 月 1 日～8 月 6 日</li> <li>・契約金額：54,978,000 円</li> <li>・内 容：雨水樹浸透化工 210 か所 (上新井四丁目地内ほか)</li> </ul> <p>○雨水浸透井築造工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(6 者)</li> <li>・契約先：中央建設協同組合 川越営業所</li> <li>・工 期：令和 3 年 8 月 26 日～11 月 26 日</li> <li>・契約金額：12,320,000 円</li> <li>・内 容：1 か所(上新井四丁目地内)</li> </ul> <p>○下水道工事に伴う事前調査業務委託 (3-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(3 者)</li> <li>・委託先：新都市設計株式会社</li> <li>・委託期間：令和 3 年 6 月 25 日～9 月 17 日</li> <li>・委託金額：1,320,000 円</li> <li>・内 容：3 件 (上新井四丁目地内)</li> </ul>		

事務事業名 下水道管渠布設事業	予算現額	4,002,019,000 円																
	決算額	3,256,113,955 円																
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	419,830,400 円																
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的収支	不用額	326,074,645 円																
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.188)	前年度決算額	1,287,133,426 円																
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、「第 1 次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく第 4 期整備事業として、整備区域の拡大を図る。あわせて、清掃施設周辺整備事業として、環境クリーン部の依頼に基づき污水管の布設を進める。また、若松町土地区画整理事業に係る雨水管整備等を行う。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <p>○下水道管渠布設工事</p> <table border="0"> <tr> <td>・第 4 期整備事業に係る污水管布設事業</td> <td>工事：18 件</td> <td>延長：7,277.96m</td> <td>整備面積：12.3ha</td> </tr> <tr> <td>・第 4 期以外の污水管布設事業</td> <td>工事：3 件</td> <td>延長：343.54m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・清掃施設周辺整備事業</td> <td>工事：1 件</td> <td>延長：461.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・雨水管布設事業</td> <td>工事：2 件</td> <td>延長：853.10m</td> <td>(令和 2・3 年度継続事業)</td> </tr> </table> <p>○三ヶ島地内新設污水詳細設計業務委託 (3-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(9 者)</li> <li>・委託先：株式会社日本水工コンサルタント 所沢営業所</li> <li>・委託期間：令和 3 年 5 月 20 日～令和 4 年 3 月 18 日</li> <li>・委託金額：45,320,000 円</li> <li>・内 容：污水管布設の詳細設計</li> </ul> <p>○事業認可申請図書等作成業務委託(債務負担行為)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(8 者)</li> <li>・委託先：株式会社 N J S 関東事務所</li> <li>・委託期間：令和 3 年 6 月 22 日～令和 5 年 3 月 24 日</li> <li>・委託金額：24,339,700 円</li> <li>・内 容：公共下水道事業の認可申請等の図書作成</li> </ul> <p>※本事業については、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額として 419,830,400 円を令和 4 年度に繰り越し、実施する。</p>			・第 4 期整備事業に係る污水管布設事業	工事：18 件	延長：7,277.96m	整備面積：12.3ha	・第 4 期以外の污水管布設事業	工事：3 件	延長：343.54m		・清掃施設周辺整備事業	工事：1 件	延長：461.20m		・雨水管布設事業	工事：2 件	延長：853.10m	(令和 2・3 年度継続事業)
・第 4 期整備事業に係る污水管布設事業	工事：18 件	延長：7,277.96m	整備面積：12.3ha															
・第 4 期以外の污水管布設事業	工事：3 件	延長：343.54m																
・清掃施設周辺整備事業	工事：1 件	延長：461.20m																
・雨水管布設事業	工事：2 件	延長：853.10m	(令和 2・3 年度継続事業)															

事務事業名 下水道地震対策事業	予算現額	155,951,000 円												
	決算額	118,402,900 円												
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	28,600,000 円												
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的収支	不用額	8,948,100 円												
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P. 189)	前年度決算額	87,428,000 円												
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール等の耐震化を進める。平成 30 年度以降は、中期計画に基づき事業を進めている。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>○下水道地震対策整備工事 (3-1)</td> <td>○下水道地震対策整備工事 (3-2)</td> </tr> <tr> <td>・選定方法：一般競争入札(2 者)</td> <td>・選定方法：一般競争入札(2 者)</td> </tr> <tr> <td>・契 約 先：株式会社創成</td> <td>・契 約 先：洋光建設株式会社</td> </tr> <tr> <td>・工 期：令和 3 年 7 月 30 日～令和 4 年 3 月 11 日</td> <td>・工 期：令和 3 年 10 月 7 日～令和 4 年 3 月 25 日</td> </tr> <tr> <td>・契約金額：48,345,000 円</td> <td>・契約金額：54,107,900 円</td> </tr> <tr> <td>・内 容：マンホール 3 か所(大字下安松地内)</td> <td>・内 容：管渠 239m(寿町地内ほか)</td> </tr> </table> <p>○下水道総合地震対策長期計画策定業務委託 (債務負担行為)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：指名競争入札(7 者)</li> <li>・委 託 先：株式会社日新技術コンサルタント 埼玉出張所</li> <li>・委託期間：令和 3 年 3 月 26 日～11 月 30 日</li> <li>・委託金額：15,950,000 円</li> <li>・内 容：所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画の策定</li> </ul> <p>※本事業については、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額として 28,600,000 円を令和 4 年度に繰り越し、実施する。</p>			○下水道地震対策整備工事 (3-1)	○下水道地震対策整備工事 (3-2)	・選定方法：一般競争入札(2 者)	・選定方法：一般競争入札(2 者)	・契 約 先：株式会社創成	・契 約 先：洋光建設株式会社	・工 期：令和 3 年 7 月 30 日～令和 4 年 3 月 11 日	・工 期：令和 3 年 10 月 7 日～令和 4 年 3 月 25 日	・契約金額：48,345,000 円	・契約金額：54,107,900 円	・内 容：マンホール 3 か所(大字下安松地内)	・内 容：管渠 239m(寿町地内ほか)
○下水道地震対策整備工事 (3-1)	○下水道地震対策整備工事 (3-2)													
・選定方法：一般競争入札(2 者)	・選定方法：一般競争入札(2 者)													
・契 約 先：株式会社創成	・契 約 先：洋光建設株式会社													
・工 期：令和 3 年 7 月 30 日～令和 4 年 3 月 11 日	・工 期：令和 3 年 10 月 7 日～令和 4 年 3 月 25 日													
・契約金額：48,345,000 円	・契約金額：54,107,900 円													
・内 容：マンホール 3 か所(大字下安松地内)	・内 容：管渠 239m(寿町地内ほか)													

# 令和3年度所沢市病院事業会計決算表

## 1. 収入

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 対 する 増 減 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 算 現 額		
1	病院事業収益	1,895,466	0	1,895,466	1,911,414	100.8
	01 医業収益	1,471,748	0	1,471,748	△ 18,769	98.7
	02 医業外収益	423,708	0	423,708	12,844	103.0
	03 特別利益	10	0	10	21,883	218,830.0

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 対 する 増 減 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 算 現 額		
1	資本的収入	0	0	0	0	-

## 2. 支出

(単位 千円)

款	項	算 額					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	予算現額				
1	病院事業費	2,295,769	0	0	0	2,295,769	86.9	0	301,754	
	01 医業費用	2,235,439	0	0	0	2,235,439	86.9	0	293,433	
	02 医業外費用	58,275	0	0	0	58,275	84.2	0	9,179	
	03 特別損失	2,000	0	0	0	2,000	145.7	0	△ 913	
	04 予備費	55	0	0	0	55	0.0	0	55	

(単位 千円)

款	項	算 額					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額	
		当初 予算額	補正 予算額	流用増減額	法第26条 の規定による 繰越額	継続費 通次 繰越額			法第26条 の規定による 繰越額	不 用 額
1	資本的支出	86,439	0	0	0	86,439	87.9	0	0	10,491
	01 建設改良費	52,424	0	0	0	52,424	80.1	0	0	10,436
	02 企業償還金	33,960	0	0	0	33,960	100.0	0	0	0
	03 予備費	55	0	0	0	55	0.0	0	0	55



## 病 院 事 業 会 計

---

病院事業の決算については次のとおりである。

令和3年度の収益的収支については、病院事業収益が18億5,985万4,486円（税込額19億1,141万4,371円）となり、前年度に比べ8.7%の減少となった。このうち医業収益は14億165万2,923円（税込額14億5,297万9,402円）で前年度に比べ33.5%の増加、医業外収益は4億3,631万8,256円（税込額4億3,655万1,662円）で前年度に比べ55.0%の減少となり、特別利益は、2,188万3,307円となった。

一方、支出については、病院事業費が19億2,501万1,208円（税込額19億9,401万5,290円）となり、前年度に比べ5.1%の増加となった。このうち医業費用は18億7,300万1,911円（税込額19億4,200万5,993円）で前年度に比べ5.6%の増加、医業外費用は4,909万5,661円（税込額同額）で前年度に比べ10.8%の減少となり、特別損失は291万3,636円となった。

以上の結果、当年度純損失6,515万6,722円を計上した。

令和3年度の資本的収支については、資本的収入は0円、資本的支出は7,431万9,118円（税込額7,594万7,968円）となった。このうち建設改良費は4,035万9,119円（税込額4,198万7,969円）、企業債償還金は3,395万9,999円となった。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金7,431万9,118円及び当年度分消費税資本的収支調整額162万8,850円で補てんした。

## 市民医療センター

---

- (1) 所沢市市民医療センター再整備基本構想について、運営委員会等の会議や市民アンケート、パブリックコメント手続等により、市民等の意見を聴きながら策定した。
- (2) 安心して子育てができる医療環境を整備するため、関係医療機関と連携しながら、所沢市域全体で 365 日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努め、小児夜間 1,966 人、小児深夜 833 人、休日急患 1,924 人、延べ 4,723 人を診察した。
- (3) 外来での診療後に入院が必要と判断された患者のほか、市内かかりつけ医からの紹介患者や救急搬送患者、民間病院での受入れが困難な患者などについて、入院の受入れを行い、住民が地域で適切な医療が受けられる環境を整備した(急性期一般病床 6,978 人、地域包括ケア病床 2,653 人)。
- (4) 本市の保健医療の向上及び健康維持・増進のため、人間ドック検診 8,409 人、生活習慣病検診 888 人、指定検診 21,072 人、特定健診 861 人、合計 31,230 人の健康診査を実施した。
- (5) 一般内科のほかに循環器内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、小児科、放射線科を診療科目として標榜している。また、糖尿病外来や夜尿症外来などの専門外来診療や、一般健康診断、各種予防接種なども実施し、医療サービスの充実を図った(内科外来 18,604 人、二次救急 50 人、小児科外来 12,598 人)。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来の開設、所沢市医師会 PCR 検査センターの運営協力などを行ったほか、通常外来及び病棟において陽性の疑いのある患者に対しても、必要に応じて PCR 検査又は抗原検査を実施した(患者数 5,219 人、検査件数 5,109 件)。

事務事業名 小児初期救急医療体制推進事業	予算現額	214,280,000 円																				
	決算額	192,139,880 円																				
所 管 市民医療センター	翌年度繰越額	0 円																				
予算区分 款 項 目 説明	不用額	22,140,120 円																				
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.191)	前年度決算額	165,596,367 円																				
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          本事業は、安心して子育てができる医療環境を整備するため、関係医療機関と連携しながら、夜間や休日に小児の初期救急医療が提供できる診療体制を構築することにより、所沢市域全体で 365 日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努めていくものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小児夜間急患診療（準夜帯）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日：午後 7 時 30 分～午後 10 時 30 分</li> <li>・土、日曜、祝休日、年末年始：午後 6 時～午後 9 時</li> </ul> </li> <li>○小児深夜帯急患診療           <ul style="list-style-type: none"> <li>・火、水、金、土、日曜：小児夜間急患終了後～翌朝午前 7 時 30 分</li> </ul> </li> <li>○小児科日曜日・休日急患診療           <ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜、祝休日、年末年始：午前 10 時～正午、午後 2 時～午後 5 時</li> </ul> </li> </ul> <p>○令和 3 年度延患者数（前年度比較）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小児夜間</th> <th>小児深夜</th> <th>休日急患</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 3 年度</td> <td>1,966 人</td> <td>833 人</td> <td>1,924 人</td> <td>4,723 人</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>1,207 人</td> <td>518 人</td> <td>946 人</td> <td>2,671 人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>759 人</td> <td>315 人</td> <td>978 人</td> <td>2,052 人</td> </tr> </tbody> </table>				小児夜間	小児深夜	休日急患	合計	令和 3 年度	1,966 人	833 人	1,924 人	4,723 人	令和 2 年度	1,207 人	518 人	946 人	2,671 人	増減	759 人	315 人	978 人	2,052 人
	小児夜間	小児深夜	休日急患	合計																		
令和 3 年度	1,966 人	833 人	1,924 人	4,723 人																		
令和 2 年度	1,207 人	518 人	946 人	2,671 人																		
増減	759 人	315 人	978 人	2,052 人																		

事務事業名 所沢市市民医療センター再整備基本構想策定事業	予算現額	16,500,000 円
	決算額	12,800,000 円
所 管 市民医療センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 項 目 説明	不用額	3,700,000 円
事業概要 (R3-1 議案第 12～21 号 P.192)	前年度決算額	0 円
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;          昭和 51 年に開設した市民医療センターについて、今後の市民医療センターの施設、設備の改修・更新及び担うべき役割や機能等について、市としての考えや方向性を具体化するために、所沢市市民医療センター再整備基本構想を策定するものである。</p> <p>&lt;事業の実績・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内検討組織による再整備基本構想の審議及び検討</li> <li>・所沢市市民医療センター運営委員会及び所沢市保健医療計画推進委員会からの意見聴取</li> <li>・市民アンケートの実施 実施期間：令和 3 年 7 月 1 日～8 月 31 日 回答数：189 件</li> <li>・パブリックコメント手続の実施 実施期間：令和 3 年 12 月 17 日～令和 4 年 1 月 14 日 意見数：52 件</li> <li>・再整備基本構想の策定</li> </ul> <p>○所沢市市民医療センター再整備基本構想策定支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定方法：プロポーザル方式（7 者）</li> <li>・委 託 先：アイテック株式会社</li> <li>・委託期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日</li> <li>・委託金額：12,800,000 円</li> <li>・内 容：基礎調査、再整備基本構想（案）の作成</li> </ul>		